

JP1 Version 9

JP1/Cm2/Network Element
Configuration **トラブルシューティン
グ**

文法・操作書

3020-3-T08-30

対象製品

P-2442-E794 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Manager 09-50 (適用 OS : Windows Server 2003 , Windows Server 2003(x64) , Windows Server 2003 R2 , Windows Server 2003 R2(x64))

P-2442-E894 JP1/Cm2/Network Element Configuration - View 09-50(適用 OS : Windows XP , Windows Server 2003 , Windows Server 2003(x64) , Windows Server 2003 R2 , Windows Server 2003 R2(x64))

P-2442-E974 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for GS Series 07-50 (適用 OS : Windows 2000 , Windows Server 2003 , Windows Server 2003 R2)

P-2442-EA74 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal 07-50(適用 OS : Windows 2000 , Windows Server 2003 , Windows Server 2003 R2)

P-2442-EB94 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for BS Series 09-50 (適用 OS : Windows Server 2003 , Windows Server 2003(x64) , Windows Server 2003 R2 , Windows Server 2003 R2(x64))

P-2442-EC84 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for Cisco Switch 08-00 (適用 OS : Windows Server 2003 , Windows Server 2003 R2)

P-2442-ED84 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for AX Series 08-10 (適用 OS : Windows Server 2003 , Windows Server 2003 R2)

P-2442-EE84 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for F5 Load Balancer 08-00 (適用 OS : Windows Server 2003 , Windows Server 2003 R2)

P-2442-EF84 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for System Traffic Manager 08-00(適用 OS : Windows Server 2003 , Windows Server 2003 R2)

P-2A42-E794 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Manager 09-50 (適用 OS : Windows Server 2008 , Windows Server 2008(x64) , Windows Server 2008 R2)

P-2A42-E894 JP1/Cm2/Network Element Configuration - View 09-50 (適用 OS : Windows Vista , Windows Vista(x64) , Windows 7 , Windows 7(x64) , Windows Server 2008 , Windows Server 2008(x64) , Windows Server 2008 R2)

P-2A42-EB94 JP1/Cm2/Network Element Configuration - Adaptor for BS Series 09-50 (適用 OS : Windows Server 2008 , Windows Server 2008(x64) , Windows Server 2008 R2)

輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

商標類

Cisco は、米国 Cisco Systems, Inc. の米国および他の国々における登録商標です。

Ethernet は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

F5, F5 Networks, BIG-IP および iControl は、米国およびその他の国における F5 Networks, Inc. の商標または登録商標です。

Itanium は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

This product includes software developed by IAIK of Graz University of Technology.

HITACHI
Inspire the Next

株式会社 日立製作所



マイクロソフト製品の表記について

このマニュアルでは、マイクロソフト製品の名称を次のように表記しています。

表記		製品名	
Windows	Windows 2000	Microsoft(R) Windows(R) 2000 Advanced Server Operating System	
		Microsoft(R) Windows(R) 2000 Datacenter Server Operating System	
		Microsoft(R) Windows(R) 2000 Professional Operating System	
		Microsoft(R) Windows(R) 2000 Server Operating System	
	Windows 7	Windows 7	Microsoft(R) Windows(R) 7 Professional
			Microsoft(R) Windows(R) 7 Enterprise
			Microsoft(R) Windows(R) 7 Ultimate
		Windows 7 (x64)	Microsoft(R) Windows(R) 7 Professional x64
			Microsoft(R) Windows(R) 7 Enterprise x64

表記		製品名
		Microsoft(R) Windows(R) 7 Ultimate x64
Windows Server 2003	Windows Server 2003	Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise Edition
		Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard Edition
	Windows Server 2003 (x64)	Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise x64 Edition
		Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard x64 Edition
Windows Server 2003 R2	Windows Server 2003 R2	Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise Edition
		Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard Edition
	Windows Server 2003 R2 (x64)	Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise x64 Edition
		Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard x64 Edition
Windows Server 2008	Windows Server 2008	Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise Edition
		Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard Edition
	Windows Server 2008 (x64)	Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise x64 Edition
		Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard x64 Edition
Windows Server 2008 R2		Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2, Datacenter Edition
		Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2, Enterprise Edition
		Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2, Standard Edition
Windows Vista	Windows Vista	Microsoft(R) Windows Vista(R) Business
		Microsoft(R) Windows Vista(R) Enterprise
		Microsoft(R) Windows Vista(R) Ultimate
	Windows Vista (x64)	Microsoft(R) Windows Vista(R) Business x64
Microsoft(R) Windows Vista(R) Enterprise x64		

表記		製品名
		Microsoft(R) Windows Vista(R) Ultimate x64
	Windows XP	Microsoft(R) Windows(R) XP Professional Operating System

発行

2012年4月 3020-3-T08-30

著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2009, 2012, Hitachi, Ltd.

変更内容

変更内容 (3020-3-T08-30) JP1/Cm2/Network Element Configuration 09-50

追加・変更内容	変更箇所
サポートする OS に Windows 7 および Windows Server 2008 R2 を追加した。	1.4 , 2. コマンド使用時の注意事項
次のメッセージを追加した。 KDNV10582-W	3.1.1 , 3.5.1
次のメッセージの説明を変更した。 KDNV10701-E , KDNV10703-E	3.5.1
サポートする管理対象スイッチに BS500 および BS500 1Gbx40 を追加した。	付録 B.2

単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

なお、「はじめに」の記載の一部をマニュアル「JP1 Version 9 JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド (3020-3-T05-30)」の付録「このマニュアルの参考情報」に移動しました。

はじめに

このマニュアルは JP1/Cm2/Network Element Configuration (以降 JP1/Cm2/NC と略します) のトラブルシューティング、トラブルシューティングで使用するコマンド、およびメッセージについて説明しています。

対象読者

JP1/Cm2/NC のマニュアルは、次の方を対象にしています。

- JP1/Cm2/NC を使用して VLAN、サーバロードバランシング、アクセス制御、QoS 制御またはアップリンクフェイルオーバーを使用したネットワーク環境を構築および管理したい方
- JP1/AJS3 または JP1/SC などの運用管理プログラムと連携したシステムの自動運用に JP1/Cm2/NC を取り入れるために、CLI を使用したい方
- BladeSymphony の運用に JP1/Cm2/NC を使用したい方

なお、対象読者は、VLAN、サーバロードバランシング、アクセス制御、QoS 制御またはアップリンクフェイルオーバーについて理解していることを前提にしています。CLI を使用する方は、XML について理解していることを前提にしています。

マニュアルの構成

このマニュアルは、次に示す章から構成されています。

第 1 章 トラブルシューティング

トラブル発生時に必要な資料や、トラブルの対処方法について説明しています。

第 2 章 トラブルシューティング関連コマンド

トラブルシューティングで使用するコマンドについて説明しています。

第 3 章 メッセージ

JP1/Cm2/NC が出力するメッセージについて説明しています。

このマニュアルで使用している記号

このマニュアルで使用する記号を次に示します。

記号	意味
[]	メニュー項目、ダイアログボックス、ボタンなどを示します。
[] - []	メニュー項目を連続して選択することを示します。
太字	変数の値を示します。

コマンドで使用している記号

このマニュアルのコマンドの説明で使用する記号を、次に示します。

記号	意味
(ストローク)	複数の項目に対して項目間の区切りを示し、「または」の意味を示します。 (例) 「A B C」は、「A, B, または C」を示します。
{ } (波括弧)	この記号で囲まれている複数の項目の中から、一組の項目を必ず選択します。項目と項目の区切りは「 」で示します。 (例) 「{A B C}」は、「A, B, または C のどれかを必ず指定する」ことを示します。
[] (角括弧)	この記号で囲まれている項目は、任意に指定・省略できます。 (例) 「[A]」は、「必要に応じて A を指定する」ことを示します。必要でない場合は、A を省略できます。 「[B C]」は、「必要に応じて B, または C を指定する」ことを示します。必要でない場合は、B および C を省略できます。
... (点線)	この記号の直前に示された項目を繰り返して複数指定できます。なお、項目を複数指定する場合は、項目の区切りに 1 バイトの空白文字 (半角スペース) を使用します。 (例) 「A B...」は、「A のあとに、B を複数指定できる」ことを示します。
《 》	デフォルト値を示します。
(())	指定できる値の範囲を示します。

デフォルトのインストール先フォルダの表記

このマニュアルでは、JP1/Cm2/NC の各プログラムについて、デフォルトのインストール先フォルダを次のように表記しています。

製品名	デフォルトのインストール先フォルダ	このマニュアルでの表記
JP1/Cm2/NC	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC	JP1/Cm2/NC インストール先 フォルダ
JP1/Cm2/NC - Manager	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥manager	JP1/Cm2/NC - Manager イン ストール先フォルダ
JP1/Cm2/NC - View	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥view	JP1/Cm2/NC - View イン ストール先フォルダ
JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorax	JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX インストール先フォルダ
JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorbs	JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS インストール先フォルダ
JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorcs	JP1/Cm2/NC - Adaptor for CS インストール先フォルダ
JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorbi	JP1/Cm2/NC - Adaptor for BI インストール先フォルダ
JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adptorgs	JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS インストール先フォルダ

製品名	デフォルトのインストール先フォルダ	このマニュアルでの表記
JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorlf	JP1/Cm2/NC - Adaptor for LF インストール先フォルダ
JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorst	JP1/Cm2/NC - Adaptor for ST インストール先フォルダ

注 32bit アプリケーションとして動作する JP1/Cm2/NC を 64bit カーネルモードの OS 上で動作させた場合、デフォルトのインストールフォルダ「システムドライブ ¥Program Files」は「システムドライブ ¥Program Files (x86)」になります。

目次

1	トラブルシューティング	1
1.1	トラブル発生時の対処手順	2
1.2	トラブルへの対処方法	3
1.3	ログ情報の種類	8
1.3.1	共通メッセージログ	8
1.3.2	統合トレースログ	8
1.4	トラブル発生時に採取が必要な資料	10
1.5	資料の採取方法	15
2	トラブルシューティング関連コマンド	17
	コマンドの記述形式	18
	コマンド使用時の注意事項	20
	コマンド一覧	21
	ncaaxlog.bat	23
	ncabilog.bat	25
	ncabslog.bat , ncabslog_x64.bat	27
	ncacslog.bat	29
	ncagslog.bat	31
	ncalflog.bat	33
	ncastlog.bat	35
	ncmcreatedb	37
	ncmischk	38
	ncmismlcktr	40
	ncmlog.bat , ncmlog_x64.bat	41
	ncmunlock	43
	ncvlog.bat , ncvlog_x64.bat	45
3	メッセージ	47
3.1	メッセージの出力先一覧	48
3.1.1	JP1/Cm2/NC - View のメッセージの出力先 (KDNV10000 ~ KDNV18999)	48
3.1.2	JP1/Cm2/NC - Manager のメッセージの出力先 (KDNV20000 ~ KDNV29999)	50
3.1.3	JP1/Cm2/NC - Adaptor のメッセージの出力先 (KDNV30000 ~ KDNV39999)	51

3.2	メッセージの形式	53
3.2.1	メッセージの出力形式	53
3.2.2	メッセージの記載形式	53
3.2.3	メッセージに出力される製品名について	54
3.3	システム管理者の方へ	55
3.4	Windows イベントログの一覧	56
3.5	メッセージ一覧	58
3.5.1	JP1/Cm2/NC - View のメッセージ (KDNV10000 ~ KDNV18999)	58
3.5.2	JP1/Cm2/NC - Manager のメッセージ (KDNV20000 ~ KDNV29999)	164
3.5.3	JP1/Cm2/NC - Adaptor のメッセージ (KDNV30000 ~ KDNV39999)	196

付録 231

付録 A	ファイルおよびディレクトリ一覧	232
付録 B	ポート番号一覧	238
付録 B.1	JP1/Cm2/NC が使用するポート番号	238
付録 B.2	ファイアウォールの通過方向	238
付録 C	コマンド一覧および文法記載先マニュアル	240
付録 D	各バージョンの変更内容	244
付録 E	用語解説	251

索引 253

1

トラブルシューティング

この章では、JP1/Cm2/NC でトラブルが発生した場合の対処方法や、トラブルの原因になりやすい項目について説明します。

1.1 トラブル発生時の対処手順

1.2 トラブルへの対処方法

1.3 ログ情報の種類

1.4 トラブル発生時に採取が必要な資料

1.5 資料の採取方法

1.1 トラブル発生時の対処手順

JP1/Cm2/NC でトラブルが起きた場合の対処の手順を次に示します。

1. 現象の確認

トラブルが発生したときの現象を確認してください。メッセージが出力されている場合は、メッセージの内容を確認してください。各メッセージの要因と対処方法については、「3. メッセージ」を参照してください。一般的に想定されるトラブルの対処法については、「1.2 トラブルへの対処方法」を参照してください。

また、ログの内容も確認してください。JP1/Cm2/NC が出力するログ情報については、「1.3 ログ情報の種類」を参照してください。

2. 資料の採取

トラブルの要因を調べるために資料の採取が必要です。「1.4 トラブル発生時に採取が必要な資料」および「1.5 資料の採取方法」を参照して、必要な資料を採取してください。

3. 問題の調査

採取した資料を基に問題の要因を調査し、問題が発生している部分、または問題の範囲を切り分けてください。

! 注意事項

トラブル対処に JP1/Cm2/NC が提供している保守用コマンド（`nemcreatedb`、`nemischk`、`nemismlektr`）を使用する場合があります。保守用コマンドを使用する場合は、必ずシステム管理者に確認してから使用してください。

1.2 トラブルへの対処方法

JP1/Cm2/NC 使用時に、一般的に想定されるトラブルについて、対処方法を説明します。トラブルが発生した場合、この節で説明している現象が発生していないか確認してください。

なお、コマンドおよび定義ファイルの設定を含む、各セットアップの詳細については、マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド」を参照してください。

(1) JP1/Cm2/NC - View からマネージャーサーバにログインできない

次に示すどれかの対処方法を実行してください。

- JP1/Cm2/NC - View 接続先定義ファイル (ncvdest.conf) で指定した接続先マネージャーサーバの情報 (ホスト名, ポート番号) が正しいか確認してください。
- 接続先マネージャーサーバに対して, ping が通るかどうかが確認してください。
- 接続先マネージャーサーバの JP1/Cm2/NC - Manager サービスが起動しているか確認してください。
- ユーザー ID またはパスワードが, ncmuser コマンドで設定したものと一致しているか確認してください。

(2) JP1/Cm2/NC - Adaptor のサービスが起動できない

次に示すどれかの対処方法を実行してください。

- 該当する JP1/Cm2/NC - Adaptor の動作条件定義ファイル (nca.conf) にアダプター名称を定義しているか確認してください。
- 該当する JP1/Cm2/NC - Adaptor のスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に管理対象のスイッチを定義しているか確認してください。
- 該当する JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンド (ncaaxpwd, ncabipwd など) で設定したスイッチ名称を, 該当する JP1/Cm2/NC - Adaptor のスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に定義しているか確認してください。
- 該当する JP1/Cm2/NC - Adaptor の動作条件定義ファイル (nca.conf) で指定した接続先マネージャーサーバの情報 (ホスト名, ポート番号) が正しいか確認してください。
- 接続先マネージャーサーバに対して, ping が通るかどうかが確認してください。
- 接続先マネージャーサーバの JP1/Cm2/NC - Manager サービスが起動しているか確認してください。
- 該当する JP1/Cm2/NC - Adaptor の動作条件定義ファイル (nca.conf) で指定したアダプター名称を, JP1/Cm2/NC - Manager 接続アダプター定義ファイル (nemadpt.conf) に指定しているか確認してください。

1. トラブルシューティング

(3) アダプターサーバからマネージャーサーバに接続できない

次に示すどれかの対処方法を実行してください。

- 該当する JP1/Cm2/NC - Adaptor の動作条件定義ファイル (nca.conf) で指定した接続先マネージャーサーバの情報 (ホスト名, ポート番号) が正しいか確認してください。
- 接続先マネージャーサーバに対して, ping が通るかどうか確認してください。
- 接続先マネージャーサーバの JP1/Cm2/NC - Manager サービスが起動しているか確認してください。

(4) スイッチの状態がオフホワイトになる

次に示すどれかの要因が考えられます。各対処方法を実行してください。

アダプターサーバとスイッチ間のネットワークの状態

アダプターサーバから該当するスイッチに対して, ping が通るかどうか確認してください。

スイッチの設定

スイッチに対して, IP アドレスの設定など, 必要なセットアップを実施しているか確認してください。

該当する JP1/Cm2/NC - Adaptor とスイッチ間の設定

スイッチの設定と一致していない JP1/Cm2/NC - Adaptor の設定項目によって, 次の対処方法を実行してください。

スイッチファイルの設定			パスワード設定用コマンドの設定		対処方法	統合トレースログに出力されるメッセージ
switch_name	telnet_id	telnet_port	telnetパスワード	enableパスワード		
				×	1. 該当する JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンド (ncaaxpwd, ncabipwd など) で, スイッチに設定されている enable 用パスワードを再設定する。 2. JP1/Cm2/NC - Adaptor のサービスを再起動する。	KDENV31013-E コマンドの送信処理でエラーが発生しました。 Command:enable password

スイッチファイルの設定			パスワード設定用コマンドの設定		対処方法	統合トレースログに出力されるメッセージ
switch_name	telnet_id	telnet_port	telnetパスワード	enableパスワード		
			x		<ol style="list-style-type: none"> 1. 該当する JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンド (ncaaxpwd , ncabipwd など) で、スイッチに設定されている telnet 用パスワードを再設定する。 2. JP1/Cm2/NC - Adaptor のサービスを再起動する。 	-
		x			<ol style="list-style-type: none"> 1. 該当する JP1/Cm2/NC - Adaptor にあるスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) の telnet のポート番号を、スイッチに設定されている値にする。 2. パスワード設定用コマンド (ncaaxpwd , ncabipwd など) で、スイッチに設定されている telnet 用パスワードおよび enable 用パスワードを設定する。 3. JP1/Cm2/NC - Adaptor のサービスを再起動する。 	-
	x				<ol style="list-style-type: none"> 1. 該当する JP1/Cm2/NC - Adaptor にあるスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) の telnet のユーザ ID を、スイッチに設定されている値にする。 2. パスワード設定用コマンド (ncaaxpwd , ncabipwd など) で、スイッチに設定されている telnet 用パスワードおよび enable 用パスワードを設定する。 3. JP1/Cm2/NC - Adaptor のサービスを再起動する。 	-

1. トラブルシューティング

スイッチファイルの設定			パスワード設定用コマンドの設定		対処方法	統合トレースログに出力されるメッセージ
switch_name	telnet_id	telnet_port	telnetパスワード	enableパスワード		
x					<ol style="list-style-type: none"> 1. 該当する JP1/Cm2/NC - Adaptor にあるスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) の IP アドレスまたはホスト名を、スイッチに設定されている値にする。 2. パスワード設定用コマンド (ncaaxpwd, ncabipwd など) で、スイッチに設定されている telnet 用パスワードおよび enable 用パスワードを設定する。 3. JP1/Cm2/NC - Adaptor のサービスを再起動する。 	-

(凡例)

- : スwitchの設定と一致
- x : スwitchの設定と不一致
- : 出力されない

そのほかの要因

スウィッチの構成情報の同期が取れていないため、古い情報を表示している場合が考えられます。スウィッチの構成情報の同期を取ってください。

(5) JP1/Cm2/NC - Adaptor for BI サービスが起動できない

次に示すどちらかの対処方法を実行してください。

- 「ncabiswctrl.exe - DLL が見つかりません」というエラーが表示される場合、アダプターサーバに Microsoft .NET Framework がインストールされているか確認してください。インストールされていない場合は、アダプターサーバに Microsoft .NET Framework をインストールしてください。
- システム環境変数の「TMP」に設定されているフォルダが存在しているか、またそのフォルダにアクセスできるか確認してください。フォルダが存在しない場合は、該当するフォルダを追加してください。フォルダが存在してもアクセスできない場合は、フォルダにアクセスできるようにしてください。

(6) CLI の運用で、構成パラメーター定義ファイルの読み込みに失敗する

次に示すどちらかの対処方法を実行してください。

- 構成パラメーター定義ファイルのアクセス権限に、「SYSTEM」(または「SYSTEM」を含む権限)が含まれているか確認してください。構成パラメーター定義ファイルのアクセス権限には、「SYSTEM」(または「SYSTEM」を含む権限)が含まれている必要があります。
- 構成パラメーター定義ファイルがローカルディスクにあるか確認してください。構成パラメーター定義ファイルは、CLI 制御プログラムが動作しているマシンのローカルディスク上にある必要があります。

1.3 ログ情報の種類

JP1/Cm2/NC を運用しているときに出力されるログ情報の種類は、共通メッセージログおよび統合トレースログの 2 種類です。これらのログを使用して、稼働管理や、問題発生時の切り分けおよび対処を実施してください。

1.3.1 共通メッセージログ

共通メッセージログとは、システム側のトラブルを通知する、システム管理者向けのログ情報のことです。JP1/Cm2/NC では、サービスの起動・終了、サービスの起動失敗、処理の続行ができない致命的なトラブルなど、比較的重要度の高いメッセージだけが出力されます。

共通メッセージログの出力先は、Windows イベントログです。イベントビューアーのアプリケーションログとして参照できます。イベントビューアーに出力されるメッセージの形式については、「3.2.1 メッセージの出力形式」を参考にしてください。

なお、共通メッセージログは、デフォルトでは出力しないように設定されています。共通メッセージログの出力の設定は、各プログラムの動作条件定義ファイル（ncm.conf、ncv.conf、および nca.conf）で設定します。動作条件定義ファイルについては、マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド」を参照してください。

1.3.2 統合トレースログ

統合トレースログとは、各プログラムが出力するトレース情報を、統合トレース機能（HNTRLib2）を通じて、一つの出力先ファイルにまとめて採取するログ情報のことです。必ず出力するように設定されています。

統合トレースログの出力先（デフォルト）は、各プログラム共通で、次のとおりです。

システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool¥hntr2[n].log

注

hntr2[n].log の [n] には、1 ~ 4 の数字が入ります。

統合トレースログファイルは、任意のテキストエディターで参照できます。統合トレースログファイルの出力例と、出力項目の説明を次に示します。

図 1-1 統合トレースログファイルの出力例

```

      yyyy/mm/dd hh:mm:ss.sss          pid      tid      message-id
message (locale=0x0011)
0000 2004/08/22 13:17:24.621 JP1/Cm2/NC-V 00000A94 J00737FE KDNV10000-I
ビューが起動しました。
0001 2004/08/22 13:28:31.473 JP1/Cm2/NC-V 00000A94 J8BCB800 KDNV10001-I
ビューが終了しました。

```

↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑

番号 日付 時刻 AP名 pid tid メッセージID

メッセージテキスト

表 1-1 統合トレースログファイルの出力項目の説明

出力項目	説明
番号 (4 けた)	トレースレコードの通番
日付 (10 バイト)	トレースの取得日付: yyyy/mm/dd (年/月/日)
時刻 (12 バイト)	トレースの取得時刻 (ローカル時刻): hh:mm:ss.sss (時:分:秒.ミリ秒)
AP 名 (16 バイト以内)	アプリケーションを識別するための名称 (アプリケーション識別名)。この製品で使用する AP 名は、次のとおりです。 JP1/Cm2/NC - Manager JP1/Cm2/NC-M JP1/Cm2/NC - View JP1/Cm2/NC-V JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series JP1/Cm2/NC-AAX JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series JP1/Cm2/NC-ABS JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch JP1/Cm2/NC-ACS JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer JP1/Cm2/NC-ABI JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series JP1/Cm2/NC-AGS JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal JP1/Cm2/NC-ALF JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager JP1/Cm2/NC-AST
pid	プロセス ID。OS が付けるプロセス ID。
tid	スレッド ID。スレッドを識別するための ID。
メッセージ ID	メッセージの出力形式で説明したメッセージ ID。この製品で使用するメッセージ ID。
メッセージテキスト	統合トレースログに出力されるメッセージのテキスト。この製品から出力されるメッセージテキスト。

1.4 トラブル発生時に採取が必要な資料

トラブルが発生した場合、トラブルの要因を調べるための資料を採取し、システム管理者に連絡する必要があります。この節では、トラブル発生時に採取が必要な資料について説明します。

(1) 資料採取ツールで採取できる情報

JP1/Cm2/NC では採取が必要な資料を一括採取するための資料採取ツール (ncmlog.bat, ncaaxlog.bat などのサンプルバッチファイル) を各プログラムで用意しています。ログ情報を採取したいプログラムに対応した資料採取ツールを使用すると、必要な資料を採取できます。

資料採取ツールで採取できる資料は、次に示す表のとおりです。

表 1-2 採取ツールで採取できる情報

情報の種類	デフォルトのファイル名
hosts ファイル	%SystemRoot%\system32\drivers\etc\hosts
services ファイル	%SystemRoot%\system32\drivers\etc\services
ワトソン博士ログファイル ¹	Windows 2000 の場合 システムドライブ ¥Documents and Settings¥All Users¥Documents¥DrWatson¥drwtsn32.log Windows XP の場合 システムドライブ ¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥Microsoft¥Dr Watson¥drwtsn32.log Windows Server 2003, または Windows Server 2003 R2 の場合 システムドライブ ¥Documents and Settings¥ユーザー名 ¥Local Settings¥Application Data¥Microsoft¥Dr Watson¥drwtsn32.log
統合トレースログ	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool¥hntr2[n].log ²

情報の種類	デフォルトのファイル名
定義ファイル	JP1/Cm2/NC - Manager の場合 JP1/Cm2/NC - Manager インストール先フォルダ ¥conf 以下の全ファイル JP1/Cm2/NC - View の場合 JP1/Cm2/NC - View インストール先フォルダ ¥conf 以下の全ファイル JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series の場合 JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX インストール先フォルダ ¥conf 以下の全ファイル JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series の場合 JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS インストール先フォルダ ¥conf 以下の全ファイル JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch の場合 JP1/Cm2/NC - Adaptor for CS インストール先フォルダ ¥conf 以下の全ファイル JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer の場合 JP1/Cm2/NC - Adaptor for BI インストール先フォルダ ¥conf 以下の全ファイル JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series の場合 JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS インストール先フォルダ ¥conf 以下の全ファイル JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal の場合 JP1/Cm2/NC - Adaptor for LF インストール先フォルダ ¥conf 以下の全ファイル JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager の場合 JP1/Cm2/NC - Adaptor for ST インストール先フォルダ ¥conf 以下の全ファイル
DB ファイル	JP1/Cm2/NC - Manager の場合 JP1/Cm2/NC - Manager インストール先フォルダ ¥db 以下の全ファイル
ログファイル	JP1/Cm2/NC - Manager の場合 JP1/Cm2/NC - Manager インストール先フォルダ ¥log 以下の全ファイル JP1/Cm2/NC - View の場合 JP1/Cm2/NC - View インストール先フォルダ ¥log 以下の全ファイル JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series の場合 JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX インストール先フォルダ ¥log 以下の全ファイル JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series の場合 JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS インストール先フォルダ ¥log 以下の全ファイル JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch の場合 JP1/Cm2/NC - Adaptor for CS インストール先フォルダ ¥log 以下の全ファイル JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer の場合 JP1/Cm2/NC - Adaptor for BI インストール先フォルダ ¥log 以下の全ファイル JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series の場合 JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS インストール先フォルダ ¥log 以下の全ファイル JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal の場合 JP1/Cm2/NC - Adaptor for LF インストール先フォルダ ¥log 以下の全ファイル JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager の場合 JP1/Cm2/NC - Adaptor for ST インストール先フォルダ ¥log 以下の全ファイル

1. トラブルシューティング

情報の種類	デフォルトのファイル名
トレースファイル	JP1/Cm2/NC - Manager の場合 JP1/Cm2/NC - Manager インストール先フォルダ ¥trace 以下の全ファイル JP1/Cm2/NC - View の場合 JP1/Cm2/NC - View インストール先フォルダ ¥trace 以下の全ファイル JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series の場合 JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX インストール先フォルダ ¥trace 以下の全ファイル JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series の場合 JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS インストール先フォルダ ¥trace 以下の全ファイル JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch の場合 JP1/Cm2/NC - Adaptor for CS インストール先フォルダ ¥trace 以下の全ファイル JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer の場合 JP1/Cm2/NC - Adaptor for BI インストール先フォルダ ¥trace 以下の全ファイル JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series の場合 JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS インストール先フォルダ ¥trace 以下の全ファイル JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal の場合 JP1/Cm2/NC - Adaptor for LF インストール先フォルダ ¥trace 以下の全ファイル JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager の場合 JP1/Cm2/NC - Adaptor for ST インストール先フォルダ ¥trace 以下の全ファイル
JP1/Cm2/NC のレジストリー情報	JP1/Cm2/NC - Manager の場合 HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥HITACHI¥JP1/Cm2/NC - Manager JP1/Cm2/NC - View の場合 HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥HITACHI¥JP1/Cm2/NC - View JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series の場合 HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥HITACHI¥JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series の場合 HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥HITACHI¥JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch の場合 HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥HITACHI¥JP1/Cm2/NC - Adaptor for CS JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer の場合 HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥HITACHI¥JP1/Cm2/NC - Adaptor for BI JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series の場合 HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥HITACHI¥JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal の場合 HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥HITACHI¥JP1/Cm2/NC - Adaptor for LF JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager の場合 HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥HITACHI¥JP1/Cm2/NC - Adaptor for ST
環境変数情報	-

(凡例)

- : 該当ファイルなし。

注 1

資料採取ツールは、ワトソン博士ログファイルをデフォルトのフォルダから取得します。出力先をデフォルトから変更している場合は、資料採取ツールのパスを変更しておく必要があります。なお、Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2008、および Windows Server 2008 R2 の場合、ワトソン博士のログは取得できません。

注 2

[n] には 1 ~ 4 の数字が入ります。

なお、ネットワーク接続でのトラブルの場合、接続先マシン上のファイルの採取も必要です。

(2) OS のログ情報

Windows イベントログファイルの採取が必要です。なお、JP1/Cm2/NC では、デフォルトでは Windows イベントログファイルにログを出力しません。ログを出力させるには、各プログラムの動作条件定義ファイル (ncm.conf, nev.conf, および nca.conf) で設定する必要があります。動作条件定義ファイルについては、マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド」を参照してください。

(3) オペレーション内容

トラブル発生時のオペレーション内容について、次に示す情報が必要です。

- オペレーション内容の詳細
- 発生時刻
- 再現性の有無
- マシン構成 (各 OS のバージョン, ホスト名, システム構成)
- JP1/Cm2/NC - View からログインしている場合のログインユーザー名

(4) 画面上のエラー情報

画面にエラーが表示された場合は、その情報も採取します。次に示すハードコピーを採取してください。

- アプリケーションエラーが発生した場合は、操作画面のハードコピー
- エラーダイアログボックスのハードコピー、および詳細ボタンがある場合はその内容
- コマンド実行時にトラブルが発生した場合は、[コマンドプロンプト] ウィンドウのハードコピー

(5) そのほかの情報

- [コンピュータの管理] の [システム情報] の内容 (Windows 2000 の場合)
- [アクセサリ] - [システムツール] - [システム情報] の内容 (Windows XP ,

1. トラブルシューティング

Windows Server 2003，または Windows Server 2003 R2 の場合)

- コマンド実行時にトラブルが発生した場合は，コマンドに指定した引数

1.5 資料の採取方法

トラブル発生時に資料を採取する方法を次に示します。

(1) 資料採取ツールを実行する

資料採取ツールを実行する前に、資料採取ツールをセットアップしてください。資料採取ツールのセットアップについては、マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド」を参照してください。

トラブルの発生したプログラムに対応した資料採取ツールを実行して、トラブルの解決に必要な資料を採取します。資料採取ツールの実行結果は、デフォルトでは次のフォルダに出力されます。

- JP1/Cm2/NC - Manager の場合：%TEMP%\¥jp1log¥ncm
- JP1/Cm2/NC - View の場合：%TEMP%\¥jp1log¥ncv
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series の場合：%TEMP%\¥jp1log¥ncaax
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series の場合：%TEMP%\¥jp1log¥ncabs
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch の場合：%TEMP%\¥jp1log¥ncacs
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer の場合：%TEMP%\¥jp1log¥ncabi
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series の場合：%TEMP%\¥jp1log¥ncags
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal の場合：
%TEMP%\¥jp1log¥ncalf
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager の場合：
%TEMP%\¥jp1log¥ncast

資料採取ツールの実行結果を格納するフォルダを変更したい場合は、資料採取ツールの引数として、採取資料を格納するフォルダを指定します。資料採取ツールの実行例を次に示します。

C:\>c:\¥temp¥ncmlog.bat 資料格納フォルダ

注意事項

資料格納フォルダはフルパスで指定してください。また、スペースを含むフォルダ（例：¥program files）を資料格納フォルダに指定する場合、「"」（引用符）で囲ってください。

引数を指定してツールを実行すると、資料格納フォルダとして指定したフォルダの下に各プログラムのフォルダ（ncm, ncv, ncaax など）が作成され、採取した資料がコピーされます。採取した資料を保存する場合は、圧縮ツールを使用して圧縮してください。

(2) OS のログ情報を採取する

(a) Windows イベントログの採取手順

Windows の [イベントビューア] ウィンドウ - [アプリケーションログ] の内容をエク

1. トラブルシューティング

サポートしてください。詳細情報は、個々のログウィンドウの内容をクリップボードにコピーしたあと、テキストファイルなどに貼り付けて採取してください。

(3) オペレーション内容を確認する

トラブル発生時のオペレーション内容を確認し、記録しておいてください。

(4) 画面上のエラー情報を採取する

操作画面やエラーダイアログボックスのハードコピーを採取してください。なお、[コマンドプロンプト]のハードコピーを採取する場合は、["コマンドプロンプト"]のプロパティ]画面で次の設定をしてください。

- [オプション] ページ:[簡易編集モード]をチェックします。
- [レイアウト] ページ:[画面バッファのサイズ]の[高さ]に「500」を設定します。

(5) そのほかの情報を採取する

上記以外に必要な情報を印刷したり、書き留めておいたりしてください。

- [コンピュータの管理]の[システム情報]の内容、または[アクセサリ]-[システムツール]-[システム情報]の内容
- コマンド実行時にトラブルが発生した場合は、コマンドに指定した引数

2

トラブルシューティング関連コマンド

この章では、JP1/Cm2/NC で使用できるコマンドのうち、トラブルシューティングに使用するコマンドについて説明します。このマニュアルでの記述形式を説明したあと、各コマンドの詳細について説明します。

コマンドの記述形式

コマンド使用時の注意事項

コマンド一覧

コマンドの記述形式

コマンドの説明で使用する見出し、およびコマンドの指定形式について説明します。

コマンドの説明で使用する見出し

このマニュアルでは、次の表に示す見出しを使ってコマンドの詳細を説明しています。

表 2-1 コマンドの説明で使用する見出し

見出し	説明
形式	コマンドの記述形式をまとめています。形式の説明で使用する記号の意味については、「はじめに」を参照してください。
機能	コマンドの機能を説明します。
実行権限	コマンドの実行に必要な権限を説明します。
格納場所	コマンドの格納場所を説明します。
引数	コマンドの引数を説明します。なお、引数にはオプションも含まれます。
注意事項	コマンドを使用する場合に注意することを説明します。また、条件によって制限を受けることがあれば説明します。
戻り値	コマンドの実行後に戻される値を示します。
使用例	オプションを選択したり、具体的な値を入力したりしたコマンドの使用例を示します。
補足事項	補足事項を説明します。出力があるコマンドについては出力形式を説明します。

コマンドの指定形式

コマンドの指定形式を次に示します。

```
ncxxxx
  [△-オプションA[△値a[,値b[,値c…]]]]    … (1)
  [△-オプションB[△値a[,値b[,値c…]]]]    … (1)
  [△任意名X[△任意名Y[△任意名Z…]]]      … (2)
```

(凡例)

△: 1バイト以上の空白文字を必ず指定します。空白文字を省略できません。

(1) をオプションと呼びます。(2) を引数と呼びます。

次に、引数の指定方法を説明します。

- オプションを複数指定する場合、指定順序は任意です。
- 値を持たないオプションに値を指定した場合、システムはその値以降をすべて任意名として処理します。
- 指定できないオプションを指定した場合、エラーになります。

- 指定できる数以上の任意名を指定した場合、エラーになります。
- 引数に指定する文字は、大文字・小文字が区別されます。大文字・小文字の使い分けに注意してください。

コマンド使用時の注意事項

この節では、コマンド使用時の注意事項を説明します。

Windows Vista , Windows 7 , Windows Server 2008 , および Windows Server 2008 R2 で JP1/Cm2/NC が提供するコマンドの注意事項

JP1/Cm2/NC が提供するコマンドは、管理者権限で実行する必要があります。「管理者 : コマンドプロンプト」で実行してください。

「管理者 : コマンドプロンプト」は、Windows Vista , Windows 7 , Windows Server 2008 , および Windows Server 2008 R2 で提供されている機能を使用して起動してください。起動方法の例を次に示します。

1. [スタート] ボタンをクリックします。
2. [すべてのプログラム] - [アクセサリ] を選択します。
3. [コマンド プロンプト] を右クリックして、[管理者として実行] をクリックします。

管理者のパスワードまたは確認を求められた場合は、画面の指示に従って、パスワードを入力するか、または確認情報を設定してください。

コマンド一覧

JP1/Cm2/NC のマニュアルでは、コマンドを JP1/Cm2/NC の運用サイクルごとに分類し、各マニュアルに詳細説明を振り分けて記載しています。

この節ではトラブルシューティングで使用するコマンドの一覧を示します。そのほかのコマンドの説明については、「付録 C コマンド一覧および文法記載先マニュアル」を参照して、説明の記載先マニュアルを参照してください。

コマンド一覧は、次のグループに分けて記載します。

- JP1/Cm2/NC を制御するコマンド
- ISAM 関連のコマンド
- トラブルシューティング関連のコマンド

各コマンドの形式、機能などの詳細説明は、以降にアルファベット順に記載しています。

表 2-2 JP1/Cm2/NC を制御するコマンド一覧 (JP1/Cm2/NC - Manager 関連)

コマンド名	機能
ncmcreatedb	マネージャーサーバの DB を作成するためのコマンドです。トラブルから復旧するために使用します。
ncmunlock	マネージャーサーバの DB に掛けられたロックを強制的に解除するためのコマンドです。トラブルから復旧するために使用します。

表 2-3 ISAM 関連のコマンド一覧

コマンド名	機能
ncmischk	ISAM ファイル (索引順編成ファイル) を検証するためのコマンドです。JP1/Cm2/NC - Manager の DB には、ISAM ファイル (索引順編成ファイル) を使用しています。索引順編成ファイルにトラブルが起きた場合は、まずファイルを検証します。そのため、索引順編成ファイルを構成する各ファイルの内容や、ファイルの関連などを検証するために使用します。不正がある場合にはメッセージを表示します。
ncmismlektr	ISAM ロックテーブルの情報を表示するためのコマンドです。

表 2-4 トラブルシューティング関連のコマンド一覧

コマンド名	対象製品	機能
ncmlog.bat	JP1/Cm2/NC - Manager (32 ビット版 OS の場合)	障害発生時に資料を採取するためのコマンドです。
ncmlog_x64.bat	JP1/Cm2/NC - Manager (64 ビット版 OS の場合)	

2. トラブルシューティング関連コマンド
 コマンド一覧

コマンド名	対象製品	機能
nevlog.bat	JP1/Cm2/NC - View (32ビット版 OS の場合)	
nevlog_x64.bat	JP1/Cm2/NC - View (64ビット版 OS の場合)	
ncaaxlog.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series	
ncabilog.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer	
ncabslog.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series (32ビット版 OS の場合)	
ncabslog_x64.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series (64ビット版 OS の場合)	
ncacslog.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch	
ncagslog.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series	
ncalflog.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/ Loadflowbal	
ncastlog.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager	

ncaaxlog.bat

形式

ncaaxlog.bat [保存先ディレクトリ名]

機能

JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series 用トラブルシューティング関連コマンドです。JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series で障害が発生した場合に、資料を採取・バックアップするために実行します。採取できる資料については、「1.4 トラブル発生時に採取が必要な資料」を参照してください。なお、ncaaxlog.bat を実行するにはセットアップが必要です。マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド」の資料採取ツールのセットアップについて記述している章を参照し、実行前にセットアップしてください。

実行権限

Administrators 権限

格納場所

JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX インストール先フォルダ %usertools%

引数

保存先ディレクトリ名

採取した資料を保存するディレクトリ名をフルパスで指定します。スペースを含むフォルダ（例：%program files）を資料格納フォルダに指定する場合、「\"」（引用符）で囲んでください。この引数を省略すると、次のディレクトリ下に資料が保存されます。

%TEMP%\%jp1log%\ncaax

なお、「%TEMP%」は、環境変数「TEMP」で指定されているディレクトリです。

注意事項

- ncaaxlog.bat は、障害が発生した直後に実行してください。
- 指定した保存先ディレクトリがない、または「%TEMP%」の下に「jp1log%ncaax」ディレクトリがない場合、コマンドの実行を一時停止して、ディレクトリを作成する確認メッセージを表示します。自動実行している場合などでコマンドの実行を一時停止させたくないときは、コマンドの実行前に、次に示すどれかの対策を実施してください。
 - 保存先ディレクトリを作成する。
 - pause 行の行頭に「REM」と記述し、コメント行にする。
 - pause 行を削除する。

2. トラブルシューティング関連コマンド ncaaxlog.bat

- 保存先ディレクトリ下にすでに資料がある場合、資料は上書き保存されます。
- 採取する資料は、ファイルサイズが大きい場合があります。資料保存先のディスク容量が十分であることを確認してください。

使用例

コマンドの使用例を次に示します。

保存先ディレクトリを指定して資料を採取する

```
C:¥> ncaaxlog.bat C:¥Temp
```

ncabilog.bat

形式

ncabilog.bat [保存先ディレクトリ名]

機能

JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer 用トラブルシューティング関連コマンドです。JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer で障害が発生した場合に、資料を採取・バックアップするために実行します。採取できる資料については、「1.4 トラブル発生時に採取が必要な資料」を参照してください。なお、ncabilog.bat を実行するにはセットアップが必要です。マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド」の資料採取ツールのセットアップについて記述している章を参照し、実行前にセットアップしてください。

実行権限

Administrators 権限

格納場所

JP1/Cm2/NC - Adaptor for BI インストール先フォルダ %usertools%

引数

保存先ディレクトリ名

採取した資料を保存するディレクトリ名をフルパスで指定します。スペースを含むフォルダ（例：%program files）を資料格納フォルダに指定する場合、「」（引用符）で囲んでください。この引数を省略すると、次のディレクトリ下に資料が保存されます。

%TEMP%\%jp1log%\ncabi

なお、「%TEMP%」は、環境変数「TEMP」で指定されているディレクトリです。

注意事項

- ncabilog.bat は、障害が発生した直後に実行してください。
- 指定した保存先ディレクトリがない、または「%TEMP%」の下に「jp1log%\ncabi」ディレクトリがない場合、コマンドの実行を一時停止して、ディレクトリを作成する確認メッセージを表示します。自動実行している場合などでコマンドの実行を一時停止させたくないときは、コマンドの実行前に、次に示すどれかの対策を実施してください。
 - 保存先ディレクトリを作成する。
 - pause 行の行頭に「REM」と記述し、コメント行にする。
 - pause 行を削除する。

2. トラブルシューティング関連コマンド ncabilog.bat

- 保存先ディレクトリ下にすでに資料がある場合、資料は上書き保存されます。
- 採取する資料は、ファイルサイズが大きい場合があります。資料保存先のディスク容量が十分であることを確認してください。

使用例

コマンドの使用例を次に示します。

保存先ディレクトリを指定して資料を採取する

```
C:¥> ncabilog.bat C:¥Temp
```

ncabslog.bat , ncabslog_x64.bat

形式

32 ビット版 OS の場合

ncabslog.bat [保存先ディレクトリ名]

64 ビット版 OS の場合

ncabslog_x64.bat [保存先ディレクトリ名]

機能

JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series 用トラブルシューティング関連コマンドです。JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series で障害が発生した場合に、資料を採取・バックアップするために実行します。採取できる資料については、「1.4 トラブル発生時に採取が必要な資料」を参照してください。なお、ncabslog.bat または ncabslog_x64.bat を実行するにはセットアップが必要です。マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド」の資料採取ツールのセットアップについて記述している章を参照し、実行前にセットアップしてください。

実行権限

Administrators 権限

格納場所

JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS インストール先フォルダ %usertools%

引数

保存先ディレクトリ名

採取した資料を保存するディレクトリ名をフルパスで指定します。スペースを含むフォルダ（例：%program files）を資料格納フォルダに指定する場合、「」（引用符）で囲んでください。この引数を省略すると、次のディレクトリ下に資料が保存されます。

%TEMP%¥jp1log¥ncabs

なお、「%TEMP%」は、環境変数「TEMP」で指定されているディレクトリです。

注意事項

- ncabslog.bat または ncabslog_x64.bat は、障害が発生した直後に実行してください。
- 指定した保存先ディレクトリがない、または「%TEMP%」の下に「jp1log¥ncabs」ディレクトリがない場合、コマンドの実行を一時停止して、ディレクトリを作成する確認メッセージを表示します。自動実行している場合などでコマンドの実行を一時停止させたくないときは、コマンドの実行前に、次に示すどれかの対策を実施してくだ

2. トラブルシューティング関連コマンド

ncabslog.bat , ncabslog_x64.bat

さい。

- 保存先ディレクトリを作成する。
- pause 行の行頭に「REM」と記述し、コメント行にする。
- pause 行を削除する。
- 保存先ディレクトリ下にすでに資料がある場合、資料は上書き保存されます。
- 採取する資料は、ファイルサイズが大きい場合があります。資料保存先のディスク容量が十分にあることを確認してください。

使用例

コマンドの使用例を次に示します。

保存先ディレクトリを指定して資料を採取する

```
C:¥> ncabslog.bat C:¥Temp
```


ncacslog.bat

形式

ncacslog.bat [保存先ディレクトリ名]

機能

JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch 用トラブルシューティング関連コマンドです。JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch で障害が発生した場合に、資料を採取・バックアップするために実行します。採取できる資料については、「1.4 トラブル発生時に採取が必要な資料」を参照してください。なお、ncacslog.bat を実行するにはセットアップが必要です。マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド」の資料採取ツールのセットアップについて記述している章を参照し、実行前にセットアップしてください。

実行権限

Administrators 権限

格納場所

JP1/Cm2/NC - Adaptor for CS インストール先フォルダ ¥usertools¥

引数

保存先ディレクトリ名

採取した資料を保存するディレクトリ名をフルパスで指定します。スペースを含むフォルダ（例：¥program files）を資料格納フォルダに指定する場合、「"」（引用符）で囲んでください。この引数を省略すると、次のディレクトリ下に資料が保存されます。

%TEMP%¥jpllog¥ncacs

なお、「%TEMP%」は、環境変数「TEMP」で指定されているディレクトリです。

注意事項

- ncacslog.bat は、障害が発生した直後に実行してください。
- 指定した保存先ディレクトリがない、または「%TEMP%」の下に「jpllog¥ncacs」ディレクトリがない場合、コマンドの実行を一時停止して、ディレクトリを作成する確認メッセージを表示します。自動実行している場合などでコマンドの実行を一時停止させたくないときは、コマンドの実行前に、次に示すどれかの対策を実施してください。
 - 保存先ディレクトリを作成する。
 - pause 行の行頭に「REM」と記述し、コメント行にする。
 - pause 行を削除する。

2. トラブルシューティング関連コマンド ncacslog.bat

- 保存先ディレクトリ下にすでに資料がある場合、資料は上書き保存されます。
- 採取する資料は、ファイルサイズが大きい場合があります。資料保存先のディスク容量が十分であることを確認してください。

使用例

コマンドの使用例を次に示します。

保存先ディレクトリを指定して資料を採取する

```
C:¥> ncacslog.bat C:¥Temp
```

ncagslog.bat

形式

ncagslog.bat [保存先ディレクトリ名]

機能

JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series 用トラブルシューティング関連コマンドです。JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series で障害が発生した場合に、資料を採取・バックアップするために実行します。採取できる資料については、「1.4 トラブル発生時に採取が必要な資料」を参照してください。なお、ncagslog.bat を実行するにはセットアップが必要です。マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド」の資料採取ツールのセットアップについて記述している章を参照し、実行前にセットアップしてください。

実行権限

Administrators 権限

格納場所

JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS インストール先フォルダ ¥usertools¥

引数

保存先ディレクトリ名

採取した資料を保存するディレクトリ名をフルパスで指定します。スペースを含むフォルダ（例：¥program files）を資料格納フォルダに指定する場合、「"」（引用符）で囲んでください。この引数を省略すると、次のディレクトリ下に資料が保存されます。

%TEMP%¥jpllog¥ncags

なお、「%TEMP%」は、環境変数「TEMP」で指定されているディレクトリです。

注意事項

- ncagslog.bat は、障害が発生した直後に実行してください。
- 指定した保存先ディレクトリがない、または「%TEMP%」の下に「jpllog¥ncags」ディレクトリがない場合、コマンドの実行を一時停止して、ディレクトリを作成する確認メッセージを表示します。自動実行している場合などでコマンドの実行を一時停止させたくないときは、コマンドの実行前に、次に示すどれかの対策を実施してください。
 - 保存先ディレクトリを作成する。
 - pause 行の行頭に「REM」と記述し、コメント行にする。
 - pause 行を削除する。

2. トラブルシューティング関連コマンド ncagslog.bat

- 保存先ディレクトリ下にすでに資料がある場合、資料は上書き保存されます。
- 採取する資料は、ファイルサイズが大きい場合があります。資料保存先のディスク容量が十分であることを確認してください。

使用例

コマンドの使用例を次に示します。

保存先ディレクトリを指定して資料を採取する

```
C:¥> ncagslog.bat C:¥Temp
```

ncalflog.bat

形式

ncalflog.bat [保存先ディレクトリ名]

機能

JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal 用トラブルシューティング関連コマンドです。JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal で障害が発生した場合に、資料を採取・バックアップするために実行します。採取できる資料については、「1.4 トラブル発生時に採取が必要な資料」を参照してください。なお、ncalflog.bat を実行するにはセットアップが必要です。マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド」の資料採取ツールのセットアップについて記述している章を参照し、実行前にセットアップしてください。

実行権限

Administrators 権限

格納場所

JP1/Cm2/NC - Adaptor for LF インストール先フォルダ ¥usertools¥

引数

保存先ディレクトリ名

採取した資料を保存するディレクトリ名をフルパスで指定します。スペースを含むフォルダ（例：¥program files）を資料格納フォルダに指定する場合、「"」（引用符）で囲んでください。この引数を省略すると、次のディレクトリ下に資料が保存されます。

%TEMP%¥jp1log¥ncalf

なお、「%TEMP%」は、環境変数「TEMP」で指定されているディレクトリです。

注意事項

- ncalflog.bat は、障害が発生した直後に実行してください。
- 指定した保存先ディレクトリがない、または「%TEMP%」の下に「jp1log¥ncalf」ディレクトリがない場合、コマンドの実行を一時停止して、ディレクトリを作成する確認メッセージを表示します。自動実行している場合などでコマンドの実行を一時停止させたくないときは、コマンドの実行前に、次に示すどれかの対策を実施してください。
 - 保存先ディレクトリを作成する。
 - pause 行の行頭に「REM」と記述し、コメント行にする。
 - pause 行を削除する。

2. トラブルシューティング関連コマンド ncalflog.bat

- 保存先ディレクトリ下にすでに資料がある場合、資料は上書き保存されます。
- 採取する資料は、ファイルサイズが大きい場合があります。資料保存先のディスク容量が十分であることを確認してください。

使用例

コマンドの使用例を次に示します。

保存先ディレクトリを指定して資料を採取する

```
C:¥> ncalflog.bat C:¥Temp
```

ncastlog.bat

形式

ncastlog.bat [保存先ディレクトリ名]

機能

JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager 用トラブルシューティング関連コマンドです。JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager で障害が発生した場合に、資料を採取・バックアップするために実行します。採取できる資料については、「1.4 トラブル発生時に採取が必要な資料」を参照してください。なお、ncastlog.bat を実行するにはセットアップが必要です。マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド」の資料採取ツールのセットアップについて記述している章を参照し、実行前にセットアップしてください。

実行権限

Administrators 権限

格納場所

JP1/Cm2/NC - Adaptor for ST インストール先フォルダ ¥usertools¥

引数

保存先ディレクトリ名

採取した資料を保存するディレクトリ名をフルパスで指定します。スペースを含むフォルダ（例：¥program files）を資料格納フォルダに指定する場合、「"」（引用符）で囲んでください。この引数を省略すると、次のディレクトリ下に資料が保存されます。

%TEMP%¥jp1log¥ncast

なお、「%TEMP%」は、環境変数「TEMP」で指定されているディレクトリです。

注意事項

- ncastlog.bat は、障害が発生した直後に実行してください。
- 指定した保存先ディレクトリがない、または「%TEMP%」の下に「jp1log¥ncast」ディレクトリがない場合、コマンドの実行を一時停止して、ディレクトリを作成する確認メッセージを表示します。自動実行している場合などでコマンドの実行を一時停止させたくないときは、コマンドの実行前に、次に示すどれかの対策を実施してください。
 - 保存先ディレクトリを作成する。
 - pause 行の行頭に「REM」と記述し、コメント行にする。
 - pause 行を削除する。

2. トラブルシューティング関連コマンド

ncastlog.bat

- 保存先ディレクトリ下にすでに資料がある場合、資料は上書き保存されます。
- 採取する資料は、ファイルサイズが大きい場合があります。資料保存先のディスク容量が十分であることを確認してください。

使用例

コマンドの使用例を次に示します。

保存先ディレクトリを指定して資料を採取する

```
C:¥> ncastlog.bat C:¥Temp
```


ncmcreatedb

形式

ncmcreatedb

機能

JP1/Cm2/NC - Manager 用コマンドです。マネージャーサーバの DB を作成します。

! 注意事項

このコマンドは保守用のコマンドです。通常の運用では使用しません。データベースに障害が発生し、データベースの再作成が必要になった場合に使用します。

実行権限

Administrators 権限

格納場所

JP1/Cm2/NC - Manager インストール先フォルダ %bin%

戻り値

0	正常終了。
-1	異常終了（実行エラー）。

注意事項

このコマンドの実行時には、JP1/Cm2/NC - Manager のプロセスが停止している必要があります。また、あらかじめ次のパスにあるファイルを削除しておく必要があります。

JP1/Cm2/NC - Manager インストール先フォルダ %db% 配下の全ファイル

使用例

コマンドの使用例を次に示します。

DB を再作成する

```
C:%> ncmcreatedb
```

ncmischk

形式

ncmischk [-l レベル] ISAMファイル名...

機能

JP1/Cm2/NC - Manager 用 ISAM 関連コマンドです。索引順編成ファイルの論理構造を検証し、不正がある場合にメッセージを表示します。JP1/Cm2/NC - Manager の DB には、ISAM ファイル（索引順編成ファイル）を使用しています。索引順編成ファイルにトラブルが起きた場合は、まずファイルを検証する必要があります。指定した検証レベルに応じて、索引順編成ファイルを構成する各ファイルの内容や、ファイルの関連などを検証します。

！ 注意事項

このコマンドは保守用のコマンドです。通常の運用では使用しません。データベースに障害が発生した場合に、データベースの状態を確認するために使用します。

実行権限

Administrators 権限

格納場所

JP1/Cm2/NC - Manager インストール先フォルダ ¥bin¥

引数

-l レベル 《1》

ファイルを検証するレベルを指定します。レベルの数字が大きいほど、検証の内容が厳密になり、処理時間が長くなります。指定できる数字とその数字の検証レベルを次に示します。時間と検証の方法を考慮して検証レベルを指定してください。

1

キーファイルだけを検証します。

2

キーファイルの検証、およびキーファイルとデータファイルの関連を検証します。

3

次の項目を検証します。

- キーファイル
- キーファイルとデータファイルの関連
- データファイルの構造

- レコード件数

ISAM ファイル名

検証する ISAM ファイルのファイル名を指定します。引数に指定するファイル名は、「付録 A ファイルおよびディレクトリ一覧」を参照してください。ドライブおよびディレクトリを省略した場合は、カレントドライブおよびカレントディレクトリが仮定されます。複数のファイルを指定する場合は、ファイル名を 1 文字以上のスペースで区切ります。また、ワイルドカード「*」を使用してファイルを指定できます。スペースを含むファイル名を指定する場合は、「」（引用符）で囲みます。指定例を次に示します。

(例)

- 「c:¥data」フォルダにあるすべてのファイルを指定する場合
ncmischk -l3 c:¥data¥*
- 「c:¥data」フォルダにある、ファイル名が「SAMPLE」で始まるファイルを指定する場合
ncmischk -l3 c:¥data¥SAMPLE*

注意事項

複数のファイルを指定したときに、処理の途中で入出力エラーが発生した場合や、ファイルがなかった場合は、その時点でコマンドの実行は終了します。

戻り値

0	正常終了。
1	異常終了。
2	異常終了（ファイルに不整合があった場合に返されます）。

補足事項

検証結果をテキストファイルなどに出力したい場合は、> のあとに出力先のファイル名を指定して、リダイレクトしてください。指定例を次に示します。

(例)

```
ncmischk -l3 sample > chk.txt
```

ncmismlocktr

形式

ncmismlocktr

機能

JP1/Cm2/NC - Manager 用 ISAM 関連コマンドです。ISAM ロックテーブルの情報を表示します。表示内容を次に示します。

! 注意事項

このコマンドは保守用コマンドです。通常の運用では使用しません。データベースに障害が発生した場合に、データベースの状態を確認するために使用します。

図 2-1 ISAM ロックテーブルの情報

```
*** REG INFO ***
ISM_FILENO_ENV[1024]          ファイルロックテーブル数
ISM_LOCKENTRY_ENV[1024]      ロックエントリー数
***** lock Table *****
tableCount:1024              ファイルロックテーブル数
fileCount:3                  ファイルロックテーブル使用数

[1]C:¥TEMP¥TEST11.KDF        ファイルロックテーブル情報
  usedEntryCount:1           使用エントリー数
--- PID --- TID --- fd ---Offset --- lngth --- mode --- time ---
[1] 255    168    160     0         1         1    04/06/14 10:35:07

[2]C:¥TEMP¥TEST11.DRF        ファイルロックテーブル情報
  usedEntryCount:2
--- PID --- TID --- fd ---Offset --- lngth --- mode --- time ---
[1] 255    188     20     0         1         2    04/06/14 10:35:11
[2] 255    188     20    82         1         2    04/06/14 10:35:15

[3]C:¥TEMP¥TEST11.K01        ファイルロックテーブル情報
  usedEntryCount:0
--- PID --- TID --- fd ---Offset --- lngth --- mode --- time ---
```

レジストリー情報

ロックテーブル情報

実行権限

Administrators 権限

格納場所

JP1/Cm2/NC - Manager インストール先フォルダ ¥bin¥

ncmlog.bat , ncmlog_x64.bat

形式

32 ビット版 OS の場合

ncmlog.bat [保存先ディレクトリ名]

64 ビット版 OS の場合

ncmlog_x64.bat [保存先ディレクトリ名]

機能

JP1/Cm2/NC - Manager 用トラブルシューティング関連コマンドです。JP1/Cm2/NC - Manager で障害が発生した場合に、資料を採取・バックアップするために実行します。採取できる資料については、「1.4 トラブル発生時に採取が必要な資料」を参照してください。なお、ncmlog.bat または ncmlog_x64.bat を実行するにはセットアップが必要です。マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド」の資料採取ツールのセットアップについて記述している章を参照し、実行前にセットアップしてください。

実行権限

Administrators 権限

格納場所

JP1/Cm2/NC - Manager インストール先フォルダ %usertools%

引数

保存先ディレクトリ名

採取した資料を保存するディレクトリ名をフルパスで指定します。スペースを含むフォルダ（例：%program files）を資料格納フォルダに指定する場合、「"」（引用符）で囲んでください。この引数を省略すると、次のディレクトリ下に資料が保存されます。

%TEMP%\%jpllog%\ncm

なお、「%TEMP%」は、環境変数「TEMP」で指定されているディレクトリです。

注意事項

- ncmlog.bat または ncmlog_x64.bat は、障害が発生した直後に実行してください。
- 指定した保存先ディレクトリがない、または「%TEMP%」の下に「jpllog%\ncm」ディレクトリがない場合、コマンドの実行を一時停止して、ディレクトリを作成する確認メッセージを表示します。自動実行している場合などでコマンドの実行を一時停止させたくないときは、コマンドの実行前に、次に示すどれかの対策を実施してくだ

2. トラブルシューティング関連コマンド

ncmlog.bat , ncmlog_x64.bat

さい。

- 保存先ディレクトリを作成する。
- pause 行の行頭に「REM」と記述し、コメント行にする。
- pause 行を削除する。
- 保存先ディレクトリ下にすでに資料がある場合、資料は上書き保存されます。
- 採取する資料は、ファイルサイズが大きい場合があります。資料保存先のディスク容量が十分にあることを確認してください。

使用例

コマンドの使用例を次に示します。

保存先ディレクトリを指定して資料を採取する

```
C:¥> ncmlog.bat C:¥Temp
```

ncmunlock

形式

ncmunlock ログインユーザー名

機能

JP1/Cm2/NC・Manager 用コマンドです。JP1/Cm2/NC は、マネージャーサーバの DB に対して情報を更新するとき、整合性を取るために DB をロックします。このコマンドは、JP1/Cm2/NC・View から JP1/Cm2/NC・Manager に対して掛けられたロックが、何らかのトラブルによって解除できなくなった場合に使用します。

！ 注意事項

トラブル発生時以外には ncmunlock コマンドを使用しないでください。このコマンドを実行すると、JP1/Cm2/NC・View から JP1/Cm2/NC・Manager の DB に対して掛けた、正常なロックも強制的に解除してしまいます。

実行権限

Administrators 権限

格納場所

JP1/Cm2/NC - Manager インストール先フォルダ ¥bin¥

引数

ログインユーザー名

JP1/Cm2/NC・Manager に設定済みのログインユーザー名を指定します。

注意事項

このコマンドの実行時には、JP1/Cm2/NC・Manager のプロセスが動作している必要があります。

戻り値

0	正常終了。
-1	異常終了（実行エラー）。標準出力にエラーメッセージを出力します。

使用例

コマンドの使用例を次に示します。なお、オプションを誤って指定した場合、コマンドの用法が表示されます。

2. トラブルシューティング関連コマンド ncmunlock

ロックを解除する場合

```
C:¥> ncmunlock user01
```

ロックを解放してもよろしいですか (y/n)? :y

ncvlog.bat , ncvlog_x64.bat

形式

32 ビット版 OS の場合

ncvlog.bat [保存先ディレクトリ名]

64 ビット版 OS の場合

ncvlog_x64.bat [保存先ディレクトリ名]

機能

JP1/Cm2/NC - View 用トラブルシューティング関連コマンドです。JP1/Cm2/NC - View で障害が発生した場合に、資料を採取・バックアップするために実行します。採取できる資料については、「1.4 トラブル発生時に採取が必要な資料」を参照してください。なお、ncvlog.bat または ncvlog_x64.bat を実行するにはセットアップが必要です。マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド」の資料採取ツールのセットアップについて記述している章を参照し、実行前にセットアップしてください。

実行権限

Administrators 権限

格納場所

JP1/Cm2/NC - View インストール先フォルダ ¥usertools¥

引数

保存先ディレクトリ名

採取した資料を保存するディレクトリ名をフルパスで指定します。スペースを含むフォルダ（例：¥program files）を資料格納フォルダに指定する場合、「」（引用符）で囲んでください。この引数を省略すると、次のディレクトリ下に資料が保存されます。

%TEMP%¥jpllog¥ncv

なお、「%TEMP%」は、環境変数「TEMP」で指定されているディレクトリです。

注意事項

- ncvlog.bat または ncvlog_x64.bat は、障害が発生した直後に実行してください。
- 指定した保存先ディレクトリがない、または「%TEMP%」の下に「jpllog¥ncv」ディレクトリがない場合、コマンドの実行を一時停止して、ディレクトリを作成する確認メッセージを表示します。自動実行している場合などでコマンドの実行を一時停止させたくないときは、コマンドの実行前に、次に示すどれかの対策を実施してください。

2. トラブルシューティング関連コマンド

ncvlog.bat , ncvlog_x64.bat

- 保存先ディレクトリを作成する。
- pause 行の行頭に「REM」と記述し、コメント行にする。
- pause 行を削除する。
- 保存先ディレクトリ下にすでに資料がある場合、資料は上書き保存されます。
- 採取する資料は、ファイルサイズが大きい場合があります。資料保存先のディスク容量が十分であることを確認してください。

使用例

コマンドの使用例を次に示します。

保存先ディレクトリを指定して資料を採取する

```
C:¥> ncvlog.bat C:¥Temp
```

3

メッセージ

この章では、JP1/Cm2/NC が出力するメッセージと対処方法について説明します。

3.1 メッセージの出力先一覧

3.2 メッセージの形式

3.3 システム管理者の方へ

3.4 Windows イベントログの一覧

3.5 メッセージ一覧

3.1 メッセージの出力先一覧

この節では、JP1/Cm2/NC が出力する各メッセージの出力先を一覧で示します。

3.1.1 JP1/Cm2/NC - View のメッセージの出力先 (KDNV10000 ~ KDNV18999)

JP1/Cm2/NC - View のメッセージの出力先を次の表に示します。表中では、出力先を凡例のように表記しています。

(凡例)

イベントログ：Windows イベントログ

HNTRLlib2：統合トレースログファイル

stdout：標準出力

ダイアログ：メッセージダイアログボックス

：出力する。

-：出力しない。

注 下記ディレクトリに格納されます。

システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLlib2¥spool¥

表 3-1 JP1/Cm2/NC - View のメッセージの出力先

メッセージ ID	出力先			
	イベントログ	HNTRLlib2	stdout	ダイアログ
KDNV10000-I ~ KDNV10001-I			-	-
KDNV10002-E			-	
KDNV10005-W ~ KDNV10103-I	-	-	-	
KDNV10107-E	-		-	
KDNV10108-E ~ KDNV10128-E	-	-	-	
KDNV10129-E ~ KDNV10133-E	-	-		
KDNV10137-E	-	-	-	
KDNV10301-I ~ KDNV10306-W	-	-	-	
KDNV10307-E ~ KDNV10308-E	-	-		
KDNV10309-E ~ KDNV10310-E	-	-	-	
KDNV10502-E ~ KDNV10526-E	-	-	-	
KDNV10528-E ~ KDNV10529-E	-	-		
KDNV10530-E ~ KDNV10531-E	-	-		-

メッセージ ID	出力先			
	イベントログ	HNTRLlib2	stdout	ダイアログ
KDENV10532-E ~ KDENV10538-E	-	-		
KDENV10539-E ~ KDENV10542-E	-	-		-
KDENV10543-E	-	-	-	
KDENV10544-E ~ KDENV10547-E	-	-		-
KDENV10548-W ~ KDENV10549-W	-	-	-	
KDENV10550-E ~ KDENV10552-E	-	-		
KDENV10553-E	-	-	-	
KDENV10554-E ~ KDENV10568-E	-	-		-
KDENV10570-E ~ KDENV10573-E	-	-	-	
KDENV10574-E	-	-		
KDENV10575-E	-	-		-
KDENV10578-E ~ KDENV10579-E	-	-		-
KDENV10580-E ~ KDENV10582-W	-	-	-	
KDENV10600-I ~ KDENV10636-W	-	-	-	
KDENV10637-E ~ KDENV10645-E	-	-		-
KDENV10646-E ~ KDENV10647-E	-	-		
KDENV10648-E	-	-		-
KDENV10649-E ~ KDENV10650-E	-	-		
KDENV10651-E ~ KDENV10652-E	-	-		-
KDENV10653-E	-	-		
KDENV10654-I	-	-	-	
KDENV10655-E ~ KDENV10658-E	-	-		
KDENV10659-I ~ KDENV10661-I	-	-	-	
KDENV10662-E ~ KDENV10665-E	-	-		-
KDENV10666-I	-	-	-	
KDENV10667-E ~ KDENV10673-E	-	-		-
KDENV10674-E ~ KDENV10677-E	-	-	-	
KDENV10678-E ~ KDENV10684-E	-	-		-
KDENV10685-E ~ KDENV10694-E	-	-	-	
KDENV10695-E	-	-		-
KDENV10700-E ~ KDENV10818-E	-	-	-	
KDENV10819-E ~ KDENV10820-E	-	-		

3. メッセージ

メッセージ ID	出力先			
	イベントログ	HNTRLlib2	stdout	ダイアログ
KDNV10925-E	-		-	
KDNV10931-E	-	-	-	
KDNV10932-E	-		-	
KDNV10939-E	-	-	-	
KDNV11000-E		-	-	-
KDNV11001-E			-	-
KDNV11002-E ~ KDNV11003-E	-		-	-
KDNV11004-E ~ KDNV11006-E			-	-
KDNV11012-E		-	-	-
KDNV11031-E	-		-	-
KDNV11100-E		-	-	-
KDNV11108-E ~ KDNV11111-E	-		-	-
KDNV11119-E ~ KDNV11125-E		-	-	-
KDNV11200-I ~ KDNV11322-E	-	-		-

3.1.2 JP1/Cm2/NC - Manager のメッセージの出力先 (KDNV20000 ~ KDNV29999)

JP1/Cm2/NC - Manager のメッセージの出力先を次の表に示します。表中では、出力先を凡例のように表記しています。

(凡例)

イベントログ : Windows イベントログ

HNTRLlib2 : 統合トレースログファイル

stdout : 標準出力

: 出力する。

- : 出力しない。

注 下記ディレクトリに格納されます。

システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLlib2¥spool¥

表 3-2 JP1/Cm2/NC - Manager のメッセージの出力先

メッセージ ID	出力先		
	イベントログ	HNTRLlib2	stdout
KDNV20000-E ~ KDNV20002-I			-

メッセージ ID	出力先		
	イベントログ	HNTRLlib2	stdout
KDNV20003-E	-		-
KDNV20004-E			-
KDNV20005-E	-		-
KDNV20006-E			-
KDNV20007-E ~ KDNV20110-E	-		-
KDNV20111-E	-	-	
KDNV20201-E ~ KDNV20203-E	-		-
KDNV20301-E			-
KDNV20302-E	-		-
KDNV20321-E ~ KDNV20500-E			-
KDNV20501-E ~ KDNV20610-E	-		-
KDNV20700-I ~ KDNV20827-E	-	-	
KDNV21000-E ~ KDNV21017-E	-		-
KDNV21100-E ~ KDNV21101-E	-		-
KDNV21102-E ~ KDNV21103-E			-
KDNV21104-E ~ KDNV21105-W	-		-

3.1.3 JP1/Cm2/NC - Adaptor のメッセージの出力先 (KDNV30000 ~ KDNV39999)

JP1/Cm2/NC - Adaptor のメッセージの出力先を次の表に示します。表中では、出力先を凡例のように表記しています。

(凡例)

イベントログ : Windows イベントログ

HNTRLlib2 : 統合トレースログファイル

stdout : 標準出力

: 出力する。

- : 出力しない。

注 下記ディレクトリに格納されます。

システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLlib2¥spool¥

3. メッセージ

表 3-3 JP1/Cm2/NC - Adaptor のメッセージの出力先

メッセージ ID	出力先		
	イベントログ	HNTRLib2	stdout
KDNV30000-E	-		-
KDNV30001-E ~ KDNV30002-E			-
KDNV30003-E	-		-
KDNV30004-E ~ KDNV30006-E			-
KDNV30030-E		-	-
KDNV30050-E ~ KDNV30092-W	-	-	
KDNV30100-I ~ KDNV30103-E			-
KDNV30104-E ~ KDNV30125-E	-		-
KDNV30126-E		-	-
KDNV30127-E ~ KDNV31022-E	-		-

3.2 メッセージの形式

JP1/Cm2/NC が出力するメッセージの形式と、マニュアルでの記載形式を示します。

3.2.1 メッセージの出力形式

JP1/Cm2/NC が出力するメッセージの形式を示します。ファイルに出力する場合、メッセージはメッセージ ID とメッセージテキストが続いて出力されます。メッセージダイアログボックスに出力する場合、次のように出力されます。

KDNVnnnnnn-Z (メッセージID)
メッセージテキスト

メッセージ ID は、次の内容を示しています。

K

システム識別子を示します。

DNV

JP1/Cm2/NC のメッセージであることを示します。JP1/Cm2/NC - Manager , JP1/Cm2/NC - View , および JP1/Cm2/NC - Adaptor で同一のものを使用しています。

nnnnn

メッセージの通し番号を示します。JP1/Cm2/NC 内で重複しない番号です。

Z

メッセージの種類を示します。

E : エラー (Error) 。 処理は中断されます。

W : 警告 (Warning) 。 メッセージ出力後、処理は続けられます。

I : 通知 (Notice) および情報 (Information) 。 ユーザーに情報を知らせます。

3.2.2 メッセージの記載形式

このマニュアルでのメッセージの記載形式を示します。JP1/Cm2/NC が出力するメッセージの記載順序は、メッセージ ID 順に次の形式で記載しています。メッセージテキストで、太字で書かれている部分は、メッセージが表示されるたびに表示内容が変わる個所を示しています。記載形式の例を次に示します。

メッセージ ID

英語メッセージテキスト (可変値)

日本語メッセージテキスト (可変値)

メッセージの説明文

(S)

3. メッセージ

システム（各プログラム）の処置を示します。

(O)

メッセージが出力されたときに、オペレーターの取る処置を示します。

3.2.3 メッセージに出力される製品名について

製品名は、略した名称でメッセージに出力されます。次に製品名とメッセージでの表記を示します。

表 3-4 製品名とメッセージでの表記

製品名	メッセージでの表記	
JP1/Cm2/NC - Manager	マネージャー (Manager)	
JP1/Cm2/NC - View	ビュー (View)	
JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series	AX アダプター (AX adaptor)	アダプター (Adaptor)
JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series	BS アダプター (BS adaptor)	
JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch	CS アダプター (CS adaptor)	
JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer	BI アダプター (BI adaptor)	
JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series	GS アダプター (GS adaptor)	
JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal	LF アダプター (LF adaptor)	
JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager	ST アダプター (ST adaptor)	

3.3 システム管理者の方へ

運用中にトラブルが発生した場合には、「1.3 ログ情報の種類」を参照してログ情報を採取し、初期調査してください。

トラブルの要因を初期調査する場合は、OS のログ情報（Windows の場合は Windows イベントログ）や、JP1/Cm2/NC が出力する各種ログ情報を参照してください。これらのログ情報でトラブル発生時間帯の内容を参照して、トラブルを回避したり、トラブルに対処したりしてください。

また、トラブルが発生するまでの操作方法などを記録してください。同時に、トラブルの発生が再現できるかどうか確認するようにしてください。

3.4 Windows イベントログの一覧

JP1/Cm2/NC が Windows イベントログに出力する情報の一覧を次に示します。

表 3-5 JP1/Cm2/NC - View の Windows イベントログの情報一覧

メッセージ ID	Windows (アプリケーションログ)	
	イベント ID	種類
KDNCV10000-I	2	情報
KDNCV10001-I	2	情報
KDNCV10002-E	2	エラー
KDNCV11000-E	2	エラー
KDNCV11001-E	2	エラー
KDNCV11004-E	2	エラー
KDNCV11005-E	2	エラー
KDNCV11006-E	2	エラー
KDNCV11012-E	2	エラー
KDNCV11100-E	2	エラー
KDNCV11119-E	2	エラー
KDNCV11125-E	2	エラー

アプリケーションログのソース名は、「JP1/Cm2/NC-V」になります。

表 3-6 JP1/Cm2/NC - Manager の Windows イベントログの情報一覧

メッセージ ID	Windows (アプリケーションログ)	
	イベント ID	種類
KDNCV20000-E	2	エラー
KDNCV20001-I	2	情報
KDNCV20002-I	2	情報
KDNCV20004-E	2	エラー
KDNCV20006-E	2	エラー
KDNCV20301-E	2	エラー
KDNCV20321-E	2	エラー
KDNCV20500-E	2	エラー
KDNCV21102-E	2	エラー
KDNCV21103-E	2	エラー

アプリケーションログのソース名は、「JP1/Cm2/NC-M」になります。

表 3-7 JP1/Cm2/NC - Adaptor の Windows イベントログの情報一覧

メッセージ ID	Windows (アプリケーションログ)	
	イベント ID	種類
KDENV30001-E	2	エラー
KDENV30002-E	3	エラー
KDENV30004-E	5	エラー
KDENV30005-E	6	エラー
KDENV30006-E	7	エラー
KDENV30030-E	31	エラー
KDENV30100-I	1	情報
KDENV30101-E	2	エラー
KDENV30102-I	3	情報
KDENV30103-E	4	エラー
KDENV30126-E	27	エラー

アプリケーションログのソース名は、「JP1/Cm2/NC-A」で始まる名称になります。

3.5 メッセージ一覧

JP1/Cm2/NC が出力するメッセージと対処方法について説明します。

3.5.1 JP1/Cm2/NC - View のメッセージ (KDNV10000 ~ KDNV18999)

JP1/Cm2/NC - View が出力するメッセージの一覧を次に示します。

KDNV10000-I

View started.

ビューが起動しました。

JP1/Cm2/NC - View が正常に起動しました。

(S)

JP1/Cm2/NC - View を起動します。

KDNV10001-I

View terminated.

ビューが停止しました。

JP1/Cm2/NC - View が正常に停止しました。

(S)

JP1/Cm2/NC - View を停止します。

KDNV10002-E

An attempt to start View has failed. Reason= **メッセージ**

ビューの起動に失敗しました。理由 = **メッセージ**

JP1/Cm2/NC - View の起動に失敗しました。

メッセージには、次に示すどれかのメッセージが表示されます。

- The format of the configuration file **定義ファイル名** is incorrect.
定義ファイル：**定義ファイル名**のフォーマットが不正です。
- An error occurred while reading the registry values.
レジストリー値の読み込みでエラーが発生しました。
- Memory is insufficient.
メモリー不足。
- An unknown exception occurred.
未知例外が発生しました。
- An error occurred while creating View process.
ビュープロセス生成でエラーが発生しました。

- The last line of the ncv.conf file does not end with a linefeed character.
ncv.conf ファイルの最後に改行がありません。

(S)

JP1/Cm2/NC - View の起動を中止します。

(O)

表示された**メッセージ**の内容に応じて、次に示す対策を実施してください。

「定義ファイル**定義ファイル名**のフォーマットが不正です。」の場合

JP1/Cm2/NC - View 接続先定義ファイル (ncvdest.conf) のエラー箇所を修正してください。

「レジストリー値の読み込みでエラーが発生しました。」の場合

JP1/Cm2/NC - View を再インストールしてください。

「メモリー不足。」の場合

ほかのアプリケーションを終了し、JP1/Cm2/NC - View を再起動してください。

「未知例外が発生しました。」の場合

システム管理者に連絡してください。

「ビュープロセス生成でエラーが発生しました。」の場合

JRE がインストールディレクトリにあるか確認してください。JRE がない場合、JP1/Cm2/NC - View を再インストールしてください。

「ncv.conf ファイルの最後に改行がありません。」の場合

ncv.conf ファイルの最後に改行を追加してください。

KDENV10005-W

The ncv.conf file content is incorrect.

ncv.conf ファイルの内容が不正です。

次に示す要因で、JP1/Cm2/NC - View 動作条件定義ファイル (ncv.conf) の内容が不正です。

- JP1/Cm2/NC - View 動作条件定義ファイル (ncv.conf) のフォーマットが不正である。
- JP1/Cm2/NC - View 動作条件定義ファイル (ncv.conf) が空である。
- JP1/Cm2/NC - View 動作条件定義ファイル (ncv.conf) がない。

(S)

JP1/Cm2/NC - View 動作条件定義ファイル (ncv.conf) の内容に、デフォルト値を仮定して起動処理を続行します。

(O)

JP1/Cm2/NC - View 動作条件定義ファイル (ncv.conf) の内容を確認してください。

KDNV10006-W

The ncvdest.conf file content is incorrect.

ncvdest.conf ファイルの内容が不正です。

次に示す要因で、JP1/Cm2/NC - View 接続先定義ファイル (ncvdest.conf) の内容が不正です。

- JP1/Cm2/NC - View 接続先定義ファイル (ncvdest.conf) のフォーマットが不正である。
- JP1/Cm2/NC - View 接続先定義ファイル (ncvdest.conf) が空である。
- JP1/Cm2/NC - View 接続先定義ファイル (ncvdest.conf) がない。

(S)

JP1/Cm2/NC - View 接続先定義ファイル (ncvdest.conf) の内容に、デフォルト値を仮定して起動処理を続行します。

(O)

JP1/Cm2/NC - View 接続先定義ファイル (ncvdest.conf) の内容を確認してください。

KDNV10100-E

An attempt to authenticate the user has failed.

ユーザー認証に失敗しました。

[ログイン] ダイアログボックスで入力したパスワードが JP1/Cm2/NC - Manager で定義されていません。

(S)

ログイン画面を表示します。

(O)

次に示すどちらかの対処を実施してください。

- 正しいユーザー名とパスワードを入力する。
- 新規ユーザーの場合は、JP1/Cm2/NC - Manager で ncmuser コマンドを使ってユーザー登録したあと、再度ログインする。

KDNV10103-I

The settings used in the previous login are being applied.

前回のログインセッション中の設定が処理中です。

前回のログインで起動した設定が、JP1/Cm2/NC - Manager で処理中です。このメッセージは、前回のログインセッション中にネットワーク構成情報の設定処理や取得 (同期) 処理が完了する前に JP1/Cm2/NC - View を停止し、再度ログインした場合でまだ処理が完了していないときに表示します。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

設定完了を待ってから、再度設定処理を実行してください。

KDNV10107-E

The connection with Manager has been disconnected.

マネージャーとのコネクションが切断されました。

JP1/Cm2/NC - Manager とのコネクションが切断されました。次に示す要因が考えられます。

- JP1/Cm2/NC - Manager が停止した。
- ネットワーク障害が発生した。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

JP1/Cm2/NC - Manager を起動するか、またはネットワーク障害が回復してから再度ログインしてください。

KDNV10108-E

The connection with Manager is unavailable. Please login again.

マネージャーとのコネクションが接続されていません。再度ログインしてください。

JP1/Cm2/NC - Manager とのコネクションがないため（接続されていないため）、構成情報の設定・参照ができません。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

再度ログインしてください。

KDNV10109-E

The setup process is still progress. New setup is not possible.

設定処理中です。新しい設定はできません。

JP1/Cm2/NC - Manager で、ほかのユーザーの設定を処理しています。そのため、要求した設定ができません。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

時間を置いて、再度設定処理をしてください。

KDENV10110-I

Network Information has been updated. Do you want to update the network configuration tree to the latest status?

ネットワーク構成情報が更新されました。ネットワーク構成ツリーを最新の状態に更新しますか？

JP1/Cm2/NC - Manager のネットワーク構成情報が更新されています。JP1/Cm2/NC - View のネットワーク構成ツリーを最新の状態に更新できます。

(S)

JP1/Cm2/NC - View のネットワーク構成ツリーを最新の状態に更新し、元の画面を表示します。

(O)

ネットワーク構成ツリーを再構成するかどうか確認するダイアログボックスで [はい] をクリックすると、ネットワーク構成ツリーが更新されます。あとで更新する場合は [いいえ] をクリックしてください。

KDENV10111-I

The setup process that was started during the earlier login has completed.

前回のログイン中の設定が完了しました。

前回のログインセッション中に実行された設定が完了しました。

(S)

元の画面を表示します。

KDENV10112-E

The " **フィールド名** " field is empty.

フィールド名：**フィールド名**が未入力です。

フィールド名：**フィールド名**に値が入力されていません。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

フィールド名：**フィールド名**に適切な値を入力してください。

KDENV10113-E

The selected switch is not in the normal state. Setting is not possible.

選択されたスイッチは正常状態ではないため設定することができません。

スイッチが正常状態でないため、設定処理ができません。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

スイッチが正常状態になったのを確認してから、再度設定処理をしてください。

KDNV10114-E

An internal error occurred.

内部エラーが発生しました。

JP1/Cm2/NC - View で内部エラーが発生しました。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV10115-I

Do you want to close View?

ログアウトしてもよろしいですか？

JP1/Cm2/NC - View を停止します。

(S)

JP1/Cm2/NC - View を停止します。

(O)

JP1/Cm2/NC - View を停止する場合は、[はい] をクリックしてください。キャンセルする場合は、[いいえ] をクリックしてください。

KDNV10116-E

An attempt to lock the manager database has failed.

マネージャーデータベースのロックに失敗しました。

マネージャーデータベースがほかのユーザーの設定処理またはアダプターからの情報取得処理によってロックされているため、ロックに失敗しました。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

ほかのユーザーによって設定処理中の場合は、その設定が完了してから再度設定してください。それ以外の場合は、しばらく時間を置いてから再度実行してください。時間を置いてもロックが解除されない場合は、nemunlock コマンドでロックを強制解放してください。

KDNV10118-I

The network information has been updated on Manager. View needs to be refreshed before doing any configuration.

3. メッセージ

マネージャーでネットワーク構成情報が更新されています。構成情報の設定をする前に最新の情報に更新する必要があります。

JP1/Cm2/NC - Manager のネットワーク構成情報が更新されているため、構成情報を設定する前に最新の情報を取得する必要があります。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

最新の情報に更新してから、構成情報を設定してください。

KDNV10119-E

Acquisition of the network information from Manager has failed.

マネージャーからのネットワーク構成情報の取得処理に失敗しました。

ネットワーク構成情報の取得処理中にエラーが発生しました。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

JP1/Cm2/NC - Manager が動作しているか確認してから再接続してください。

KDNV10124-E

The Bind Configuration Information Setup dialog box cannot be displayed. (reason = **メッセージ**)

バインド構成情報設定ダイアログボックスを表示できません。理由：**メッセージ**

[バインド構成情報の設定]ダイアログボックスを表示できません。発生したエラーの内容は、**メッセージ**に表示されます。

メッセージ

- In the switch, there is no virtual server subject to binding.
バインド対象論理サーバがスイッチにありません。
- In the switch, there is no real server subject to binding.
バインド対象物理サーバがスイッチにありません。
- There are no bindable ports available for any of the virtual servers.
バインド対象ポートが論理サーバにありません。
- There are no bindable ports available for any of the real servers.
バインド対象ポートが物理サーバにありません。
- In the switch, there is no pool for binding.
スイッチにはバインドするためのプールは存在しません。
- There is no zone that can be bound.
バインドできるゾーンは存在しません。

(S)

ユーザーの応答を待ちます。

(O)

現在の設定内容を確認してください。

KDNV10125-E

The telnet window cannot be displayed.

telnet ウィンドウを表示できません。

telnet ウィンドウを表示できません。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV10126-E

The settings cannot be changed because the switch configured with the selected VLAN (ID = **VLAN-ID**) is not in the normal state.

選択した VLAN(ID=**VLAN-ID**) を構成するスイッチは正常状態ではないため設定することができません。

スイッチが正常な状態にないため、スイッチ構成情報を設定できません。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

スイッチが正常な状態になったのを確認してから、再設定してください。

KDNV10127-E

The settings cannot be changed because the selected switch (**スイッチ名称**) is not in the normal state.

選択したスイッチ：名称 = **スイッチ名称** は正常状態ではないため設定することができません。

スイッチが正常な状態にないため、スイッチ構成情報を設定できません。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

スイッチが正常な状態になったのを確認してから、再設定してください。

KDNV10128-E

Switch IP address is unknown.

スイッチの IP アドレスが不明です。

選択したスイッチの IP アドレスが不明なため、telnet ウィンドウを表示できません。

3. メッセージ

(S)

元の画面を表示します。

(O)

該当するスイッチを管理している JP1/Cm2/NC - Adaptor で、該当するスイッチのアドレスが解決できていないおそれがあります。ネットワークの設定を見直してください。なお、JP1/Cm2/NC - Adaptor を 07-50 より前のバージョンからバージョンアップした場合は、該当するスイッチに対して構成情報の同期を行ったあと、再度実行してください。

KDENV10129-E

The specified **フィールド名** must not exceed **文字数** characters.

フィールド名は**文字数**文字以内で指定してください。

フィールド名に指定した文字数が上限を超えています。

(S)

GUI での操作の場合、ユーザーからの応答を待ちます。

CLI での操作の場合、処理を中止します。

(O)

正しい値を指定してください。

KDENV10130-E

The specified **フィールド名** is invalid.

選択した**フィールド名**が不正です。

フィールド名に指定した値が不正です。

(S)

GUI での操作の場合、ユーザーからの応答を待ちます。

CLI での操作の場合、処理を中止します。

(O)

正しい値を指定してください。

KDENV10131-E

The specified **構成要素** does not exist in the network.

選択した**構成要素**はネットワーク上に存在しません。

選択した**構成要素**はネットワーク上に存在しません。

(S)

GUI での操作の場合、ユーザーからの応答を待ちます。

CLI での操作の場合、処理を中止します。

(O)

構成情報の同期を実行したあと、再度操作をやり直してください。

KDNV10132-E

The specified **構成要素** already exists in the network.

選択した**構成要素**はすでにネットワーク上に存在します。

選択した**構成要素**はすでにネットワーク上に存在します。指定した名前はすでにほかで使用されているおそれがあります。

(S)

GUIでの操作の場合、ユーザーからの応答を待ちます。

CLIでの操作の場合、処理を中止します。

(O)

同じ名前の**構成要素**がないか確認してください。すでに同じ名前がある場合、異なる名前を指定してください。

KDNV10133-E

The TPID value must be 4 digit Hexadecimal number.

TPIDは16進数4けたより短い値は指定できません。

TPIDに指定した値が不正です。

(S)

GUIでの操作の場合、ユーザーからの応答を待ちます。

CLIでの操作の場合、処理を中止します。

(O)

TPIDは、0000 ~ FFFFの範囲で指定してください。

KDNV10137-E

The selected switch (**スイッチ名**) cannot be deleted because the VTP mode is set to client mode.

指定したスイッチ(**スイッチ名** = **スイッチ名**)はVTPモードがクライアントのため、削除できません。

VTPモードが「クライアント」に設定されているCiscoスイッチを削除しようとしています。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

VTPモードが「クライアント」に設定されているCiscoスイッチは削除することはできません。

3. メッセージ

KDENV10301-I

The setting of the switch configuration information has completed.

スイッチの構成情報の設定が完了しました。

スイッチ構成情報の設定が正常に完了しました。

(S)

元の画面を表示します。

KDENV10302-E

The MAC address is not in the MAC address format [nn:nn:nn:nn:nn:nn/ マスク長].

MAC アドレスが MAC アドレス形式 [nn:nn:nn:nn:nn:nn/ マスク長] ではありません。

MAC アドレスの形式が不正です。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

MAC アドレスは、[nn:nn:nn:nn:nn:nn/ マスク長] の形式で設定してください。

KDENV10303-E

The mask length in the MAC address is not in the range of 8 to 34.

MAC アドレスのマスク長が 8 ~ 34 の範囲ではありません。

MAC アドレスのマスク長が不正です。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

MAC アドレスのマスク長は、8 ~ 34 の範囲で設定してください。

KDENV10304-E

A multicast MAC address cannot be specified.

マルチキャスト MAC アドレスは設定できません。

MAC アドレスにマルチキャスト MAC アドレスは設定できません。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

MAC アドレスには、マルチキャスト MAC アドレス以外を設定してください。

KDENV10305-E

The TPID cannot be less than 4 hexadecimal digits.

TPID は 16 進数 4 けたより短い値は指定できません。

TPID の形式が不正です。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

TPID は 16 進数 4 けたで設定してください。

KDNV10306-W

There is a VLAN for which use of a VLAN-specific MAC address is enabled. Do you want to delete the VLAN-specific MAC address prefix?

VLAN ごとの MAC アドレスの使用が有効になっている VLAN があります。VLAN ごとの MAC アドレスのプレフィックスを削除しますか？

VLAN ごとの MAC アドレスの使用が有効になっている VLAN がある状態で、VLAN ごとの MAC アドレスのプレフィックスを削除しようとしてしました。

(S)

VLAN ごとの MAC アドレスのプレフィックスを削除し、元の画面を表示します。

(O)

VLAN ごとの MAC アドレスのプレフィックスを削除する場合は、[はい] をクリックしてください。キャンセルする場合は、[いいえ] をクリックしてください。

KDNV10307-E

The specified switch (Name= **スイッチ名**) is not in the normal state. Setting is not possible.

指定したスイッチ (スイッチ名 = **スイッチ名**) の状態は 正常ではないため、設定できません。

指定したスイッチは正常状態ではないため、構成情報の設定はできません。

(S)

GUI での操作の場合、ユーザーからの応答を待ちます。

CLI での操作の場合、処理を中止します。

(O)

スイッチの状態を確認し、一度構成情報の同期を実行してから、再度操作をやり直してください。

KDNV10308-E

The configuration information in the specified Switch (Name= **スイッチ名**) is invalid. **理由**

選択したスイッチ (スイッチ名 = **スイッチ名**) の構成情報が不正です。 **理由**

無効なパラメーターを指定して、スイッチに構成情報を設定しようとしています。

(S)

GUI での操作の場合、ユーザーからの応答を待ちます。

3. メッセージ

CLI での操作の場合、処理を中止します。

(O)

正しい値を指定してください。

KDNV10309-E

The combination of "Port Mode = trunk" and "Encapsulation = negotiate" cannot be set. (selected port: interface type = **インターフェースタイプ**, slot = **スロット番号**, port = **ポート番号**)

ポートモード = トランク かつ カプセル化フォーマット = negotiate の組み合わせは設定できません。(選択したポート: インターフェースタイプ = **インターフェースタイプ** スロット = **スロット番号** ポート = **ポート番号**)

ポートモードがトランクの場合、カプセル化フォーマットを negotiate には設定できません。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

ポートモードとカプセル化フォーマットの組み合わせが正しいか確認してください。

KDNV10310-E

The combination of "Port Mode = trunk" and "Encapsulation = negotiate" cannot be set. (selected port: interface type = **インターフェースタイプ**, stack = **スタック番号**, slot = **スロット番号**, port = **ポート番号**)

ポートモード = トランク かつ カプセル化フォーマット = negotiate の組み合わせは設定できません。(選択したポート: インターフェースタイプ = **インターフェースタイプ** スタック = **スタック番号** スロット = **スロット番号** ポート = **ポート番号**)

ポートモードがトランクポートの場合、カプセル化フォーマットを negotiate には設定できません。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

ポートモードとカプセル化フォーマットの組み合わせが正しいか確認してください。

KDNV10502-E

The VLAN ID is not in the range of 2 to 4095.

VLAN ID が 2 ~ 4095 の範囲ではありません。

VLAN-ID の値が不正です。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

VLAN-ID は、2 ~ 4095 の範囲で設定してください。

KDNV10503-E

The specified VLAN ID already exists in the same domain.

設定した VLAN ID はすでに同じドメインにあります。

VLAN-ID がすでに同じドメインにあります。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

異なる VLAN-ID の値を設定してください。

KDNV10504-W

The default VLAN (VLAN ID = 1) cannot be deleted.

デフォルト VLAN(VLAN ID = 1) は削除できません。

デフォルト VLAN を削除することはできません。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

デフォルト VLAN は削除しないでください。

KDNV10505-E

An attempt to add the VLAN definition has failed. VLAN already exists in the Manager database.

VLAN 定義の追加に失敗しました。VLAN はマネージャーデータベースにすでに設定されています。

VLAN 定義の追加でエラーが発生しました。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

最新の情報に更新するか、または再度ログインしてください。

KDNV10506-E

An attempt to update the VLAN definition has failed. VLAN does not exist in the Manager database.

VLAN 定義の更新に失敗しました。VLAN はマネージャーデータベースにありません。

VLAN 定義の更新でエラーが発生しました。

(S)

3. メッセージ

元の画面を表示します。

(O)

最新の情報に更新するか、または再度ログインしてください。

KDNV10507-I

Do you wish to delete the VLAN definition?

VLAN 定義を削除してよろしいですか？

VLAN 定義を削除します。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

VLAN 定義を削除する場合は、[はい] をクリックしてください。キャンセルする場合は、[いいえ] をクリックしてください。

KDNV10508-I

Do you wish to delete the switch definition from the VLAN?

VLAN からスイッチの定義を削除してよろしいですか？

スイッチ定義を削除します。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

スイッチ定義を削除する場合は、[はい] をクリックしてください。キャンセルする場合は、[いいえ] をクリックしてください。

KDNV10509-I

Do you wish to start the setting of the VLAN configuration information?

VLAN 構成情報の設定を開始してよろしいですか？

VLAN 構成情報の設定処理を開始します。

(S)

VLAN 構成情報を設定し、元の画面を表示します。

(O)

VLAN 構成情報の設定処理を開始する場合は、[はい] をクリックしてください。キャンセルする場合は、[いいえ] をクリックしてください。

KDNV10512-W

MAC address for each VLAN have not been set for the switch. Do you want to enable MAC address for each VLAN?

スイッチに VLAN ごとの MAC アドレスが設定されていません。VLAN ごとの MAC アドレスの使用を有効にしますか？

スイッチに VLAN ごとの MAC アドレスが定義されていない状態で、VLAN ごとの MAC アドレスの使用を有効にしようとした。

(S)

VLAN ごとの MAC アドレスの使用を有効にし、元の画面を表示します。

(O)

VLAN ごとの MAC アドレスの使用を有効にする場合は、[はい] をクリックしてください。キャンセルする場合は、[いいえ] をクリックしてください。

KDNV10513-E

The selected port (NIF = **NIF 番号**, port = **ポート番号**) cannot be set as an untagged port because it is an untagged port of another port VLAN (ID = **VLAN-ID**).

選択したポート：NIF = **NIF 番号** Port = **ポート番号**はほかのポート VLAN (ID= **VLAN-ID**) の Untagged ポートです。このポート VLAN で Untagged ポートとして選択することはできません。

ほかのポート VLAN で Untagged ポートに設定されているポートは、Untagged ポートとして設定することはできません。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

ほかのポート VLAN で Untagged ポートに設定されていないポートを、Untagged ポートに設定してください。

KDNV10514-E

The IPv4 address is not in the format [nnn.nnn.nnn.nnn/ **マスク長**].

IPv4 アドレスが [nnn.nnn.nnn.nnn/ マスク長] の形式ではありません。

IPv4 アドレスの形式が不正です。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

IPv4 アドレスは、[nnn.nnn.nnn.nnn/ マスク長] の形式で設定してください。

KDNV10515-E

The mask length in the IPv4 address is not in the range of 1 to 32.

IPv4 アドレスのマスク長が 1 ~ 32 の範囲ではありません。

IPv4 アドレスのマスク長が不正です。

(S)

3. メッセージ

元の画面を表示します。

(O)

IPv4 アドレスのマスク長は、1 ~ 32 の範囲で設定してください。

KDENV10516-E

The IPv6 address is not in the format [nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn/Prefix length].

IPv6 アドレスが [nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn/プレフィックス長] の形式ではありません。

IPv6 アドレスの形式が不正です。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

IPv6 アドレスは、[nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn/プレフィックス長] の形式で設定してください。

KDENV10517-E

The prefix length in the IPv6 address is not in the range of 1 to 128.

IPv6 アドレスのプレフィックス長が 1 ~ 128 の範囲ではありません。

IPv6 アドレスのプレフィックス長が不正です。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

IPv6 アドレスのプレフィックス長は、1 ~ 128 の範囲で設定してください。

KDENV10518-E

The selected port (NIF = NIF 番号, port = ポート番号) cannot be set as an untagged port because it is already set as a tagged port in this port VLAN.

選択したポート : NIF = NIF 番号 Port = ポート番号はすでにこのポート VLAN の Tagged ポートとして設定されています。Untagged ポートとして設定することはできません。

このポート VLAN で Tagged ポートとして設定されているポートは、Untagged ポートとして設定することはできません。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

次に示すどちらかの対処をしてください。

- Untagged ポートに別のポートを設定する。
- 選択したポートを Tagged ポートから削除してから、Untagged ポートに設定す

る。

KDNV10519-E

The selected port (NIF = **NIF 番号**, port = **ポート番号**) cannot be set as a tagged port because it is already set as an untagged port in this port VLAN.

選択したポート : NIF = **NIF 番号** Port = **ポート番号**はすでにこのポート VLAN の Untagged ポートとして設定されています。Tagged ポートとして設定することはできません。

このポート VLAN で Untagged ポートとして設定されているポートは、Tagged ポートとして設定することはできません。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

次に示すどちらかの対処をしてください。

- Tagged ポートに別のポートを設定する。
- 選択したポートを Untagged ポートから削除してから、Tagged ポートに設定する。

KDNV10520-E

No more switches with normal status are available in the domain to configure the selected VLAN.

選択した VLAN を構成するドメイン内に利用できる正常状態のスイッチはありません。

ドメイン内にある正常状態のスイッチが、すでに選択した VLAN 内で構成されているか、またはドメイン内にスイッチがありません。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

新しいスイッチを追加して、再度実行してください。

KDNV10524-E

The VLAN name must start with an alphabetic character.

VLAN 名はアルファベットで始めてください。

VLAN 名が不正です。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

正しい VLAN 名を設定してください。

KDNV10525-E

An attempt to delete the VLAN definition has failed. The VLAN has already been deleted from the Manager database.

VLAN 定義の削除に失敗しました。VLAN はすでにマネージャーデータベースから削除されています。

VLAN 定義の削除でエラーが発生しました。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

最新の情報に更新するか、再度ログインしてください。

KDNV10526-E

The specified attribute: **属性** already exists in the VLAN (ID=**VLAN-ID**).

設定した属性: **属性**はすでに VLAN (ID=**VLAN-ID**) にあります。

属性: **属性**は、すでにほかの VLAN (ID=**VLAN-ID**) で設定されています。属性は次の内容を出力します。

- VLAN 名
- IPv4 アドレス
- IPv6 アドレス
- ネットワークアドレス

(S)

元の画面を表示します。

(O)

属性: **属性**に、ほかの VLAN と重複しない値を設定してください。

KDNV10528-E

The default VLAN (ID=**VLAN-ID**) cannot be deleted.

デフォルト VLAN (VLAN ID=**VLAN-ID**) は削除できません。

VLAN-ID で示すデフォルト VLAN を削除しようとしています。

(S)

GUI での操作の場合、ユーザーからの応答を待ちます。

CLI での操作の場合、処理を中止します。

(O)

デフォルト VLAN は削除できません。

KDNV10529-E

Cannot add a switch to the default VLAN (ID=1).

デフォルト VLAN (VLAN ID=1) にはスイッチを追加できません。

デフォルト VLAN(VLAN-ID=1) にスイッチを追加しようとしています。

(S)

GUI での操作の場合，ユーザーからの応答を待ちます。

CLI での操作の場合，処理を中止します。

(O)

デフォルト VLAN にはすでにスイッチが設定されているため，追加することはできません。操作している VLAN が正しいか確認してください。

KDNV10530-E

The Cisco switch (**スイッチ名**) cannot be added to the VLAN (ID = **VLAN-ID**) because the VTP mode is set to client mode.

VLAN (VLAN ID=**VLAN-ID**) には VTP モードがクライアントの Cisco スイッチ (**スイッチ名 = スイッチ名**) は追加できません。

VTP モードが「クライアント」に設定されているスイッチを VLAN に追加しようとしています。

(S)

処理を中止します。

(O)

VTP モードが「クライアント」に設定されているスイッチを VLAN に追加することはできません。操作しているスイッチが正しいか確認してください。

KDNV10531-E

The Cisco switch (**スイッチ名**) cannot be deleted from the VLAN (ID = **VLAN-ID**) because the VTP mode is set to client mode.

VLAN (VLAN ID=**VLAN-ID**) から VTP モードがクライアントの Cisco スイッチ (**スイッチ名 = スイッチ名**) は削除できません。

VTP モードが「クライアント」に設定されているスイッチを VLAN から削除しようとしています。

(S)

処理を中止します。

(O)

VTP モードが「クライアント」に設定されているスイッチを VLAN から削除することはできません。操作しているスイッチが正しいか確認してください。

KDNV10532-E

Cannot change the status of the VLAN (ID=**VLAN-ID**).

3. メッセージ

VLAN (VLAN ID=**VLAN-ID**) の状態は変更できません。

VLAN-ID で示す VLAN の状態を変更しようとしています。

(S)

GUI での操作の場合、ユーザーからの応答を待ちます。

CLI での操作の場合、処理を中止します。

(O)

Cisco スイッチの場合、VLAN-ID:1006 ~ 4094 の状態を変更することはできません。操作している VLAN が正しいか確認してください。

KDENV10533-E

Cannot specify the SVI IP address of the VLAN (ID=**VLAN-ID**).

VLAN (VLAN ID=**VLAN-ID**) の SVI に IP アドレスは指定できません。

VLAN-ID で示す VLAN の SVI に IP アドレスは指定できません。

(S)

GUI での操作の場合、ユーザーからの応答を待ちます。

CLI での操作の場合、処理を中止します。

(O)

SVI の指定を確認してください。

KDENV10534-E

A pruning VLAN trunk port cannot be specified for the VLAN (ID = **VLAN-ID**).

VLAN (VLAN ID=**VLAN-ID**) に対してブリーニング適用トランクポートは指定できません。

VLAN-ID で示す VLAN にブリーニング適用トランクポートを指定しようとしています。

(S)

GUI での操作の場合、ユーザーからの応答を待ちます。

CLI での操作の場合、処理を中止します。

(O)

VLAN-ID:1, 1002 ~ 4094 にブリーニング適用トランクポートを指定することはできません。操作している VLAN が正しいか確認してください。

KDENV10535-E

The configuration information in the specified VLAN (ID=**VLAN-ID**) is invalid. **理由**

選択した VLAN(VLAN ID=**VLAN-ID**) の構成情報が不正です。 **理由**

無効なパラメーターを指定して、スイッチに構成情報を設定しようとしています。

(S)

GUI での操作の場合、ユーザーからの応答を待ちます。

CLI での操作の場合、処理を中止します。

(O)

正しい値を指定してください。

KDNV10536-E

The VLAN definition information in the specified Domain (Name=**VLAN 管理ドメイン名**) is invalid.

理由

選択したドメイン (ドメイン名=**VLAN 管理ドメイン名**) の VLAN 定義情報が不正です。理由
無効なパラメーターを指定して、VLAN 定義情報を設定しようとしています。

(S)

GUI での操作の場合、ユーザーからの応答を待ちます。

CLI での操作の場合、処理を中止します。

(O)

正しい値を指定してください。

KDNV10537-E

The specified port (NIF = **NIF 番号**, port = **ポート番号**) cannot be set as an untagged port of this VLAN because it is an untagged port of another port VLAN (ID = **VLAN-ID**).

指定したポート (NIF=**NIF 番号**、Port=**ポート番号**) はポート VLAN (VLAN ID=**VLAN-ID**) の Untagged ポートです。このポートは、この VLAN の Untagged ポートとして設定できません。指定したポートは、すでにほかの VLAN の Untagged ポートとして設定されているため、指定できません。

(S)

GUI での操作の場合、ユーザーからの応答を待ちます。

CLI での操作の場合、処理を中止します。

(O)

指定したポート番号が正しいか確認してください。

KDNV10538-E

The specified SAID value is not in the range of 1 to 4294967294.

SAID の値が 1 ~ 4294967294 の範囲ではありません。

SAID に指定した値が不正です。

(S)

GUI での操作の場合、ユーザーからの応答を待ちます。

CLI での操作の場合、処理を中止します。

(O)

SAID は、1 ~ 4294967294 の範囲で指定してください。

KDNV10539-E

The configuration information in the specified VLAN (ID=**VLAN-ID**) in the specified Switch (Name=**スイッチ名**) is invalid. **理由**

指定したスイッチ (スイッチ名 = **スイッチ名**) の指定した VLAN (VLAN ID=**VLAN-ID**) の構成情報が不正です。 **理由**

無効なパラメーターを指定して、スイッチに構成情報を設定しようとしています。

(S)

処理を中止します。

(O)

正しい値を指定してください。

KDNV10540-E

The specified port (NIF = **NIF 番号**, port = **ポート番号**) does not exist in the switch.

指定したポート (NIF=**NIF 番号** ポート = **ポート番号**) はスイッチに存在しません。

指定したポートはスイッチに存在しません。

(S)

処理を中止します。

(O)

指定したポート番号が正しいか確認してください。

KDNV10541-E

The specified port (interface type = **インターフェースタイプ**, stack = **スタック番号**, slot = **スロット番号**, port = **ポート番号**) does not exist in the switch.

指定したポート (インターフェースタイプ = **インターフェースタイプ**、スタック = **スタック番号**、スロット = **スロット番号**、ポート = **ポート番号**) はスイッチに存在しません。

指定したポートはスイッチに存在しません。

(S)

処理を中止します。

(O)

指定したポート番号が正しいか確認してください。

KDNV10542-E

The SVI IP address must be specified if the SVIFlag is set to enable.

SVI を使用する場合、IP アドレスを指定します。

SVI を使用する場合、IP アドレスを指定します。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

IP アドレスを指定してください。

KDNV10543-E

The VLAN cannot be deleted because there is a Cisco switch for the selected VLAN (ID = **VLAN-ID**).

選択した VLAN (VLAN ID=**VLAN-ID**) には Cisco スイッチが存在するため、削除できません。

VLAN-ID で示す VLAN には、Cisco スイッチが設定されているため、削除できません。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

削除しようとしている VLAN が正しいか確認してください。

KDNV10544-E

The VLAN Name cannot be modified for VLAN (ID=**VLAN-ID**).

VLAN (VLAN ID=**VLAN-ID**) の VLAN 名は変更できません。

VLAN-ID で示す VLAN の VLAN 名を変更しようとしています。

(S)

処理を中止します。

(O)

デフォルト VLAN の VLAN 名を変更することはできません。操作している VLAN が正しいか確認してください。

KDNV10545-E

The SAID value cannot be modified for VLAN (ID=**VLAN-ID**).

VLAN (VLAN ID=**VLAN-ID**) の SAID は変更できません。

VLAN-ID で示す VLAN の SAID を変更しようとしています。

(S)

処理を中止します。

(O)

デフォルト VLAN の SAID を変更することはできません。操作している VLAN が正しいか確認してください。

KDNV10546-E

The VLAN Status cannot be modified for VLAN (ID=**VLAN-ID**).

3. メッセージ

VLAN (VLAN ID=**VLAN-ID**) の状態は変更できません。

VLAN-ID で示す VLAN の状態を変更しようとしています。

(S)

処理を中止します。

(O)

デフォルト VLAN の状態を変更することはできません。操作している VLAN が正しいか確認してください。

KDNV10547-E

The selected VLAN (ID = **VLAN-ID**) cannot be deleted because there is a Cisco switch for which the VTP mode is set to client mode.

選択した VLAN (VLAN ID=**VLAN-ID**) には VTP モードがクライアントの Cisco スイッチが存在するため、削除できません。

選択した VLAN には、VTP モードが「クライアント」に設定されている Cisco スイッチが存在するため、削除できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

操作している VLAN が正しいか確認してください。

KDNV10548-W

Do you wish to delete the selected port? Deleting this Access port will add it to the default VLAN (VLAN ID=1).

選択したポートを削除しますか？この操作を実行すると、デフォルト VLAN(VLAN ID=1) に選択したアクセスポートを割り当てます。

VLAN からポートを削除します。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

ポートを削除する場合は、[はい] をクリックしてください。キャンセルする場合は、[いいえ] をクリックしてください。

KDNV10549-W

Do you want to delete the selected port? If you delete it, the native VLAN trunk port will be assigned to the default VLAN (VLAN ID = 1).

選択したポートを削除しますか？この操作を実行すると、デフォルト VLAN(VLAN ID = 1) に選択したネイティブ指定トランクポートを割り当てます。

VLAN からポートを削除します。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

ポートを削除する場合は,[はい]をクリックしてください。キャンセルする場合は,[いいえ]をクリックしてください。

KDNV10550-E

The specified port (interface type = **インターフェースタイプ**, slot = **スロット番号**, port number = **ポート番号**) cannot be selected as an access port in this VLAN because it is an access port in another VLAN (ID = **VLAN-ID**).

選択したポート (**インターフェースタイプ** = **インターフェースタイプ**、**スロット** = **スロット番号**、**ポート** = **ポート番号**) はほかのポート VLAN (VLAN ID = **VLAN-ID**) のアクセスポートです。このポート VLAN ではアクセスポートとして選択できません。

指定したポートは、すでにほかの VLAN のアクセスポートとして設定されているため、指定できません。

(S)

GUI での操作の場合、ユーザーからの応答を待ちます。

CLI での操作の場合、処理を中止します。

(O)

指定したポート番号が正しいか確認してください。

KDNV10551-E

The specified port (interface type = **インターフェースタイプ**, stack = **スタック番号**, slot = **スロット番号**, port number = **ポート番号**) cannot be an access port in this VLAN because it is an access port in another VLAN (ID = **VLAN-ID**).

選択したポート (**インターフェースタイプ** = **インターフェースタイプ**、**スタック** = **スタック番号**、**スロット** = **スロット番号**、**ポート** = **ポート番号**) はほかのポート VLAN (VLAN ID = **VLAN-ID**) のアクセスポートです。このポート VLAN ではアクセスポートとして選択できません。

指定したポートは、すでにほかの VLAN のアクセスポートとして設定されているため、指定できません。

(S)

GUI での操作の場合、ユーザーからの応答を待ちます。

CLI での操作の場合、処理を中止します。

(O)

指定したポート番号が正しいか確認してください。

KDENV10552-E

The specified port (interface type = **インターフェースタイプ**, slot = **スロット番号**, port number = **ポート番号**) cannot be a native VLAN trunk port in this VLAN because it is a native VLAN trunk port in another VLAN (ID = **VLAN-ID**).

選択したポート (**インターフェースタイプ** = **インターフェースタイプ**、**スロット** = **スロット番号**、**ポート** = **ポート番号**) はほかのポート VLAN (VLAN ID = **VLAN-ID**) のネイティブ指定トランクポートです。このポート VLAN ではネイティブ指定トランクポートとして選択できません。

指定したポートは、すでにほかの VLAN のネイティブ指定トランクポートとして設定されているため、指定できません。

(S)

GUI での操作の場合、ユーザーからの応答を待ちます。

CLI での操作の場合、処理を中止します。

(O)

指定したポート番号が正しいか確認してください。

KDENV10553-E

The specified port (interface type = **インターフェースタイプ**, stack = **スタック番号**, slot = **スロット番号**, port number = **ポート番号**) cannot be a native VLAN trunk port in this VLAN because it is a native VLAN trunk port in another VLAN (ID = **VLAN-ID**).

選択したポート (**インターフェースタイプ** = **インターフェースタイプ**、**スタック** = **スタック番号**、**スロット** = **スロット番号**、**ポート** = **ポート番号**) はほかのポート VLAN (VLAN ID = **VLAN-ID**) のネイティブ指定トランクポートです。このポート VLAN ではネイティブ指定トランクポートとして選択できません。

指定したポートは、すでにほかの VLAN のネイティブ指定トランクポートとして設定されているため、指定できません。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

指定したポート番号が正しいか確認してください。

KDENV10554-E

The Specified **ポート指定種別** is invalid. (Interface Type= **インターフェースタイプ**, Slot= **スロット番号**, Port= **ポート番号**)

指定したポート指定種別は不正です。(**インターフェースタイプ** = **インターフェースタイプ**、**スロット** = **スロット番号**、**ポート** = **ポート番号**)

指定した**ポート指定種別**が不正です。

(S)

処理を中止します。

(O)

正しい値を指定してください。

KDNV10555-E

Configuration information is not specified for the VLAN (ID=**VLAN-ID**).

VLAN (VLAN ID=**VLAN-ID**) の構成情報は指定していません。

VLAN-ID で示す VLAN の構成情報は指定していません。

(S)

処理を中止します。

(O)

正しい値を指定してください。

KDNV10556-E

The selected VLAN (ID = **VLAN-ID**) cannot be deleted because there is a Cisco switch (**スイッチ名**).

選択した VLAN (VLAN ID=**VLAN-ID**) には Cisco スイッチ (スイッチ名 = **スイッチ名**) が存在するため、削除できません。

VLAN-ID で示す VLAN には、Cisco スイッチが設定されているため、削除できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

削除しようとしている VLAN が正しいか確認してください。

KDNV10557-E

The specified VLAN (ID = **VLAN-ID**) cannot be deleted because there is a Cisco switch (**スイッチ名**) for which the VTP mode is set to client mode.

指定した VLAN (VLAN ID=**VLAN-ID**) には VTP モードがクライアントの Cisco スイッチ (スイッチ名 = **スイッチ名**) が存在するため、削除できません。

指定した VLAN には、VTP モードが「クライアント」に設定されている Cisco スイッチが存在するため、削除できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

削除しようとしている VLAN が正しいか確認してください。

KDNV10558-E

The specified port (NIF = **NIF 番号**, port = **ポート番号**) does not exist in the VLAN (ID = **VLAN-ID**).
指定したポート (NIF=**NIF 番号**、ポート = **ポート番号**) は VLAN (VLAN ID=**VLAN-ID**) に存在しません。

指定したポートは **VLAN-ID** で示す VLAN に設定されていません。

(S)

処理を中止します。

(O)

指定したポート番号が正しいか確認してください。

KDNV10559-E

The specified port (interface type = **インターフェースタイプ**, stack = **スタック番号**, slot = **スロット番号**, port = **ポート番号**) does not exist in the VLAN (ID = **VLAN-ID**).

指定したポート (インターフェースタイプ = **インターフェースタイプ**、スタック = **スタック番号**、スロット = **スロット番号**、ポート = **ポート番号**) は VLAN (VLAN ID=**VLAN-ID**) に存在しません。

指定したポートは **VLAN-ID** で示す VLAN に設定されていません。

(S)

処理を中止します。

(O)

指定したポート番号が正しいか確認してください。

KDNV10560-E

Cannot add a Switch to the default VLAN (ID=**VLAN-ID**).

デフォルト VLAN (VLAN ID=**VLAN-ID**) にスイッチは追加できません。

デフォルト VLAN にスイッチを追加しようとしています。

(S)

処理を中止します。

(O)

デフォルト VLAN にはすでにスイッチが設定されているため、追加することはできません。操作している VLAN が正しいか確認してください。

KDNV10561-E

Cannot delete a Switch from the default VLAN (ID=**VLAN-ID**).

デフォルト VLAN (VLAN ID=**VLAN-ID**) からスイッチは削除できません。

デフォルト VLAN からスイッチを削除しようとしています。

(S)

処理を中止します。

(O)

デフォルト VLAN からスイッチを削除することはできません。操作している VLAN が正しいか確認してください。

KDNV10562-E

The VLAN Description cannot be modified for VLAN (ID=**VLAN-ID**).

VLAN (VLAN ID=**VLAN-ID**) の説明は変更できません。

VLAN-ID で示す VLAN の説明を変更しようとしています。

(S)

処理を中止します。

(O)

該当 VLAN の説明を変更することはできません。操作している VLAN が正しいか確認してください。

KDNV10563-E

The specified port (interface type = **インターフェースタイプ**, slot = **スロット番号**, port = **ポート番号**) does not exist in the VLAN (ID = **VLAN-ID**).

指定したポート (**インターフェースタイプ** = **インターフェースタイプ**、**スロット** = **スロット番号**、**ポート** = **ポート番号**) は VLAN (VLAN ID=**VLAN-ID**) に存在しません。

指定したポートは **VLAN-ID** で示す VLAN に設定されていません。

(S)

処理を中止します。

(O)

指定したポート番号が正しいか確認してください。

KDNV10564-E

The specified port (interface type = **インターフェースタイプ**, slot = **スロット番号**, port = **ポート番号**) does not exist in the switch.

指定したポート (**インターフェースタイプ** = **インターフェースタイプ**、**スロット** = **スロット番号**、**ポート** = **ポート番号**) はスイッチに存在しません。

指定したポートはスイッチに存在しません。

(S)

処理を中止します。

(O)

指定したポート番号が正しいか確認してください。

KDNV10565-E

Cannot add a Cisco Switch to the VLAN (ID=**VLAN-ID**).

VLAN (VLAN ID=**VLAN-ID**) に Cisco スイッチは追加できません。

VLAN-ID で示す VLAN に Cisco スイッチを追加しようとしています。

(S)

処理を中止します。

(O)

該当 VLAN に Cisco スイッチを追加することはできません。操作している VLAN が正しいか確認してください。

KDNV10566-E

The switch (**スイッチ名**) cannot be added to the VLAN (ID = **VLAN-ID**) because 1,005 VLANs have already been set for that switch.

VLAN (VLAN ID=**VLAN-ID**) にスイッチ (**スイッチ名** = **スイッチ名**) を追加できません。すでに VLAN は 1005 個設定されています。

スイッチ名 で示すスイッチには、すでに 1,005 個の VLAN が設定されているため、VLAN を追加できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

操作しているスイッチが正しいか確認してください。

KDNV10567-E

The specified port (NIF = **NIF 番号** , port = **ポート番号**) has already been set as a " **ポート種別** " port in the VLAN.

指定したポート (NIF=**NIF 番号**、ポート = **ポート番号**) はすでに **ポート種別** ポートとして VLAN に設定されています。

指定したポートはすでに **ポート種別** で示す種別で VLAN に設定されています。

(S)

処理を中止します。

(O)

操作している VLAN が正しいか確認してください。

KDNV10568-E

The VLAN ID is not in the range of 1 to 4095.

VLAN ID が 1 ~ 4095 の範囲ではありません。

指定した VLAN-ID の値が不正です。

(S)

処理を中止します。

(O)

VLAN-ID は、1 ~ 4095 の範囲で指定してください。

KDNV10570-E

Selected port : NIF=**NIF 番号** , Port= **ポート番号** is an **ポート指定種別** port in VLAN (ID=**VLAN-ID**).
It cannot be an **ポート指定種別** port in this VLAN.

選択したポート : NIF=**NIF 番号** , Port= **ポート番号** はほかのポート VLAN (ID=**VLAN-ID**) の **ポート指定種別** です。このポート VLAN で **ポート指定種別** として選択することはできません。
指定したポートは、すでにほかの VLAN の **ポート指定種別** ポートとして設定されているため、指定できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

指定したポート番号が正しいか確認してください

KDNV10571-E

The Prefix length for IPv6 address is not in the range of **範囲** .

IPv6 アドレスのプレフィックス長が **範囲** の範囲ではありません。
IPv6 アドレスのプレフィックス長が不正です。

(S)

処理を中止します。

(O)

IPv6 アドレスのプレフィックス長が正しいか確認してください。

KDNV10572-E

Specified TPID is illegal.

指定した TPID が不正です。
指定した TPID が 16 進数 4 けたではありません。

(S)

処理を中止します。

(O)

TPID は 16 進数 4 けたで指定してください。

KDNV10573-E

The specified 値 already exist in another 設定情報種別 .

指定した値はすでにほかの設定情報種別で使用されています。

指定した値は、ほかの設定情報種別に設定されているため、指定できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

設定対象が正しいか確認してください。

KDNV10574-E

The specified 情報種別 1 already exist in the 情報種別 2.

指定した情報種別 1 はすでに情報種別 2 に存在します。

指定した情報種別 1 は、すでに情報種別 2 に存在します。

(S)

処理を中止します。

(O)

指定した情報種別 1 の内容を見直してください。

KDNV10575-E

The specified Switch (Name= スイッチ名) is not managed Switch.

指定したスイッチ (スイッチ名 = スイッチ名) は管理対象ではありません。

構成パラメーター定義ファイルに記述したスイッチ名は、管理対象ではありません。

(S)

処理を中止します。

(O)

構成パラメーター定義ファイルの内容を見直してください。

KDNV10578-E

The specified VLAN domain (Name=VLAN 管理ドメイン名) is not found.

指定した VLAN 管理ドメイン (ドメイン名 =VLAN 管理ドメイン名) は存在しません。

構成パラメーター定義ファイルに記述した VLAN 管理ドメイン名は存在しません。

(S)

処理を中止します。

(O)

構成パラメーター定義ファイルの内容を見直してください。

KDNV10579-E

An attempt to add the **情報種別** has failed. **情報種別** already exists.

情報種別の追加に失敗しました。**情報種別**はすでに存在します。

情報種別がすでに設定済みであるため、**情報種別**の追加に失敗しました。

(S)

処理を中止します。

(O)

指定した**情報種別**の内容を見直してください。

KDNV10580-E

VLAN management domain is not found.

VLAN 管理ドメインが見つかりません。

管理対象スイッチが所属する VLAN 管理ドメインが見つかりません。JP1/Cm2/NC - Adaptor のスイッチ定義ファイル(ncaswitch.conf)に定義した VLAN 管理ドメインを変更したとき、このメッセージが表示されます。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

管理対象スイッチが所属する VLAN 管理ドメインを変更する場合、以下の手順で変更してください。

1. マネージャーおよびアダプターを停止します。
2. ncaswitch.conf に定義した該当スイッチの VLAN 管理ドメインを変更します。
3. nca.conf に定義したアダプター名を別の名称に変更します。ただし、この変更はドメイン名を変更するための一時的な変更になります。アダプター名称は、ほかのアダプターで使用していない仮の名称にしてください。
4. ncmadpt.conf に定義したアダプター名を、手順 3. で指定した名称に変更します。
5. マネージャーおよびアダプターを起動します。
6. ビューを起動し、不要になった VLAN 管理ドメインが残っている場合、該当するドメイン配下のデフォルト VLAN を除くすべての VLAN 定義を削除してください。
7. マネージャーおよびアダプターを停止します。
8. nca.conf および ncmadpt.conf のアダプター名称を元に戻します。
9. マネージャーおよびアダプターを起動します。

なお、上記は「スイッチが所属する VLAN 管理ドメイン」を変更する手順であり、「VLAN 管理ドメイン名称」を変更する手順ではありません。「VLAN 管理ドメイン名称」は、一度定義すると変更できません。また、スイッチが所属する VLAN 管理ドメインを変更しても、以前の VLAN 管理ドメインで定義していた VLAN 定義情報 (VLAN 名称など) は引き継がれません。

3. メッセージ

KDENV10582-W

If you delete a VLAN from BS320, BS2000, BS500 1Gbx40, BS500, AX3600S, or AX2400S, set the VLAN configuration information, and then synchronize the configuration information for the pertinent switches.

BS320/BS2000/BS500 1Gbx40/BS500/AX3600S/AX2400S から VLAN を削除する場合、設定が完了後、該当スイッチに対して構成情報の同期を必ず実行してください。

VLAN を削除する場合は、設定が完了したあとに該当スイッチに対して構成情報の同期を実行する必要があります。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

設定が正常に完了したあと、該当スイッチを選択して構成情報の同期を実行してください。

KDENV10600-I

Do you wish to delete the port profile(s)?

ポートプロファイルを削除してよろしいですか？

ポートプロファイルを削除します。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

ポートプロファイルを削除する場合は、[はい] をクリックしてください。キャンセルする場合は、[いいえ] をクリックしてください。

KDENV10601-E

The specified port number already exists in the switch.

指定したポート番号はすでにスイッチに設定されています。

指定されたポート番号がポートプロファイルリストの中にすでに存在しています。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

スイッチ内に設定されていないポート番号を指定してください。

KDENV10602-E

The specified port number is not in the range of 1 to 65535.

指定したポート番号が 1 ~ 65535 の範囲ではありません。

ポート番号が 1 ~ 65535 の範囲ではありません。

(S)
ユーザーからの応答を待ちます。

(O)
1 ~ 65535 の範囲でポート番号を指定してください。

KDNV10603-I

Do you wish to delete the Virtual Server(s) from the switch?

スイッチから論理サーバを削除してよろしいですか？
スイッチから論理サーバを削除します。

(S)
ユーザーからの応答を待ちます。

(O)
論理サーバを削除する場合は、[はい] をクリックしてください。キャンセルする場合は、[いいえ] をクリックしてください。

KDNV10604-I

Do you wish to start the setting of Virtual Server Configuration Information?

論理サーバ構成情報の設定を開始してよろしいですか？
論理サーバ構成情報の設定を開始します。

(S)
ユーザーからの応答を待ちます。

(O)
論理サーバ構成情報の設定処理を開始する場合は、[はい] をクリックしてください。キャンセルする場合は、[いいえ] をクリックしてください。

KDNV10605-E

The selected Virtual Server : Name = **論理サーバ名** is bound to a Real Server. It cannot be deleted.

選択した論理サーバ : 名称 = **論理サーバ名** は物理サーバにバインドされています。削除できません。

選択された論理サーバはすでに物理サーバにバインドされています。選択された論理サーバを削除することはできません。

(S)
ユーザーからの応答を待ちます。

(O)
削除を実行する前に、選択した論理サーバからすべてのポートをアンバインドしてください。

KDNV10608-I

Do you wish to delete the Virtual Server port(s)?

論理サーバポートを削除してよろしいですか？

論理サーバポートを削除します。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

論理サーバポートを削除する場合は、[はい] をクリックしてください。キャンセルする場合は、[いいえ] をクリックしてください。

KDNV10609-E

The specified Virtual Server name already exists in the switch.

指定した論理サーバ名はすでにスイッチに設定されています。

指定された論理サーバ名は、同じスイッチ内にすでに設定されています。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

同じスイッチに設定されていない論理サーバ名を指定してください。

KDNV10610-E

The specified Virtual Server IP address already exists in the switch.

指定した論理サーバ IP アドレスはすでにスイッチに設定されています。

指定された論理サーバ IP アドレスは、スイッチ内にすでに設定されています。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

同じスイッチに設定されていない論理サーバ IP アドレスを指定してください。

KDNV10611-E

The specified Virtual Server IP address is not in the format [nnn.nnn.nnn.nnn].

指定した論理サーバ IP アドレスが [nnn.nnn.nnn.nnn] の形式ではありません。

指定した論理サーバ IP アドレスの形式が不正です。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

論理サーバ IP アドレスを [nnn.nnn.nnn.nnn] 形式で入力してください。

nnn には、0 ~ 255 の値を指定してください。

KDNV10612-E

The selected Virtual Server port: Number = **論理サーバポート番号** is bound to a Real Server. It cannot be deleted.

選択した論理サーバポート：番号 = **論理サーバポート番号**は物理サーバにバインドされています。削除できません。

選択した論理サーバポート番号は、すでに物理サーバにバインドされているため削除できません。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

論理サーバポートをアンバインドしてから、削除を実行してください。

KDNV10613-E

The specified port number already exists in the same Virtual Server.

指定したポート番号はすでに同じ論理サーバに設定されています。

指定したポート番号は、すでに同じ論理サーバに設定されています。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

論理サーバに設定されていないポート番号を指定してください。

KDNV10614-E

The port number is registered to the system. Please select the port number from the pull-down menu.

このポート番号はシステムに登録されています。プルダウンメニューからポート番号を選択してください。

指定されたポート番号は、予約ポートです。

プルダウンメニューからポート番号を選択してください。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

ポート番号のプルダウンメニューからポート番号を選択してください。

KDNV10615-I

Do you wish to delete the Real Server(s) from the switch?

3. メッセージ

スイッチから物理サーバを削除してよろしいですか？

スイッチから物理サーバを削除します。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

物理サーバを削除する場合は、[はい] をクリックしてください。キャンセルする場合は、[いいえ] をクリックしてください。

KDENV10616-I

Do you wish to start the setting of Real Server Configuration Information?

物理サーバ構成情報の設定を開始してよろしいですか？

物理サーバ構成情報の設定を開始します。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

物理サーバ構成情報の設定処理を開始する場合、[はい] をクリックしてください。キャンセルする場合は、[いいえ] をクリックしてください。

KDENV10617-E

The selected Real Server : Name = **物理サーバ名** is already bound to a Virtual Server. It cannot be deleted.

選択した物理サーバ：名称 = **物理サーバ名**はすでに論理サーバにバインドされています。削除できません。

選択した物理サーバは、すでに論理サーバにバインドされているため、削除できません。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

削除を実行する前に、選択した物理サーバからすべてのポートをアンバインドしてください。

KDENV10620-I

Do you wish to delete the Real Server port(s)?

物理サーバポートを削除してよろしいですか？

物理サーバポートを削除します。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

物理サーバポートを削除する場合、[はい] をクリックしてください。キャンセルす

る場合は、[いいえ]をクリックしてください。

KDNV10621-E

The specified Real Server name already exists in the switch.

指定した物理サーバ名はすでにスイッチに設定されています。

指定した物理サーバ名は、すでに同じスイッチに設定されています。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

スイッチに設定されていない物理サーバ名を指定してください。

KDNV10622-E

The specified Real Server IP address already exists in the switch.

指定した物理サーバ IP アドレスはすでにスイッチに設定されています。

指定した物理サーバ IP アドレスは、すでにスイッチに設定されています。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

スイッチに設定されていない物理サーバ IP アドレスを指定してください。

KDNV10623-E

The specified Real Server IP address is not in the format [nnn.nnn.nnn.nnn].

指定した物理サーバ IP アドレスが [nnn.nnn.nnn.nnn] の形式ではありません。

指定した物理サーバ IP アドレスの形式が不正です。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

物理サーバ IP アドレスを [nnn.nnn.nnn.nnn] 形式で入力してください。

nnn には、0 ~ 255 の値を指定してください。

KDNV10624-E

The specified Weight for Least connections is not in the range of 0 to 65000.

最少接続に指定したウェイトが 0 ~ 65000 の範囲ではありません。

最少接続に指定したウェイトが 0 ~ 65000 の範囲ではありません。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

3. メッセージ

(O)

0 ~ 65000 の範囲でウェイトを指定してください。

KDENV10625-E

The specified Weight for Response time is not in the range of 0 to 65000.

応答時間に指定したウェイトが 0 ~ 65000 の範囲ではありません。

応答時間に指定したウェイトが 0 ~ 65000 の範囲ではありません。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

0 ~ 65000 の範囲で応答時間のウェイトを指定してください。

KDENV10626-E

The selected real server port (**論理サーバポート番号**) cannot be deleted because it is already bound to a virtual server.

選択した物理サーバポート : 番号 = **論理サーバポート番号** はすでに論理サーバにバインドされています。削除できません。

選択した物理サーバポート番号はすでに論理サーバにバインドされているため、削除できません。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

物理サーバポートをアンバインドしてから、削除を実行してください。

KDENV10627-E

The specified port number already exists in the same Real Server.

指定したポート番号はすでに同じ物理サーバに設定されています。

指定したポート番号はすでに同じ物理サーバに設定されています。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

物理サーバに設定されていないポート番号を指定してください。

KDENV10628-I

Do you wish to start the setting of Bind Configuration Information?

バインド構成情報の設定を開始してよろしいですか？

バインド構成情報の設定を開始します。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

バインド構成情報の設定処理を開始する場合、[はい] をクリックしてください。
キャンセルする場合は、[いいえ] をクリックしてください。

KDNV10634-I

Do you wish to delete the bind configuration from the switch?

スイッチからバインド構成情報を削除してよろしいですか？

スイッチからバインド構成情報を削除します。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

バインド構成情報を削除する場合、[はい] をクリックしてください。キャンセルする場合は、[いいえ] をクリックしてください。

KDNV10635-E

No more Virtual server ports or Real server ports are available in switch to perform bind configuration.

スイッチ上にバインドできる論理サーバポートや物理サーバポートは存在しません。

バインドを設定できる論理サーバポートや物理サーバポートが設定されていません。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

論理サーバポートや物理サーバポートを設定してください。

KDNV10636-W

Default port number 65535 cannot be deleted.

デフォルトポート番号 65535 を削除できません。

ポート番号 65535 はデフォルトポート番号のため、削除できません。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

デフォルトポート番号 65535 は削除しないでください。

KDNV10637-E

Cannot perform Bind Configuration Information Setup. Reason: **理由**

3. メッセージ

バインド構成情報の設定はできません。理由：**理由**

理由に示す理由にのため、バインド構成情報の設定はできません。

(S)

処理を中止します。

(O)

失敗要因を取り除き、再度操作をやり直してください。

KDNV10638-E

The specified Real Server port (Number= **ポート番号**) is bound to a Virtual Server. It cannot be deleted.

選択した物理サーバポート (ポート番号 = **ポート番号**) は論理サーバにバインドされているため、削除できません。

論理サーバにバインドされている物理サーバポートは削除できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

削除しようとしている物理サーバポートのバインド設定を削除してから、操作をやり直してください。

KDNV10639-E

The specified Real Server (Name= **物理サーバ名**) is bound to a Virtual Server. It cannot be deleted.

選択した物理サーバ (物理サーバ名 = **物理サーバ名**) は論理サーバにバインドされているため、削除できません。

論理サーバにバインドされている物理サーバは削除できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

削除しようとしている物理サーバのバインド設定を削除してから、操作をやり直してください。

KDNV10640-E

The specified Virtual Server port (Number= **ポート番号**) is bound to a Real Server. It cannot be deleted.

選択した論理サーバポート (ポート番号 = **ポート番号**) は物理サーバにバインドされているため、削除できません。

バインド済みの論理サーバポートは削除できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

削除しようとしている論理サーバポートのバインド設定を削除してから、操作をやり直してください。

KDNV10641-E

The specified Virtual Server (Name= **論理サーバ名**) is bound to a Real Server. It cannot be deleted.

選択した論理サーバ (論理サーバ名 = **論理サーバ名**) は物理サーバにバインドされているため、削除できません。

バインド済みの論理サーバは削除できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

削除しようとしている論理サーバのバインド設定を削除してから、操作をやり直してください。

KDNV10642-E

The specified Pool (Name= **プール名**) is bound to a Virtual Server port. It cannot be deleted.

選択したプール (プール名 = **プール名**) は論理サーバにバインドされているため、削除できません。

論理サーバにバインドされているプールは削除できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

削除しようとしているプールのバインド設定を削除してから、操作をやり直してください。

KDNV10643-E

The configuration information in the specified Virtual Server (Name= **論理サーバ名**) is invalid. **理由**

選択した論理サーバ (論理サーバ名 = **論理サーバ名**) の構成情報が不正です。 **理由**

無効なパラメーターを指定して、スイッチに構成情報を設定しようとしています。

(S)

処理を中止します。

(O)

正しい値を指定してください。

3. メッセージ

KDNV10644-E

The configuration information in the specified Real Server (Name= **物理サーバ名**) is invalid. **理由**

選択した物理サーバ(物理サーバ名 = **物理サーバ名**)の構成情報が不正です。 **理由**
無効なパラメーターを指定して、スイッチに構成情報を設定しようとしています。

(S)

処理を中止します。

(O)

正しい値を指定してください。

KDNV10645-E

The configuration information in the specified Pool (Name= **プール名**) is invalid. **理由**

選択したプール(プール名 = **プール名**)の構成情報が不正です。 **理由**
無効なパラメーターを指定して、スイッチに構成情報を設定しようとしています。

(S)

処理を中止します。

(O)

正しい値を指定してください。

KDNV10646-E

The specified **名称** must begin with an alphabetic character.

名称はアルファベットで始めてください。

名称で示す名称の指定が不正です。

(S)

GUIでの操作の場合、ユーザーからの応答を待ちます。

CLIでの操作の場合、処理を中止します。

(O)

名称の先頭には、アルファベットを指定してください。

KDNV10647-E

The specified port number is not in the range of 0 to 65535.

指定したポート番号が0 ~ 65535の範囲ではありません。

ポート番号に指定した値が不正です。

(S)

GUIでの操作の場合、ユーザーからの応答を待ちます。

CLIでの操作の場合、処理を中止します。

(O)

ポート番号は、0 ~ 65535 の範囲で指定してください。

KDNV10648-E

The specified Real Server Port (Number = **ポート番号**) is already bound.

指定した物理サーバポート (ポート番号 = **ポート番号**) はすでにバインドされています。
物理サーバポートはバインド済みです。

(S)

処理を中止します。

(O)

操作している物理サーバポートが正しいか確認してください。

KDNV10649-E

Cannot add more than **上限値** real server ports.

すでに物理サーバポートは**上限値**個設定されているため、追加できません。

設定できる物理サーバポート数の上限値を超えて、物理サーバポートを追加しようとしています。

(S)

GUI での操作の場合、ユーザーからの応答を待ちます。

CLI での操作の場合、処理を中止します。

(O)

設定できる物理サーバポート数は、上限値があります。操作している物理サーバが正しいか確認してください。

KDNV10650-E

Cannot add more than **上限値** virtual server ports.

すでに論理サーバポートは**上限値**個設定されているため、追加できません。

設定できる論理サーバポート数の上限値を超えて、論理サーバポートを追加しようとしています。

(S)

GUI での操作の場合、ユーザーからの応答を待ちます。

CLI での操作の場合、処理を中止します。

(O)

設定できる論理サーバポート数は、上限値があります。操作している論理サーバが正しいか確認してください。

KDNV10651-E

The specified Virtual Server port (Number= **ポート番号**) is bound to a Real Server. It cannot be modified.

指定した論理サーバポート (ポート番号 = **ポート番号**) は物理サーバにバインドされているため、変更できません。

バインド済みの論理サーバポートは変更できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

変更しようとしている論理サーバポートのバインド設定を削除してから、操作をやり直してください。

KDNV10652-E

The specified Real Server (Name= **物理サーバ名**) is bound to a Virtual Server. It cannot be deleted.

指定した物理サーバ (物理サーバ名 = **物理サーバ名**) は論理サーバにバインドされているため、削除できません。

論理サーバにバインドされている物理サーバは削除できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

削除しようとしている物理サーバのバインド設定を削除してから、操作をやり直してください。

KDNV10653-E

The specified Real Server IP address already exists in the pool.

指定した物理サーバ IP アドレスはすでにプールに設定されています。

指定した物理サーバはすでにプールに存在します。

(S)

GUI での操作の場合、ユーザーからの応答を待ちます。

CLI での操作の場合、処理を中止します。

(O)

操作しているプールが正しいか確認してください。

KDNV10654-I

When all the Virtual Server ports are deleted, the Virtual Server is deleted. Do you wish to delete the Virtual Server?

すべての論理サーバポートを削除すると、論理サーバも削除されます。論理サーバポートを削除してもよろしいですか？

論理サーバポートを削除します。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

論理サーバポートを削除する場合は、[はい] をクリックしてください。キャンセルする場合は、[いいえ] をクリックしてください。

KDNV10655-E

The virtual server cannot be added. A virtual server cannot be added and deleted in the same operation with same virtual server name or IP address.

論理サーバを追加できません。同じ名称または IP アドレスの論理サーバの追加と削除を同時に行うことはできません。

1 回の操作で同じ名称または IP アドレスの論理サーバの追加と削除を同時に行うことはできません。

(S)

GUI での操作の場合、ユーザーからの応答を待ちます。

CLI での操作の場合、処理を中止します。

(O)

いったんスイッチから論理サーバを削除したあと、論理サーバを追加してください。

KDNV10656-E

The real server cannot be added. A real server cannot be added and deleted in the same operation with same real server name or IP address.

物理サーバを追加できません。同じ名称または IP アドレスの物理サーバの追加と削除を同時に行うことはできません。

1 回の操作で同じ名称または IP アドレスの物理サーバの追加と削除を同時に行うことはできません。

(S)

GUI での操作の場合、ユーザーからの応答を待ちます。

CLI での操作の場合、処理を中止します。

(O)

いったんスイッチから物理サーバを削除したあと、物理サーバを追加してください。

KDNV10657-E

The pool cannot be added. A pool cannot be added and deleted in the same operation with same pool name.

3. メッセージ

プールを追加できません。同じ名称のプールの追加と削除を同時に行うことはできません。

1 回の操作で同じ名称のプールの追加と削除を同時に行うことはできません。

(S)

GUI での操作の場合、ユーザーからの応答を待ちます。

CLI での操作の場合、処理を中止します。

(O)

いったんスイッチからプールを削除したあと、プールを追加してください。

KDNV10658-E

The bind information cannot be added. Bind information for a virtual server port cannot be added and deleted in the same operation.

バインド情報を追加できません。同じ論理サーバポートに対するバインド情報の追加と削除を同時に行うことはできません。

1 回の操作で同じ論理サーバポートに対するバインド情報の追加と削除を同時に行うことはできません。

(S)

GUI での操作の場合、ユーザーからの応答を待ちます。

CLI での操作の場合、処理を中止します。

(O)

いったんスイッチからバインド情報を削除したあと、バインド情報を追加してください。

KDNV10659-I

Do you wish to delete the Pool(s) from the switch?

スイッチからプールを削除してよろしいですか？

プールを削除します。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

プールを削除する場合は、[はい] をクリックしてください。キャンセルする場合は、[いいえ] をクリックしてください。

KDNV10660-E

The specified pool (**プール名**) cannot be deleted because it is already bound to a virtual server.

指定したプール (**プール名** = **プール名**) は論理サーバにバインドされているため、削除できません。

論理サーバにバインドされているプールは削除できません。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

削除しようとしているプールのバインド設定を削除してから、操作をやり直してください。

KDENV10661-I

Do you wish to delete the Real Server(s) from the Pool?

プールから物理サーバを削除してよろしいですか？

物理サーバを削除します。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

物理サーバを削除する場合は、[はい] をクリックしてください。キャンセルする場合は、[いいえ] をクリックしてください。

KDENV10662-E

Cannot specify port mode as **モード種別** for Catalyst 3550 switch (Name= **スイッチ名**).

モード種別をポートモードとして Cisco スイッチ (スイッチ名 = **スイッチ名**) に指定できません。

モード種別で示すポートモードは、スイッチに設定できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

操作しているスイッチが正しいか確認してください。

KDENV10663-E

Cannot specify port mode as **モード種別** for Catalyst 3750 switch (Name= **スイッチ名**).

モード種別をポートモードとして Cisco スイッチ (スイッチ名 = **スイッチ名**) に指定できません。

モード種別で示すポートモードは、スイッチに設定できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

操作しているスイッチが正しいか確認してください。

KDNV10664-E

The selected port (NIF = **NIF 番号** , port = **ポート番号**) cannot be set as an untagged port in this port VLAN because it is already set as a tagged port.

選択したポート (NIF=**NIF 番号**、ポート = **ポート番号**) はすでにこのポート VLAN の Tagged ポートとして設定されているため、Untagged ポートとして設定できません。

指定したポートは、すでにこの VLAN の Tagged ポートとして設定されているため、Untagged ポートとして指定できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

指定したポート番号が正しいか確認してください。

KDNV10665-E

The selected port (NIF = **NIF 番号** port = **ポート番号**) cannot be set as a tagged port in this port VLAN because it is already set as an untagged port.

選択したポート (NIF=**NIF 番号**、ポート = **ポート番号**) はすでにこのポート VLAN の Untagged ポートとして設定されているため、Tagged ポートとして設定できません。

指定したポートは、すでにこの VLAN の Untagged ポートとして設定されているため、Tagged ポートとして指定できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

指定したポート番号が正しいか確認してください。

KDNV10666-I

The network information has been updated on Manager. CLI needs to be refreshed before doing any configuration.

マネージャーでネットワーク構成情報が更新されています。構成情報の設定をする前に最新の情報に更新する必要があります。

ネットワーク構成情報が更新されています。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

JP1/Cm2/NC - Manager から最新のネットワーク構成情報を取得し直してください。

KDNV10667-E

The specified Virtual Server port (Number= **ポート番号**) is not bound to any Real Server. It cannot be deleted.

指定した論理サーバポート (**ポート番号** = **ポート番号**) は物理サーバにバインドされていないため、削除できません。

論理サーバポートはバインドされていません。

(S)

処理を中止します。

(O)

操作している論理サーバポートが正しいか確認してください。

KDNV10668-E

The virtual server (**論理サーバ名**) cannot be added because no virtual server ports are specified.

論理サーバポートが指定されていないため、論理サーバ (**論理サーバ名** = **論理サーバ名**) を追加できません。

論理サーバポートが一つも定義されていない論理サーバを追加しようとしています。

(S)

処理を中止します。

(O)

論理サーバを追加する場合、必ず一つ以上の論理サーバポートを指定してください。

KDNV10669-E

The switch (**スイッチ名**) cannot be added to the VLAN (ID = **VLAN-ID**) because it has already been set.

スイッチ (**スイッチ名** = **スイッチ名**) はすでに VLAN (VLAN ID=**VLAN-ID**) に設定されているため、追加できません。

すでに **VLAN-ID** で示す VLAN にスイッチが設定されています。

(S)

処理を中止します。

(O)

操作している VLAN が正しいか確認してください。

KDNV10670-E

The switch (**スイッチ名**) cannot be modified because it has not been set for the VLAN (ID = **VLAN-ID**).

スイッチ (**スイッチ名** = **スイッチ名**) は VLAN (VLAN ID=**VLAN-ID**) に設定されていないため、変更できません。

3. メッセージ

VLAN-ID で示す VLAN にスイッチが設定されていないため、スイッチの設定を変更できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

操作している VLAN が正しいか確認してください。

KDNV10671-E

The switch (**スイッチ名**) cannot be deleted from the VLAN (ID = **VLAN-ID**) because it has not been set.

スイッチ (**スイッチ名** = **スイッチ名**) は VLAN(VLAN ID=**VLAN-ID**) に設定されていないため、削除できません。

VLAN-ID で示す VLAN にスイッチが設定されていないため、スイッチの設定を削除できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

操作している VLAN が正しいか確認してください。

KDNV10672-E

The specified Virtual Server port (Number= **ポート番号**) is not bound to any Real Server. It cannot be modified.

指定した論理サーバポート (**ポート番号** = **ポート番号**) は物理サーバにバインドされていないため、変更できません。

論理サーバポートはバインドされていません。

(S)

処理を中止します。

(O)

操作している論理サーバポートが正しいか確認してください。

KDNV10673-E

The work for the specified command (Name= **コマンド名**) does not exist in the XML file.

指定したコマンド (**コマンド名** = **コマンド名**) のワークは構成パラメーター定義ファイルに存在しません。

nevclemd コマンドで指定した実行コマンド名が、構成パラメーター定義ファイルに存在しません。

(S)

処理を中止します。

(O)

構成パラメーター定義ファイルを見直してください。

KDNV10674-E

In the switch, there are no virtual server ports or pools to bind.

スイッチ上にバインドできる論理サーバポートやプールは存在しません。

スイッチ上にバインドできる論理サーバポートやプールは存在しません。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

現在の設定内容を確認してください。

KDNV10675-E

A real server must have at least one port.

物理サーバポートは必ず一つ以上設定してください。

物理サーバからすべての物理サーバポートを削除しようとしています。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

物理サーバポートは必ず一つ以上設定してください。

KDNV10676-E

The selected virtual server (**論理サーバ名**) cannot be deleted because it is bound to a pool.

指定した論理サーバ (**論理サーバ名** = **論理サーバ名**) はプールにバインドされているため、削除できません。

バインド済みの論理サーバは削除できません。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

削除しようとしている論理サーバのバインド設定を削除してから、操作をやり直してください。

KDNV10677-E

The selected virtual server port (**ポート番号**) cannot be deleted because it is bound to a pool.

指定した論理サーバポート (**ポート番号** = **ポート番号**) はプールにバインドされているため、削除できません。

3. メッセージ

バインド済みの論理サーバポートは削除できません。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

削除しようとしている論理サーバポートのバインド設定を削除してから、操作をやり直してください。

KDENV10678-E

The specified Virtual Server (Name= **論理サーバ名**) is not bound to any Pool. It cannot be modified.

指定した論理サーバ (論理サーバ名 = **論理サーバ名**) はプールにバインドされていないため、変更できません。

バインドされていない論理サーバのバインド設定を変更しようとしています。

(S)

処理を中止します。

(O)

操作している論理サーバが正しいか確認してください。

KDENV10679-E

The specified Virtual Server port (Number= **ポート番号**) is bound to a Pool. It cannot be added.

指定した論理サーバポート (ポート番号 = **ポート番号**) はプールにバインドされているため、追加できません。

バインド済みの論理サーバポートを追加しようとしています。

(S)

処理を中止します。

(O)

操作している論理サーバポートが正しいか確認してください。

KDENV10680-E

The specified Virtual Server (Name= **論理サーバ名**) is not bound to any Pool. It cannot be deleted.

指定した論理サーバ (論理サーバ名 = **論理サーバ名**) はプールにバインドされていないため、削除できません。

バインドされていない論理サーバのバインド設定を削除しようとしています。

(S)

処理を中止します。

(O)

操作している論理サーバが正しいか確認してください。

KDNV10681-E

The specified Virtual Server port (Number= **ポート番号**) is not bound to any Pool. It cannot be deleted.

指定した論理サーバポート (ポート番号 = **ポート番号**) はプールにバインドされていないため、削除できません。

バインドされていない論理サーバポートのバインド設定を削除しようとしています。

(S)

処理を中止します。

(O)

操作している論理サーバポートが正しいか確認してください。

KDNV10682-E

The specified Virtual Server port (Number= **ポート番号**) is not bound to any Pool. It cannot be modified.

指定した論理サーバポート (ポート番号 = **ポート番号**) はプールにバインドされていないため、変更できません。

バインドされていない論理サーバポートのバインド設定を変更しようとしています。

(S)

処理を中止します。

(O)

操作している論理サーバポートが正しいか確認してください。

KDNV10683-E

The specified Virtual Server port (Name= **ポート名**) is bound to a Pool. It cannot be modified.

指定した論理サーバポート (ポート名 = **ポート名**) はプールにバインドされているため、変更できません。

ポート名で示す論理サーバポートはプールにバインドされているため、設定を変更できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

操作している論理サーバポートが正しいか確認してください。

KDNV10684-E

The specified Virtual Server port (Name= **ポート名**) is bound to a Pool. It cannot be deleted.

指定した論理サーバポート (ポート名 = **ポート名**) はプールにバインドされているため、削除できません。

3. メッセージ

バインド済みの論理サーバポートを削除しようとしています。

(S)

処理を中止します。

(O)

操作している論理サーバポートが正しいか確認してください。

KDENV10685-E

No more Groups can be added to Hierarchy level three Group.

グループはすでに3階層までバインドされているため、追加できません。

3階層を超えてグループをバインドしようとしています。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

グループのバインドは、3階層までにしてください。

KDENV10686-E

There are no Real Servers defined in the selected Company to bind.

選択された会社でバインドできる物理サーバは存在しません。

選択された会社内にはバインドできる物理サーバがありません。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

現在の設定内容を確認してください。

KDENV10687-E

There are no Groups defined in the selected Company to bind.

選択された会社でバインドできるグループは存在しません。

選択された会社内にはバインドできるグループがありません。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

現在の設定内容を確認してください。

KDENV10688-E

There are no Zones defined in the selected Company to bind.

選択された会社でバインドできるゾーンは存在しません。

選択された会社内にはバインドできるゾーンがありません。

(S)
ユーザーからの応答を待ちます。

(O)
現在の設定内容を確認してください。

KDNV10689-I

Do you wish to delete the Real Server(s) from the Company?

会社から物理サーバを削除してよろしいですか？

会社から物理サーバを削除します。

(S)
ユーザーからの応答を待ちます。

(O)
物理サーバを削除する場合は、[はい]をクリックしてください。キャンセルする場合は、[いいえ]をクリックしてください。

KDNV10690-E

The selected Real Server : Name= **物理サーバ名** is already bound to a Zone. It cannot be deleted.

選択した物理サーバ：名称 = **物理サーバ名**はすでにゾーンにバインドされています。削除できません。

バインド済みの物理サーバを削除することはできません。

(S)
ユーザーからの応答を待ちます。

(O)
バインドの設定を削除してから、物理サーバを削除してください。

KDNV10691-E

The specified Real Server name already exists in the Company.

指定した物理サーバ名はすでに会社に設定されています。

指定した物理サーバ名は、すでに同じ会社内に設定されています。

(S)
ユーザーからの応答を待ちます。

(O)
会社内に設定されていない物理サーバ名を指定してください。なお、会社内に設定されているゾーン名、グループ名と同じ名称も指定できません。

KDNV10692-E

There are no more Groups or Real servers to bind.

3. メッセージ

スイッチ上にバインドできるグループや物理サーバは存在しません。

バインドできるグループや物理サーバがスイッチ上にありません。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

現在の設定内容を確認してください。

KDENV10693-E

The bind information cannot be added. Bind information for a zone cannot be added and deleted in the same operation.

バインド情報を追加できません。同じゾーンに対するバインド情報の追加と削除を同時に行うことはできません。

同じゾーンに対して、バインド情報の追加と削除を同時に行うことはできません。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

いったんスイッチからバインド情報を削除したあと、バインド情報を追加してください。

KDENV10694-E

The specified real server name cannot be used because it is already being used in a zone name or group name.

指定した物理サーバ名は、ゾーンまたはグループの名称で使用されているため、指定できません。

指定した物理サーバ名は、すでに同じ会社内のゾーン名またはグループ名に設定されています。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

会社内に設定されていない名称を指定してください。

KDENV10695-E

An attempt to add the real server port (**物理サーバポート番号**) to the real server (IP address = **物理サーバの IP アドレス**) has failed, because that real server port (**物理サーバポート番号**) already exists.

物理サーバ (IP アドレス = **物理サーバの IP アドレス**) に対する物理サーバポート (**ポート番号 = 物理サーバポート番号**) の追加でエラーが発生しました。物理サーバポート (**ポート番号 = 物理サーバポート番号**) はすでに存在します。

指定した物理サーバに、すでに同じポートが設定されているため、指定した物理サーバポートの追加に失敗しました。

(S)

処理を中止します。

(O)

指定した物理サーバポートの内容を見直してください。

KDNV10700-E

There is no port that can be added.

追加可能なポートがありません。

すでにすべてのポートに対して設定が行われています。追加できるポートがありません。

(S)

処理を中止します。

(O)

操作対象スイッチが正しいか確認してください。正しい場合は、不要なポートの設定を削除してください。

KDNV10701-E

No more can be added because **設定情報種別** is already set to the maximum number.

すでに**設定情報種別**が最大数設定されているため、追加できません。

選択したポートには、すでに設定できる最大数の**設定情報種別**が設定されているため、追加できません。

設定情報種別に表示される内容を次の表に示します。

機種	「設定情報種別」	最大数
BS1000	フィルター条件	15
	優先条件	32
AX2400S AX3600S BS2000 BS320 BS500 BS500 1Gbx40	フィルター	1,024
	スイッチ内の MAC フィルター条件	1,024
	スイッチ内の IPv4 アドレスフィルター条件	1,024
	スイッチ内の IPv4 パケットフィルター条件	1,024
	スイッチ内の IPv6 フィルター条件	1,024

(S)

3. メッセージ

処理を中止します。

(O)

操作対象スイッチやポートが正しいか確認してください。正しい場合は、不要な情報を削除してください。

KDNV10702-E

The specified **情報種別** already exists on the same port.

指定した**情報種別**はすでに同じポートに存在しています。

選択したポートには、すでに指定した番号を持つ情報が設定されています。

情報種別には、「優先番号」または「QoS 番号」が表示されます。

(S)

処理を中止します。

(O)

操作対象ポートが正しいか確認してください。正しい場合は、不要な情報を削除してください。

KDNV10703-E

The specified **情報種別** is not in the range of **範囲**.

指定した**情報種別**が**範囲**の範囲ではありません。

情報種別に指定した値が正しくありません。

情報種別および**範囲**に表示される内容を次の表に示します。

機種	分類	「情報種別」	「範囲」
BS1000	フィルター条件	優先番号	1 ~ 15
		プロトコル番号	0 ~ 255
		プロトコル番号マスク	0 ~ 255
		送信元ポート番号	0 ~ 65535
		あて先ポート番号	0 ~ 65535
		送信元ポートマスク	0 ~ 65535
		あて先ポートマスク	0 ~ 65535
		ICMP タイプ	0 ~ 255
		ICMP コード	0 ~ 255
		ICMP タイプマスク	0 ~ 255
		ICMP コードマスク	0 ~ 255
		IGMP タイプ	0 ~ 255
		IGMP タイプマスク	0 ~ 255

機種	分類	「情報種別」	「範囲」
	優先条件	QoS 番号	1 ~ 32
		VLAN-ID	2 ~ 4063
		優先度	0 ~ 7
AX2400S AX3600S BS2000 BS320 BS500 BS500 1Gbx40	フィルター条件	優先番号	1 ~ 4294967294
		送信元 MAC ワイルドカードマスク	00:00:00:00:00:01 ~ ff:ff:ff:ff:ff:fe
		あて先 MAC ワイルドカードマスク	00:00:00:00:00:01 ~ ff:ff:ff:ff:ff:fe
		VLAN-ID	1 ~ 4094
		ユーザー優先度	0 ~ 7
		フィルター名 (数値) ¹	1 ~ 99, 1300 ~ 1999
		送信元 IP ワイルドカードマスク	0.0.0.1 ~ 255.255.255.254
		フィルター名 (数値) ²	100 ~ 199, 2000 ~ 2699
		上位プロトコル	0 ~ 255
		あて先 IP ワイルドカードマスク	0.0.0.1 ~ 255.255.255.254
		ToS	0 ~ 15
		DSCP	0 ~ 63
		あて先 IP マスク	1 ~ 127
		変更後の IPv4 フィルター (数値) ³	1 ~ 199, 1300 ~ 2699
		送信元ポート番号	0 ~ 65535
		送信元 IP マスク	1 ~ 127
		アップリンクフェイルオーバー ⁴	変更後の uplink-failover
変更後の uplink-failover-group	1 ~ 65535		

注 1
IPv4 アドレスフィルター名の場合の範囲です。

注 2
IPv4 パケットフィルター名の場合の範囲です。

注 3
IPv4 フィルター名の場合の範囲です。

3. メッセージ

注 4

BS2000, BS320, BS500, および BS500 1Gbx40 の場合だけ表示されます。

(S)

処理を中止します。

(O)

適切な範囲内で**情報種別**を設定してください。

KDNV10704-E

情報種別 is not in MAC address format.

情報種別が MAC アドレス形式ではありません。

情報種別に指定した MAC アドレスが、MAC アドレス形式 (nn:nn:nn:nn:nn:nn) ではありません。

(S)

処理を中止します。

(O)

MAC アドレス形式で指定してください。

KDNV10705-E

Please specify **情報種別**.

情報種別を指定してください。

情報種別が指定されていません。

(S)

処理を中止します。

(O)

情報種別に値を指定してください。

KDNV10706-E

"**情報種別**" is not specified in the IPv4 address format (nnn.nnn.nnn.nnn), in the IPv6 address format (nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn), or as "any".

情報種別が IPv4 アドレス形式 [nnn.nnn.nnn.nnn] または IPv6 アドレス形式

[nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn] または any ではありません。

情報種別に指定した IP アドレスが、IP アドレス形式ではない、または「any」ではありません。

(S)

処理を中止します。

(O)

IPv4 アドレスの場合は IPv4 形式 (「nnn.nnn.nnn.nnn」) で、IPv6 アドレスの場合

は IPv6 形式 (「nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn」) で指定してください。または any を入力してください。

KDNV10707-E

情報種別 is not in the range 0-32 (for IPv4) or 0-128 (for IPv6).

情報種別が 0 ~ 32(IPv4 の場合) または 0 ~ 128(IPv6 の場合) の範囲ではありません。

IP アドレスマスクの範囲が正しくありません。

- IPv4 の場合 : 0 ~ 32
- IPv6 の場合 : 0 ~ 128

(S)

処理を中止します。

(O)

適切な範囲で IP アドレスマスクを指定してください。

KDNV10708-E

If **情報種別 1** is specified, **情報種別 2** must be specified.

情報種別 1 を指定する場合は**情報種別 2** を指定しなければなりません。

情報種別 1 を指定する場合は、関連項目の**情報種別 2** も指定する必要があります。

(S)

処理を中止します。

(O)

情報種別 2 を指定してください。

KDNV10709-E

If IPv6 address is specified, "any" must be specified either in Source IP or Destination IP.

IPv6 アドレスを指定する場合は、送信元 IP またはあて先 IP の少なくともどちらかに any を指定しなければなりません。

IPv6 アドレスを指定する場合は、送信元 IP またはあて先 IP のどちらかに「any」を指定する必要があります。

(S)

処理を中止します。

(O)

送信元 IP またはあて先 IP のどちらかに「any」を指定してください。

KDNV10710-E

If both MAC and IP are specified, an IPv4 must be specified in IP version.

3. メッセージ

MAC と IP を両方指定する場合、IP バージョンには IPv4 を指定しなければなりません。

MAC アドレスおよび IP アドレスを両方指定する場合は、IP アドレスのバージョンに IPv4 を指定する必要があります。

(S)

処理を中止します。

(O)

IP アドレスのバージョンに IPv4 を指定してください。IPv6 を指定したい場合は、MAC アドレスの指定を削除してください。

KDENV10711-I

Do you wish to delete the filter condition(s)?

フィルター条件を削除してもよろしいですか？

フィルター条件を削除します。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

フィルター条件を削除する場合、[はい] をクリックしてください。キャンセルする場合は、[いいえ] をクリックしてください。

KDENV10712-E

If the higher protocol is 'others', the protocol number must be specified.

上位プロトコルがその他の場合はプロトコル番号を指定しなければなりません。

上位プロトコルに「その他」を指定した場合は、プロトコル番号を指定する必要があります。

(S)

処理を中止します。

(O)

プロトコル番号を指定してください。

KDENV10713-I

Do you wish to start setting the Access Control Information?

アクセス制御情報の設定を開始してよろしいですか？

アクセス制御情報の設定を開始します。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

アクセス制御情報の設定処理を開始する場合、[はい] をクリックしてください。

キャンセルする場合は、[いいえ]をクリックしてください。

KDNV10714-I

Do you wish to start setting the QoS Control Information?

QoS 制御情報の設定を開始してよろしいですか？

QoS 制御情報の設定を開始します。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

QoS 制御情報の設定処理を開始する場合、[はい]をクリックしてください。キャンセルする場合は、[いいえ]をクリックしてください。

KDNV10715-I

Do you wish to delete the QoS Control Information?

QoS 制御情報を削除してもよろしいですか？

QoS 制御情報を削除します。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

QoS 制御情報を削除する場合、[はい]をクリックしてください。キャンセルする場合は、[いいえ]をクリックしてください。

KDNV10716-I

Do you wish to delete the Access Control Information?

アクセス制御情報を削除してもよろしいですか？

アクセス制御情報を削除します。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

アクセス制御情報を削除する場合、[はい]をクリックしてください。キャンセルする場合は、[いいえ]をクリックしてください。

KDNV10717-I

Do you wish to delete the priority condition(s)?

優先条件を削除してもよろしいですか？

優先条件を削除します。

(S)

3. メッセージ

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

優先条件を削除する場合,[はい]をクリックしてください。キャンセルする場合は,[いいえ]をクリックしてください。

KDENV10724-I

If you delete all the **設定情報種別**, any selected port will also be deleted. Do you wish to delete the **設定情報種別**?

すべての**設定情報種別**を削除すると、選択ポートも削除されます。**設定情報種別**を削除してもよろしいですか?

設定情報種別を削除します。

設定情報種別には、「フィルター条件」または「優先条件」が表示されます。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

設定情報種別を削除する場合,[はい]をクリックしてください。キャンセルする場合は,[いいえ]をクリックしてください。

KDENV10725-E

If a higher protocol is specified, please only specify the source IP and the destination IP.

上位プロトコルを指定する場合は、送信元 IP とあて先 IP だけを指定してください。

上位プロトコルを指定する場合は、送信元 IP アドレスおよびあて先 IP アドレスだけを指定できます。送信元 MAC アドレスおよびあて先 MAC アドレスは指定できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

送信元 MAC アドレスおよびあて先 MAC アドレスが指定されていないか確認してください。

KDENV10726-E

If a higher protocol is specified as IGMP, IPv4 must be specified for the IP version.

上位プロトコルに IGMP を指定する場合、IP バージョンには IPv4 を指定しなければなりません。

上位プロトコルに IGMP を指定する場合は、IP バージョンに IPv4 を指定する必要があります。

(S)

処理を中止します。

(O)

IPバージョンがIPv4になっているか確認してください。

KDENV10727-E

Either MAC or IP has to be specified in filter condition.

フィルター条件には、少なくとも MAC または IP を指定する必要があります。

フィルター条件には、少なくとも送信元 MAC アドレスおよび先 MAC アドレス、または送信元 IP アドレスおよび先 IP アドレスを指定しなければなりません。

(S)

処理を中止します。

(O)

送信元 MAC アドレスおよび先 MAC アドレス、または送信元 IP アドレスおよび先 IP アドレスが指定されているか確認してください。

KDENV10728-E

The specified VLAN ID has already been set in another priority condition.

指定した VLAN ID はすでに別の優先条件に設定されています。

指定した VLAN-ID は、すでに別の優先条件で設定されているため指定できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

指定した VLAN-ID が正しいか確認してください。

KDENV10729-E

The selected **設定情報種別** cannot be deleted because it has been applied to the interface.

選択された**設定情報種別**はインターフェースに適用されているため削除できません。

選択した**設定情報種別**は、インターフェースに適用されているため、削除できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

削除したい**設定情報種別**が正しいか確認してください。正しい場合は、インターフェースから**設定情報種別**の適用を外したあと、**設定情報種別**を削除してください。

KDENV10730-E

値 cannot be specified as the first character of **情報種別**.

情報種別の先頭文字に**値**は指定できません。

情報種別を指定するときは、**値**で示す文字を先頭文字に指定できません。

3. メッセージ

(S)

処理を中止します。

(O)

適切な先頭文字を使用して、**情報種別**を指定してください。

KDENV10731-E

The **設定情報種別** name cannot be added because it has already been set.

すでに同じ名前の**設定情報種別**が設定されているため、追加できません。

選択したスイッチには、すでに同じ名前の**設定情報種別**が設定されているため、追加できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

操作対象スイッチが正しいか確認してください。正しい場合は、不要な情報を削除するか、別の名前を設定してください。

KDENV10732-E

You must specify at least one **情報種別** because **設定情報種別** has been applied to the interface.

この**設定情報種別**はインターフェースに適用されているため、**情報種別**を1つ以上指定しなければなりません。

選択した**設定情報種別**は、インターフェースに適用されているため、**情報種別**を指定する必要があります。

(S)

処理を中止します。

(O)

操作対象の**設定情報種別**が正しいか確認してください。正しい場合は、**情報種別**を指定してください。

KDENV10733-E

Specify at least one **情報種別 1** or **情報種別 2**.

情報種別 1を指定するか、**情報種別 2**を1つ以上指定してください。

フィルターを設定する場合、**情報種別 1**か**情報種別 2**を指定する必要があります。

(S)

処理を中止します。

(O)

情報種別 1か**情報種別 2**を指定してください。

KDNV10734-E

The specified **情報種別** already exists in **設定情報種別**.

指定した**情報種別**はすでに同じ**設定情報種別**に存在しています。

選択した**設定情報種別**には、すでに指定した**情報種別**を持つ情報が設定されています。

(S)

処理を中止します。

(O)

操作対象の**設定情報種別**が正しいか確認してください。正しい場合は、不要な情報を削除するか、別の**情報種別**を指定してください。

KDNV10735-E

情報種別 must be **値**.

情報種別は**値**で指定してください。

情報種別を指定するときは、**値**で示す**値**で指定してください。

(S)

処理を中止します。

(O)

適切な**値**を指定してください。

KDNV10736-I

Do you wish to delete the **設定情報種別** (s)?

設定情報種別を削除してもよろしいですか？

設定情報種別を削除します。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

設定情報種別を削除する場合、[はい]をクリックしてください。キャンセルする場合は、[いいえ]をクリックしてください。

KDNV10737-I

You cannot make a filter that only consists of a filter name.

This filter will be deleted. Is this OK?

フィルター名だけのフィルターは作成できません。

本フィルターは削除されますが、よろしいですか？

フィルターを削除します。

(S)

3. メッセージ

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

フィルターを削除する場合、[はい]をクリックしてください。キャンセルする場合は、[いいえ]をクリックしてください。

KDNV10738-E

The **設定情報種別** number cannot be added because it has already been set.

すでに同じ番号の**設定情報種別**が設定されているため、追加できません。

選択したスイッチには、すでに同じ番号の**設定情報種別**が設定されているため、追加できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

操作対象スイッチが正しいか確認してください。正しい場合は、不要な情報を削除するか、別の番号を設定してください。

KDNV10739-E

情報種別 is not in the IPv4 address format [nnn.nnn.nnn.nnn].

情報種別が IPv4 アドレス形式 [nnn.nnn.nnn.nnn] ではありません。

情報種別に指定した IP アドレスが、IPv4 形式ではありません。

(S)

処理を中止します。

(O)

IPv4 形式 [nnn.nnn.nnn.nnn] で指定してください。

KDNV10740-E

情報種別 is not in the IPv6 address format [nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn].

情報種別が IPv6 アドレス形式 [nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn] ではありません。

情報種別に指定した IP アドレスが、IPv6 形式ではありません。

(S)

処理を中止します。

(O)

IPv6 形式 [nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn:nnnn] で指定してください。

KDNV10741-E

When **情報種別 1** is specified, **情報種別 2** cannot be specified.

情報種別 1 を指定する場合は**情報種別 2** を指定できません。

情報種別 1 を指定する場合、**情報種別 2** は指定できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

設定内容が正しいか確認してください。

KDENV10742-E

The filter name specified by **情報種別** cannot be specified because it is being used by a different type of filter.

情報種別に指定されたフィルター名はほかの種類のフィルターで使用されているため指定できません。

情報種別に指定したフィルター名は、ほかの種類のフィルターで使用されているため、指定できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

操作対象スイッチが正しいか確認してください。正しい場合は、不要な情報を削除するか、別の名前を設定してください。

KDENV10753-I

Do you wish to start setting the Access Control List Information?

アクセス制御リスト情報の設定を開始してよろしいですか？

アクセス制御リスト情報の設定を開始します。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

アクセス制御リスト情報の設定処理を開始する場合、[はい]をクリックしてください。キャンセルする場合は、[いいえ]をクリックしてください。

KDENV10754-E

Specified **情報種別** is illegal.

指定した**情報種別**が不正です。

指定した**情報種別**が不正です。

(S)

処理を中止します。

(O)

3. メッセージ

設定内容が正しいか確認してください。

KDENV10755-E

Specify a starting port number for **情報種別** that is less than the ending port number for **情報種別** when specifying a range.

情報種別開始ポート番号 < **情報種別**終了ポート番号となるように指定してください。

開始ポート番号は終了ポート番号より小さいポート番号を指定してください。

情報種別には、「送信元」または「あて先」が表示されます。

(S)

処理を中止します。

(O)

開始ポート番号は終了ポート番号より小さい値を指定してください。

KDENV10800-E

The protocol version used in View is not compatible with Manager.

プロトコルバージョンがマネージャーと一致しません。

JP1/Cm2/NC - View で使用するプロトコルバージョンが、JP1/Cm2/NC - Manager よりも新しいバージョンになっています。

(S)

ログイン画面を表示します。

(O)

JP1/Cm2/NC - View と JP1/Cm2/NC - Manager が互換性のあるバージョンか確認してください。互換性がなければ、正しいバージョンの製品をインストールしてください。

KDENV10801-E

The resources in Manager are insufficient.

マネージャーのリソースが不足しています。

JP1/Cm2/NC - Manager で処理をするためのメモリーが不足しています。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

JP1/Cm2/NC - Manager のメモリーを増設してください。

KDENV10802-E

A communication error occurred in Adaptor.

アダプターで通信エラーが発生しました。

JP1/Cm2/NC - Adaptor とスイッチ間で通信エラーが発生しました。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

障害を取り除いてから再度操作してください。

KDNV10803-E

A database error occurred in Manager.

マネージャーでデータベースエラーが発生しました。

JP1/Cm2/NC - Manager でデータベースへのアクセス時にエラーが発生しました。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

障害を取り除いてから再度操作してください。

KDNV10804-E

Adaptor is not running.

アダプターが起動していません。

JP1/Cm2/NC - Adaptor が起動していません。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を起動してから再度操作してください。

KDNV10805-E

A timeout error occurred in the switch.

スイッチでタイムアウトエラーが発生しました。

JP1/Cm2/NC - Adaptor とスイッチ間の通信でタイムアウトエラーが発生しました。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

障害を取り除いてから再度操作してください。

KDNV10806-E

An attempt to execute a command for the switch has failed. Command= **コマンド名**

スイッチに対するコマンドの実行に失敗しました。コマンド= **コマンド名**

3. メッセージ

コマンド実行でエラーが発生しました。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド」または「JP1/Cm2/Network Element Configuration 運用・操作ガイド」の運用上の注意事項について記述している個所を参照して、スイッチの状態を確認してください。また、同時刻にほかのユーザーがログインして操作していなかったかを確認してください。構成情報を設定しているときにこのメッセージが出力された場合は、ネットワーク構成情報の同期を取ってから再度設定してください。

KDNV10807-E

An internal error occurred in Manager.

マネージャーで内部エラーが発生しました。

JP1/Cm2/NC - Manager で内部エラーを検出しました。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV10808-E

An error occurred while unlocking the database in Manager.

マネージャーでデータベースのロック解放中にエラーが発生しました。

JP1/Cm2/NC - Manager で、データベースのロックを解放中にエラーが発生しました。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV10809-E

Manager has terminated.

マネージャーが停止しました。

JP1/Cm2/NC - Manager が停止しました。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

JP1/Cm2/NC - Manager を起動してから、再度ログインしてください。

KDNV10810-E

A timeout error occurred while constructing the communication data.

通信データ作成中にタイムアウトエラーが発生しました。

JP1/Cm2/NC - Manager で通信データ作成中にタイムアウトエラーが発生しました。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV10811-E

The specified switch was not found in the network. Please refresh View.

指定したスイッチがネットワーク上に見つかりません。最新の情報に更新してください。

指定されたスイッチがネットワーク上にありません。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

JP1/Cm2/NC - Manager , JP1/Cm2/NC - Adaptor , JP1/Cm2/NC - View を再起動し、再度操作し直してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、システム管理者に連絡してください。

KDNV10812-E

Processing was stopped because an error occurred in the execution of another command for the switch.

スイッチに対するほかのコマンドの実行に失敗したため処理を中断しました。

スイッチに対するほかのコマンドの実行でエラーが発生したため、処理を中断しました。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV10813-E

An unrecoverable database error occurred in Manager.

マネージャーで回復できないデータベースエラーが発生しました。

JP1/Cm2/NC - Manager で回復できないデータベースエラーが発生しました。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

3. メッセージ

システム管理者に連絡してください。

KDENV10814-E

No database lock was found. Manager has released the lock.

データベースのロックが見つかりません。ロックはマネージャーで解放されています。

JP1/Cm2/NC - Manager でデータベースのロックが強制解放されました。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV10815-E

A communication error occurred in Manager.

マネージャーで通信エラーが発生しました。

JP1/Cm2/NC - Manager と JP1/Cm2/NC - Adaptor 間で通信エラーが発生しました。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

障害を取り除いてから、再度操作してください。

KDENV10816-E

The protocol version used in CLI is not compatible with Manager.

プロトコルバージョンがマネージャーと不一致です。

JP1/Cm2/NC - Manager のバージョンが、JP1/Cm2/NC - View が前提としているバージョンと異なっています。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

JP1/Cm2/NC - Manager および JP1/Cm2/NC - View のバージョンを見直してください。

KDENV10817-E

The specified switch was not found in the network.

指定したスイッチはネットワークに存在しません。

指定したスイッチはネットワーク構成情報に存在しません。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

JP1/Cm2/NC - Manager , JP1/Cm2/NC - Adaptor , JP1/Cm2/NC - View を再起動し、再度操作し直してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、システム管理者に連絡してください。

KDNV10818-E

An error occurred in Adaptor.

アダプターでエラーが発生しました。

アダプターでエラーが発生しました。

(S)

ユーザーからの応答を待ちます。

(O)

しばらく時間をおいて、再度操作をやり直してください。

KDNV10819-E

The specified Switch does not exist.

指定したスイッチは存在しません。

指定したスイッチが、JP1/Cm2/NC - Adaptor のスイッチ定義ファイル、または JP1/Cm2/NC - Manager のデータベースにありません。

(S)

処理を中止します。

(O)

JP1/Cm2/NC - Manager , JP1/Cm2/NC - Adaptor , JP1/Cm2/NC - View を再起動し、再度操作し直してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、JP1/Cm2/NC - Manager のシステム管理者に連絡してください。

KDNV10820-E

The manager received invalid data from the adaptor.

マネージャーがアダプターから不正なデータを受信しました。

JP1/Cm2/NC - Manager が、JP1/Cm2/NC - Adaptor から不正なデータを受信しました。

(S)

GUI での操作の場合、ユーザーからの応答を待ちます。

CLI での操作の場合、処理を中止します。

(O)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を再起動し、再度操作し直してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、システム管理者に連絡してください。

3. メッセージ

KDENV10925-E

A timeout error occurred while receiving the communication data.

通信データ受信中にタイムアウトが発生しました。

JP1/Cm2/NC - View で通信データ受信中にタイムアウトが発生しました。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

JP1/Cm2/NC - Manager とのコネクションを確認してから再度実行してください。

KDENV10931-E

The connection with Manager could not be established. Hostname= **ホスト名** Port number= **ポート番号**

マネージャーとのコネクションが確立できません。ホスト名 = **ホスト名** ポート番号 = **ポート番号**

JP1/Cm2/NC - Manager とのコネクションが確立できません。

(S)

ログイン画面を表示します。

(O)

次に示すどちらかの対処をしてください。

- ホスト名をネットワーク上で有効にする (DNS に設定する)
- JP1/Cm2/NC - Manager を起動する。

KDENV10932-E

A communication error occurred due to a communication data format error. Reason= **メッセージ**

通信データフォーマットエラーによる通信エラーが発生しました。理由 = **メッセージ**

不正データを受信しました。

(S)

元の画面を表示します。

(O)

接続先の JP1/Cm2/NC - Manager のアドレス , およびポート番号が正しいか確認してから再接続してください。

KDENV10939-E

Timeout error occurred while receiving the response.

応答の受信時にタイムアウトエラーが発生しました。

JP1/Cm2/NC - Manage からの応答受信中にタイムアウトエラーが発生しました。

- (S)
ユーザーからの応答を待ちます。
- (O)
システム管理者に連絡してください。

KDNV11000-E

An attempt to acquire the installation path has failed.

インストールパスの取得に失敗しました。

サービスの起動時、JP1/Cm2/NC - View のインストールパスの取得に失敗しました。

- (S)
サービスの起動を中止します。
- (O)
JP1/Cm2/NC - View のインストールが正常に終了しているかを確認し、中断などが発生している場合は再インストールしてください。インストールが正常に終了している場合は、システム管理者に連絡してください。

KDNV11001-E

A connection to the service manager could not be established. **エラー情報**

サービス制御マネージャーに接続できません。 **エラー情報**

サービスの起動時、サービス制御マネージャーとの接続に失敗しました。

- (S)
サービスの起動を中止します。
- (O)
システム管理者に連絡してください。

KDNV11002-E

An attempt to report to the service manager has failed.

サービス制御マネージャーへの通知に失敗しました。

サービスの起動状態の通知に失敗しました。

- (S)
サービスの起動を中止します。
- (O)
システム管理者に連絡してください。

KDNV11003-E

An error occurred in a system call. (システムコール名, エラー番号, エラー番号)

システムコールでエラーが発生しました。(システムコール名, エラー番号, エラー番号)

3. メッセージ

サービスの起動時、システムコールでエラーが発生しました。

(S)

サービスの起動を中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV11004-E

An attempt to start the service has failed.

サービスの起動に失敗しました。

CLI 制御プログラムのプロセスの起動に失敗しました。

(S)

サービスの起動を中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV11005-E

A control handle could not be registered in the service manager. (エラー情報)

サービス制御マネージャーに制御ハンドルを登録できません。(エラー情報)

CLI 制御プログラムのプロセスの起動に失敗しました。

(S)

サービスの起動を中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV11006-E

An event handle could not be registered in the service manager.

サービス制御マネージャーにイベントハンドルを登録できません。

CLI 制御プログラムのプロセスの起動に失敗しました。

(S)

サービスの起動を中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV11012-E

An attempt to set up HNTRLib2 has failed. (理由)

HNTRLib2 の初期設定に失敗しました。(理由)

サービスの起動時、HNTRLib2 の初期設定に失敗しました。

- (S) サービスの起動を中止します。
- (O) システム管理者に連絡してください。

KDNV11031-E

xerces.jar file is not present in the install path.

xerces.jar ファイルが組み込まれていません。

JP1/Cm2/NC - View のインストールディレクトリに、xerces.jar ファイルが組み込まれていません。

- (S) サービスの起動を中止します。
- (O) JP1/Cm2/NC - View のインストールディレクトリに、xerces.jar ファイルを組み込んでください。

KDNV11100-E

An attempt to open the definition file has failed. (File name = **定義ファイル名**)

定義ファイルのオープンに失敗しました。(定義ファイル名 = **定義ファイル名**)

定義ファイルのオープンに失敗しました。

- (S) CLI 制御プログラムを終了します。
- (O) ファイルシステムでエラーが発生していないか確認してください。問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

KDNV11108-E

An attempt to start the CLI Daemon has failed.

CLI 制御プログラムの起動に失敗しました。

CLI 制御プログラムの起動に失敗しました。

- (S) CLI 制御プログラムを終了します。
- (O) ログに出力されているエラーの内容を表すメッセージを参照してください。発生したエラーに対処したあと、サービスを再起動してください。

3. メッセージ

KDNV11109-E

The CLI Daemon terminated abnormally.

CLI 制御プログラムが異常終了しました。

CLI 制御プログラムが異常終了しました。

(S)

CLI 制御プログラムを終了します。

(O)

ログに出力されているエラーの内容を表すメッセージを参照してください。発生したエラーに対処したあと、サービスを再起動してください。

KDNV11111-E

A memory shortage occurred. **理由**

メモリー不足が発生しました。 **理由**

メモリーの確保に失敗しました。

(S)

CLI 制御プログラムを終了します。

(O)

次に示すどちらかの対処を実施してください。

- 不要なアプリケーションを終了して再度実行してください。
- 仮想メモリーの領域を増やすか、またはメモリーを増設してください。

KDNV11119-E

An attempt to acquire the installation path has failed.

インストールパスの取得に失敗しました。

インストールパスの取得に失敗しました。

(S)

CLI 制御プログラムを終了します。

(O)

JP1/Cm2/NC - View のインストールが正常に終了しているかを確認し、中断などが発生している場合は再インストールしてください。インストールが正常に終了している場合は、システム管理者に連絡してください。

KDNV11125-E

JNI initialization has failed.

JNI の初期化に失敗しました。

JNI の初期化に失敗しました。

(S)

CLI 制御プログラムを終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV11200-I

コマンド名 is complete.

コマンド名が完了しました。

コマンド名で示すコマンドの処理が完了しました。

(S)

コマンドを終了します。

KDNV11201-E

コマンド名 is not completed.

コマンド名は未完了です。

コマンド名で示すコマンドの処理が、全部または一部失敗しました。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

エラーの内容を表すメッセージを参照してください。発生したエラーに対処したあと、失敗した個所について再度実行してください。

KDNV11202-I

There are no valid parameters in the specified work.

指定されたワークに有効な設定がありません。

指定したワークには、設定する情報がありません。

(S)

コマンドを終了します。

(O)

構成パラメーター定義ファイルの内容が意図したとおりの定義であるか確認してください。

KDNV11203-E

A command is invalid.

実行コマンド名が不正です。

指定したコマンド名が不正です。

(S)

コマンドを中止します。

3. メッセージ

(O)

正しいコマンド名を指定してください。

KDENV11204-E

An option is invalid.

オプションが不正です。

指定したオプションが不正です。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

正しいオプションを指定してください。

KDENV11205-E

A variable format was invalid.

コマンドで指定した変数が構成パラメーター定義ファイルと一致していません。

nevc/cmd コマンドの `-pnn` オプションで指定した変数と、構成パラメーター定義ファイルに指定した変数の書式が一致しません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

nevc/cmd コマンドで指定した変数が正しいか確認してください。また、構成パラメーター定義ファイルの内容を見直してください。

KDENV11206-E

Configuration file **ファイル名** format is incorrect. **エラーメッセージ**

構成パラメーター定義ファイル**ファイル名**の書式が不正です。 **エラーメッセージ**

構成パラメーター定義ファイルに記述した定義の書式が不正です。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

構成パラメーター定義ファイルの内容を見直してください。

KDENV11207-E

An invalid Parameter was specified. Reason= **理由**

不正なパラメーターが指定されました。理由 = **理由**

構成パラメーター定義ファイルに記述した定義の中に、不正なパラメーターが指定されています。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

構成パラメーター定義ファイルの内容を見直してください。

KDNV11208-E

An invalid operation was specified. Reason= **理由**

不正な操作が指定されました。理由 = **理由**

構成パラメーター定義ファイルに記述した定義の中に、不正な操作が指定されています。
(例) VLAN 定義の設定で、同一の VLAN-ID に対して「追加に続いて追加を行う」、「削除に続いて削除を行う」、「変更に続いて追加を行う」などの矛盾した操作が指定されています。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

構成パラメーター定義ファイルの内容を見直してください。

KDNV11209-E

A fatal error occurred. Reason= **理由**

続行できないエラーが発生しました。理由 = **理由**

nevelemd コマンドの処理が続行できなくなりました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV11210-E

An attempt to connect to the CLI Controller has failed.

CLI 制御プログラムとの接続に失敗しました。

nevelemd コマンドが CLI 制御プログラムとの接続に失敗しました。JP1/Cm2/NC - CLI Controller サービスが起動していない、または nevelemd コマンドを同時に複数実行しようとしたおそれがあります。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

JP1/Cm2/NC - CLI Controller サービスが起動しているか確認してください。また、nevelemd コマンドを複数実行しようとした場合、先に実行したコマンドが終了して

3. メッセージ

から実行してください。

KDNV11211-E

The connection with CLI Controller timed out.

CLI 制御プログラムとの接続がタイムアウトしました。

nevcclcmd コマンドが CLI 制御プログラムとの接続に失敗しました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

エラーの内容を表すメッセージを参照してください。

KDNV11212-E

The CLI Controller rejected a connection request. Reason= **理由**

CLI 制御プログラムから接続を拒否されました。理由 = **理由**

nevcclcmd コマンドが CLI 制御プログラムとの接続に失敗しました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

発生したエラーに対処したあと、再度実行してください。

KDNV11213-E

A communication error occurred. Reason= **理由**

通信エラーが発生しました。理由 = **理由**

nevcclcmd コマンドと CLI 制御プログラムとの通信処理で障害が発生しました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

このメッセージが繰り返し出力される場合は、ネットワーク環境に問題がないか見直してください。

KDNV11214-E

Invalid data was received. **エラー情報**

不正なデータを受信しました。**エラー情報**

CLI 制御プログラムから不正なデータを受信しました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV11215-E

A fatal error occurred by reading **ファイル名**.**ファイル名**の読み込みに失敗しました。

構成パラメーター定義ファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

ファイル名が正しいか確認してください。

KDNV11216-E

An invalid work was specified.

不正なワークが指定されました。

指定したワーク名が不正です。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

ワーク名が正しいか確認してください。

KDNV11217-I

The VLAN definition settings were applied (VLAN domain = **VLAN 管理ドメイン名**, VLAN ID = **VLAN-ID**, operation = **操作種別**, result = **実行結果**).VLAN 定義の設定を実行しました。ドメイン名 = **VLAN 管理ドメイン名**、VLANID=**VLAN-ID**、操作 = **操作種別**、結果 = **実行結果**

VLAN 定義情報の設定を実行しました。このメッセージは、設定が成功した場合に表示されます。

(S)

処理を続行します。

KDNV11218-I

The VLAN definition settings were applied (VLAN domain = **VLAN 管理ドメイン名**, VLAN ID = **VLAN-ID**, operation = **操作種別**, result = **実行結果**, cause = **失敗理由メッセージ**).VLAN 定義の設定を実行しました。ドメイン名 = **VLAN 管理ドメイン名**、VLANID=**VLAN-ID**、操作 = **操作種別**、結果 = **実行結果**、原因 = **失敗理由メッセージ**

VLAN 定義情報の設定を実行しました。このメッセージは、設定が失敗した場合に表示

3. メッセージ

されます。

(S)

処理を続行します。

(O)

失敗理由メッセージを参照してください。

KDENV11219-I

The VLAN configuration information settings were applied (VLAN domain = **VLAN 管理ドメイン名**, VLAN ID = **VLAN-ID**, switch name = **スイッチ名**, operation = **操作種別**, result = **実行結果**).

VLAN 構成情報の設定を実行しました。ドメイン名 = **VLAN 管理ドメイン名**、
VLANID=**VLAN-ID**、スイッチ名 = **スイッチ名**、操作 = **操作種別**、結果 = **実行結果**

VLAN 構成情報の設定を実行しました。このメッセージは、設定が成功した場合に表示
されます。

(S)

処理を続行します。

KDENV11220-I

The VLAN configuration information settings were applied (VLAN domain = **VLAN 管理ドメイン名**, VLAN ID = **VLAN-ID**, switch name = **スイッチ名**, operation = **操作種別**, result = **実行結果**, cause = **失敗理由メッセージ**).

VLAN 構成情報の設定を実行しました。ドメイン名 = **VLAN 管理ドメイン名**、
VLANID=**VLAN-ID**、スイッチ名 = **スイッチ名**、操作 = **操作種別**、結果 = **実行結果**、原因 = **失敗理由メッセージ**

VLAN 構成情報の設定を実行しました。このメッセージは、設定が失敗した場合に表示
されます。

(S)

処理を続行します。

(O)

失敗理由メッセージを参照してください。

KDENV11221-I

The switch configuration information settings were applied (switch name = **スイッチ名**, result = **実行結果**).

スイッチ構成情報の設定を実行しました。スイッチ名 = **スイッチ名**、結果 = **実行結果**

スイッチ構成情報の設定を実行しました。このメッセージは、設定が成功した場合に表示
されます。

(S)

処理を続行します。

KDNV11222-I

The switch configuration information settings were applied (switch name = **スイッチ名**, result = **実行結果**, cause = **失敗理由メッセージ**).

スイッチ構成情報の設定を実行しました。スイッチ名 = **スイッチ名**、結果 = **実行結果**、原因 = **失敗理由メッセージ**

スイッチ構成情報の設定を実行しました。このメッセージは、設定が失敗した場合に表示されます。

(S)

処理を続行します。

(O)

失敗理由メッセージを参照してください。

KDNV11223-I

The virtual server configuration information settings were applied (switch name = **スイッチ名**, virtual server name = **論理サーバ名**, operation = **操作種別**, result = **実行結果**).

論理サーバ構成情報の設定を実行しました。スイッチ名 = **スイッチ名**、論理サーバ名 = **論理サーバ名**、操作 = **操作種別**、結果 = **実行結果**

論理サーバ構成情報の設定を実行しました。このメッセージは、設定が成功した場合に表示されます。

(S)

処理を続行します。

KDNV11224-I

The virtual server configuration information settings were applied (switch name = **スイッチ名**, virtual server name = **論理サーバ名**, operation = **操作種別**, result = **実行結果**, cause = **失敗理由メッセージ**).

論理サーバ構成情報の設定を実行しました。スイッチ名 = **スイッチ名**、論理サーバ名 = **論理サーバ名**、操作 = **操作種別**、結果 = **実行結果**、原因 = **失敗理由メッセージ**

論理サーバ構成情報の設定を実行しました。このメッセージは、設定が失敗した場合に表示されます。

(S)

処理を続行します。

(O)

失敗理由メッセージを参照してください。

KDENV11225-I

The real server configuration information settings were applied (switch name = **スイッチ名**, real server name = **物理サーバ名**, operation = **操作種別**, result = **実行結果**).

物理サーバ構成情報の設定を実行しました。スイッチ名 = **スイッチ名**、物理サーバ名 = **物理サーバ名**、操作 = **操作種別**、結果 = **実行結果**

物理サーバ構成情報の設定を実行しました。このメッセージは、設定が成功した場合には表示されます。

(S)

処理を続行します。

KDENV11226-I

The real server configuration information settings were applied (switch name = **スイッチ名**, real server name = **物理サーバ名**, operation = **操作種別**, result = **実行結果**, cause = **失敗理由メッセージ**).

物理サーバ構成情報の設定を実行しました。スイッチ名 = **スイッチ名**、物理サーバ名 = **物理サーバ名**、操作 = **操作種別**、結果 = **実行結果**、原因 = **失敗理由メッセージ**

物理サーバ構成情報の設定を実行しました。このメッセージは、設定が失敗した場合には表示されます。

(S)

処理を続行します。

(O)

失敗理由メッセージを参照してください。

KDENV11227-I

The real server configuration information settings were applied (switch name = **スイッチ名**, pool name = **プール名**, real server name = **物理サーバ名**, operation = **操作種別**, result = **実行結果**).

物理サーバ構成情報の設定を実行しました。スイッチ名 = **スイッチ名**、プール名 = **プール名**、物理サーバ名 = **物理サーバ名**、操作 = **操作種別**、結果 = **実行結果**

物理サーバ構成情報の設定を実行しました。このメッセージは、設定が成功した場合には表示されます。

(S)

処理を続行します。

KDENV11228-I

The real server configuration information settings were applied (switch name = **スイッチ名**, pool name = **プール名**, real server name = **物理サーバ名**, operation = **操作種別**, result = **実行結果**, cause = **失敗理由メッセージ**).

物理サーバ構成情報の設定を実行しました。スイッチ名 = **スイッチ名**、プール名 = **プール名**、物理サーバ名 = **物理サーバ名**、操作 = **操作種別**、結果 = **実行結果**、原因 = **失敗理由メッセージ**
物理サーバ構成情報の設定を実行しました。このメッセージは、設定が失敗した場合に表示されます。

(S)

処理を続行します。

(O)

失敗理由メッセージを参照してください。

KDNV11229-I

The bind configuration information settings were applied (switch name = **スイッチ名**, virtual server name = **論理サーバ名**, virtual server port = **論理サーバポート**, operation = **操作種別**, result = **実行結果**).

バインド構成情報の設定を実行しました。スイッチ名 = **スイッチ名**、論理サーバ名 = **論理サーバ名**、論理サーバポート名 = **論理サーバポート**、操作 = **操作種別**、結果 = **実行結果**

バインド構成情報の設定を実行しました。このメッセージは、設定が成功した場合に表示されます。

(S)

処理を続行します。

KDNV11230-I

The bind configuration information settings were applied (switch name = **スイッチ名**, virtual server name = **論理サーバ名**, virtual server port = **論理サーバポート**, operation = **操作種別**, result = **実行結果**, cause = **失敗理由メッセージ**).

バインド構成情報の設定を実行しました。スイッチ名 = **スイッチ名**、論理サーバ名 = **論理サーバ名**、論理サーバポート名 = **論理サーバポート**、操作 = **操作種別**、結果 = **実行結果**、原因 = **失敗理由メッセージ**

バインド構成情報の設定を実行しました。このメッセージは、設定が失敗した場合に表示されます。

(S)

処理を続行します。

(O)

失敗理由メッセージを参照してください。

KDNV11231-E

An attempt to add the **構成要素** has failed. **構成要素** already added.

構成要素の追加に失敗しました。構成パラメーター定義ファイルですでに追加されています。
構成要素で示すパラメーターはすでに追加されているため、追加できません。

3. メッセージ

(S)

コマンドを中止します。

(O)

構成パラメーター定義ファイルの内容を見直してください。

KDENV11232-E

An attempt to add the **構成要素** has failed. **構成要素** already exists in the network.

構成要素の追加に失敗しました。 **構成要素**はすでにネットワーク上に存在します。

構成要素で示すパラメーターはすでに変更されているため、追加できません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

構成パラメーター定義ファイルの内容を見直してください。

KDENV11233-E

An attempt to delete the **構成要素** has failed. **構成要素** already deleted.

構成要素の削除に失敗しました。 **構成パラメーター定義ファイル**ですすでに削除されています。

構成要素で示すパラメーターはすでに削除されているため、削除できません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

構成パラメーター定義ファイルの内容を見直してください。

KDENV11234-E

An attempt to modify the **構成要素** has failed. **構成要素** already deleted.

構成要素の変更に失敗しました。 **構成パラメーター定義ファイル**ですすでに削除されています。

構成要素で示すパラメーターはすでに削除されているため、変更できません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

構成パラメーター定義ファイルの内容を見直してください。

KDENV11235-E

Cannot specify **値** in XML file if the operation type is **操作種別**.

操作種別が **操作種別**の場合、 **構成パラメーター定義ファイル**に**値**は指定できません。

指定した**操作種別**と**値**に矛盾があります。

- (S)
コマンドを中止します。
- (O)
構成パラメーター定義ファイルの内容を見直してください。

KDNV11236-E

値 must be specified in XML file if the operation type is **操作種別**.

操作種別が **操作種別** の場合、構成パラメーター定義ファイルに値を指定しなければいけません。
指定した **操作種別** と値に矛盾があります。

- (S)
コマンドを中止します。
- (O)
構成パラメーター定義ファイルの内容を見直してください。

KDNV11237-E

The value for the variable **変数名** is not specified.

変数 **変数名** の値が指定されていません。

構成パラメーター定義ファイルの中で使用している変数名に対応する値が、ncveclcmd コマンドの `-pnn` オプションで指定されていません。

- (S)
コマンドを中止します。
- (O)
変数名に対応する値を ncveclcmd コマンドで指定してください。

KDNV11238-E

JP1Cm2NC_CLI_Controller is shutting down.

CLI 制御プログラムが停止処理中です。

CLI 制御プログラムが停止処理中のため、コマンドを実行できません。

- (S)
コマンドを中止します。
- (O)
JP1/Cm2/NC · CLI Controller サービスを再起動後、再度実行してください。

KDNV11239-E

An attempt to connect to manager failed. Reason= **理由**

マネージャーとの接続に失敗しました。理由 = **理由**

3. メッセージ

JP1/Cm2/NC - Manager との接続に失敗しました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

発生したエラーに対処したあと、再度実行してください。

KDENV11240-E

An attempt to add the VLAN configuration information (ID=**VLAN-ID**) to the Switch (Name= **スイッチ名**) has failed. VLAN already added from the XML file.

スイッチ (スイッチ名 = **スイッチ名**) に対する VLAN 構成情報 (VLAN ID=**VLAN-ID**) の追加でエラーが発生しました。構成パラメーター定義ファイルですでに追加されています。

追加しようとした VLAN は、すでに構成パラメーター定義ファイルに追加されています。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

構成パラメーター定義ファイルの内容を見直してください。

KDENV11241-E

An attempt to add the VLAN configuration information (ID=**VLAN-ID**) to the Switch (Name= **スイッチ名**) has failed. Switch (Name = **スイッチ名**) is already set to the VLAN (ID=**VLAN-ID**), it cannot be added.

スイッチ (スイッチ名 = **スイッチ名**) に対する VLAN 構成情報 (ID=**VLAN-ID**) の追加でエラーが発生しました。スイッチ (スイッチ名 = **スイッチ名**) はすでに VLAN(ID=**VLAN-ID**) に設定されているため、追加できません。

追加しようとしたスイッチはすでに VLAN に追加されています。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

構成パラメーター定義ファイルの内容を見直してください。

KDENV11242-E

An attempt to delete the VLAN configuration information (ID=**VLAN-ID**) from the Switch (Name= **スイッチ名**) has failed. VLAN already deleted from the XML file.

スイッチ (スイッチ名 = **スイッチ名**) に対する VLAN 構成情報 (VLAN ID=**VLAN-ID**) の削除でエラーが発生しました。構成パラメーター定義ファイルですでに削除されています。

削除しようとした VLAN は、すでに構成パラメーター定義ファイル内で削除の指定がさ

れています。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

構成パラメーター定義ファイルの内容を見直してください。

KDNV11243-E

An attempt to modify the VLAN configuration information (ID=**VLAN-ID**) from the Switch (Name=**スイッチ名**) has failed. VLAN already deleted from the XML file.

スイッチ (スイッチ名 = **スイッチ名**) に対する VLAN 構成情報 (VLAN ID=**VLAN-ID**) の変更でエラーが発生しました。構成パラメーター定義ファイルですでに削除されています。

変更しようとした VLAN は、すでに構成パラメーター定義ファイル内で削除の指定がされています。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

構成パラメーター定義ファイルの内容を見直してください。

KDNV11244-E

An attempt to add the Real Server Port (Number= **ポート番号**) to the Real Server (Name= **物理サーバ名**) has failed. Real Server Port already added.

物理サーバ (物理サーバ名 = **物理サーバ名**) に対する物理サーバポート (ポート番号 = **ポート番号**) の追加でエラーが発生しました。構成パラメーター定義ファイルですでに追加されています。

追加しようとした物理サーバは、すでに構成パラメーター定義ファイルに設定されています。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

構成パラメーター定義ファイルの内容を見直してください。

KDNV11245-E

An attempt to add the Real Server Port (Number= **ポート番号**) to the Real Server (Name= **物理サーバ名**) has failed. Real Server Port (Number= **ポート番号**) already exists in the network.

物理サーバ (物理サーバ名 = **物理サーバ名**) に対する物理サーバポート (ポート番号 = **ポート番号**) の追加でエラーが発生しました。物理サーバポート (ポート番号 = **ポート番号**) はすでにネットワーク上に存在します。

追加しようとした物理サーバはすでに設定されています。

3. メッセージ

(S)

コマンドを中止します。

(O)

構成パラメーター定義ファイルの内容を見直してください。

KDENV11246-E

An attempt to delete the Real server (Name= **物理サーバ名**) from the Pool (Name= **プール名**) has failed. Real Server already deleted.

プール(**プール名** = **プール名**)に対する物理サーバ(**物理サーバ名** = **物理サーバ名**)の削除でエラーが発生しました。構成パラメーター定義ファイルですでに削除されています。

削除しようとした物理サーバは、すでに構成パラメーター定義ファイル内で削除の指定がされています。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

構成パラメーター定義ファイルの内容を見直してください。

KDENV11247-E

An attempt to modify the Real server (Name= **物理サーバ名**) in the Pool (Name= **プール名**) has failed. Real Server already deleted.

プール(**プール名** = **プール名**)に対する物理サーバ(**物理サーバ名** = **物理サーバ名**)の変更でエラーが発生しました。構成パラメーター定義ファイルですでに削除されています。

変更しようとした物理サーバは、すでに構成パラメーター定義ファイル内で削除の指定がされています。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

構成パラメーター定義ファイルの内容を見直してください。

KDENV11248-E

The specified Switch (Name= **スイッチ名**) does not have a configuration setting in the XML file.

指定したスイッチ(**スイッチ名** = **スイッチ名**)の定義が構成パラメーター定義ファイルにありません。

指定したスイッチに対応したパラメーターが構成パラメーター定義ファイルにありません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

スイッチの機種に対応した名前空間の指定が正しいか確認してください。

KDNV11249-I

Connected with the CLI control program.

CLI 制御プログラムに接続しました。応答を待っています。

CLI 制御プログラムと接続しました。

(S)

処理を続行します。

KDNV11251-I

Real server configuration information setup is attempted. Switch name= **スイッチ名**, Pool name= **プール名**, Operation= **操作種別**, Result= **実行結果**

物理サーバ構成情報の設定を実行しました。スイッチ名 = **スイッチ名**、プール名 = **プール名**、操作 = **操作種別**、結果 = **実行結果**

物理サーバ構成情報の設定を実行しました。このメッセージは、設定が成功した場合に表示されます。

(S)

処理を続行します。

KDNV11252-I

Real server configuration information setup is attempted. Switch name= **スイッチ名**, Pool name= **プール名**, Operation= **操作種別**, Result= **実行結果**, Cause= **失敗理由メッセージ**

物理サーバ構成情報の設定を実行しました。スイッチ名 = **スイッチ名**、プール名 = **プール名**、操作 = **操作種別**、結果 = **実行結果**、原因 = **失敗理由メッセージ**

物理サーバ構成情報の設定を実行しました。このメッセージは、設定が失敗した場合に表示されます。

(S)

処理を続行します。

(O)

失敗理由メッセージを参照してください。

KDNV11253-E

For a < **タグ名** > tag, it is not possible to specify more than one configuration setting.

< **タグ名** > タグに対して複数の構成設定を指定できません。

タグ名で示すタグには、複数のパラメーターを指定できません。

(S)

処理を中止します。

3. メッセージ

(O)

構成パラメーター定義ファイルの内容を見直してください。

KDENV11254-E

Variable (Name= **変数名**) format is invalid.

変数 (変数名 = **変数名**) の書式が不正です。

変数の書式が不正です。

(S)

処理を中止します。

(O)

構成パラメーター定義ファイルの内容を見直してください。

KDENV11255-E

An attempt to add the Port:NIF=**NIF 番号** port= **ポート番号** has failed. Port:NIF=**NIF 番号** port=**ポート番号** already added.

ポート (NIF=**NIF 番号**、ポート = **ポート番号**) の追加に失敗しました。構成パラメーター定義ファイルですでに追加されています。

追加しようとしたポートはすでに構成パラメーター定義ファイルに追加されています。

(S)

処理を中止します。

(O)

構成パラメーター定義ファイルの内容を見直してください。

KDENV11256-E

An attempt to delete the Port:NIF=**NIF 番号** port= **ポート番号** has failed. Port:NIF=**NIF 番号** port=**ポート番号** already deleted.

ポート (NIF=**NIF 番号**、ポート = **ポート番号**) の削除に失敗しました。構成パラメーター定義ファイルですでに削除されています。

削除しようとしたポートはすでに構成パラメーター定義ファイル内で削除の指定がされています。

(S)

処理を中止します。

(O)

構成パラメーター定義ファイルの内容を見直してください。

KDENV11257-E

The value of **オプション** is not specified.

オプションの値が指定されていません。

オプションの値が指定されていません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

オプションの値を指定してください。

KDENV11258-E

The parameter (Name= **パラメーター名**) for the specified command (Name= **コマンド名**) does not exist in the XML file.

指定したコマンド (**コマンド名** = **コマンド名**) に対応するパラメーター (**パラメーター名** = **パラメーター名**) が構成パラメーター定義ファイルの中に存在しません。

指定した実行コマンド (**コマンド名**) に対応するパラメーターが正しくありません。正しいパラメーターは**パラメーター名**です。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

構成パラメーター定義ファイルの内容を見直してください。

KDENV11259-E

The specified command (Name= **コマンド名**) does not exist in the parameter (Name= **パラメーター名**).

指定したコマンド (**コマンド名** = **コマンド名**) がパラメーター (**パラメーター名** = **パラメーター名**) 配下に存在しません。

nevelemd コマンドで指定した実行コマンド (**コマンド名**) が、構成パラメーター定義ファイルにありません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

構成パラメーター定義ファイルの内容を見直してください。

KDENV11260-I

SyncSwitchConf was executed. (switch name = **スイッチ名**, result = **実行結果**)

構成情報の同期を実行しました。スイッチ名 = **スイッチ名**, 結果 = **実行結果**

構成情報の同期を実行しました。このメッセージは、同期が成功した場合に表示されません。

(S)

3. メッセージ

処理を続行します。

KDENV11261-I

SyncSwitchConf was executed. (switch name = **スイッチ名**, result = **実行結果**, cause = **失敗理由メッセージ**)

構成情報の同期を実行しました。スイッチ名 = **スイッチ名**, 結果 = **実行結果**, 原因 = **失敗理由メッセージ**

構成情報の同期を実行しました。このメッセージは、同期が失敗した場合に表示されません。

(S)

処理を続行します。

(O)

失敗理由メッセージを参照してください。

KDENV11275-E

Configuration information for the specified switch (**スイッチ名**) cannot be acquired because the adaptor (**アダプター名**) is not running.

アダプター (**アダプター名** = **アダプター名**) が未起動のため、指定したスイッチ (**スイッチ名** = **スイッチ名**) の構成情報を取得することができません。

スイッチ名で示すスイッチを管理しているアダプターが未起動のため、スイッチから構成情報を取得できません。

(S)

処理を中止します。

(O)

アダプター名で示すアダプターを起動してください。

KDENV11288-E

A user without administrator permissions attempted to execute the command.

コマンドが管理者権限で実行されていません。

コマンドが管理者権限で実行されていません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

管理者コンソールから実行してください。

KDNV11300-E

The Hostname is invalid. The Hostname should not contain the following characters: *"/%[]{}();|=,+?<><tab> or space.

ホスト名が不正です。ホスト名には *"/%[]{}();|=,+?<><tab> やスペース以外の文字を指定してください。

指定したホスト名が不正です。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

正しい文字を入力してください。

KDNV11301-E

The Hostname length is invalid. The length of Hostname must be between 1-255 bytes.

ホスト名長が不正です。ホスト名は 1 ~ 255 バイトの範囲で指定してください。

指定したホスト名の長さが不正です。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

ホスト名は 1 ~ 255 バイトの範囲で指定してください。

KDNV11302-E

The Username is invalid. The Username should not contain the following characters: *"/%[]{}();|=,+?<><tab> or space.

ユーザー名が不正です。ユーザー名には *"/%[]{}();|=,+?<><tab> やスペース以外の文字を指定してください。

指定したユーザー名が不正です。ユーザー名に指定できるのは、*"/%[]{}();|=,+?<><tab> やスペース以外の文字です。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

正しい文字を入力してください。

KDNV11303-E

The installation path could not be acquired from the registry.

レジストリーからインストールパスを取得できません。

レジストリーからインストールパスが取得できません。

(S)

3. メッセージ

コマンドを中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV11304-E

The [-mp **ポート番号**] is not specified.

[-mp **ポート番号**] が指定されていません。

·mp オプションの値 (マネージャーのポート番号) が指定されていません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

ポート番号を指定してください。

KDENV11306-E

The definition file could not be opened.

定義ファイルがオープンできません。

定義ファイルがオープンできません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV11307-E

An option is invalid.

オプションが不正です。

指定したオプションが不正です。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

正しいオプションを指定してください。

KDENV11308-E

The [-mh **ホスト名**] is not specified.

[-mh **ホスト名**] が指定されていません。

·mh オプションの値 (マネージャーのホスト名) が指定されていません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

ホスト名を指定してください。

KDENV11309-E

Invalid RetryCount value. The value of RetryCount must be between 0-999.

リトライ数が不正です。リトライ数は 0 ~ 999 の範囲で指定するか、または infinite を指定してください。

指定したリトライ回数が不正です。リトライ回数に指定できるのは 0 ~ 999 の範囲か、infinite です。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

正しい値を入力してください。

KDENV11311-E

The options should not be repeated.

同じオプションが二つ以上指定されています。

同じオプションが二つ以上指定されています。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

オプションの指定を見直してください。

KDENV11312-E

An error occurred during modification of the configuration file.

構成ファイルの更新中にエラーが発生しました。

構成ファイルの更新中にエラーが発生しました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV11313-E

The Password is invalid. The Password should not contain the following characters: */

¥[]{}();|=,+?<><tab>or space.

3. メッセージ

パスワードが不正です。パスワードには * " ' % [{ () ; | = , + ? < > <tab> やスペース以外の文字を指定してください。

指定したパスワードが不正です。パスワードに指定できるのは * " ' % [{ () ; | = , + ? < > <tab> やスペース以外の文字です。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

正しい文字を入力してください。

KDENV11314-E

The Username length is invalid. The length of Username must be between 1-31 bytes.

ユーザー名長が不正です。ユーザー名は 1 ~ 31 バイトの範囲で指定してください。

指定したユーザー名の長さが不正です。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

ユーザー名は 1 ~ 31 バイトの範囲で指定してください。

KDENV11315-E

The password length is invalid. Please specify 1-32 bytes for the length.

パスワード長が不正です。パスワードは 1 ~ 32 バイトの範囲で指定してください。

指定したパスワードの長さが不正です。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

パスワードは 1 ~ 32 バイトの範囲で指定してください。

KDENV11316-E

The [-u **ユーザー名**] is not specified.

[-u **ユーザー名**] が指定されていません。

-u オプションの値 (マネージャーのログインユーザー名) が指定されていません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

ユーザー名を指定してください。

KDNV11317-E

The [-p パスワード] is not specified.

[-p パスワード] が指定されていません。

-p オプションの値 (パスワード) が指定されていません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

パスワードを指定してください。

KDNV11318-E

The [-rc リトライ回数] is not specified.

[-rc リトライ回数] が指定されていません。

-rc オプションの値 (リトライ回数) が指定されていません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

リトライ回数を指定してください。

KDNV11319-E

The [-ri リトライインターバル] is not specified.

[-ri リトライインターバル] が指定されていません。

-ri オプションの値 (リトライインターバル) が指定されていません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

リトライインターバルを指定してください。

KDNV11320-E

Invalid RetryInterval value. The value of RetryInterval must be between 5-300.

リトライインターバルが不正です。リトライインターバルは 5 ~ 300 の範囲で指定してください。

指定したリトライインターバルが不正です。リトライインターバルに指定できるのは 5 ~ 300 の範囲です。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

3. メッセージ

正しい値を入力してください。

KDENV11321-E

Invalid Portnumber value. The value of Portnumber must be between 1-65535.

ポート番号が不正です。ポート番号は 1 ~ 65535 の範囲で指定してください。

指定したポート番号が不正です。ポート番号に指定できるのは 1 ~ 65535 の範囲です。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

正しい値を入力してください。

KDENV11322-E

A user without administrator permissions attempted to execute the command.

コマンドが管理者権限で実行されていません。

コマンドが管理者権限で実行されていません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

管理者コンソールから実行してください。

3.5.2 JP1/Cm2/NC - Manager のメッセージ (KDENV20000 ~ KDENV29999)

JP1/Cm2/NC - Manager が出力するメッセージの一覧を次に示します。

KDENV20000-E

An attempt to start Manager has failed.

マネージャーの起動に失敗しました。

JP1/Cm2/NC - Manager の起動処理中にエラーが発生したため、起動に失敗しました。

エラー要因として次の関連メッセージを出力します。

<関連メッセージ>

KDENV20003-E, KDENV20004-E, KDENV20005-E, KDENV20006-E, KDENV20007-E,
KDENV20008-E, KDENV20009-E, KDENV20010-E, KDENV20011-E, KDENV20014-E,
KDENV20015-E, KDENV20302-E, KDENV20500-E, KDENV20501-E

(S)

JP1/Cm2/NC - Manager の起動を中止します。

(O)

関連メッセージで出力されるエラー要因を取り除いてから、JP1/Cm2/NC - Manager を再度起動してください。

KDNV20001-I

Manager started.

マネージャーが起動しました。

JP1/Cm2/NC - Manager が正常に起動しました。

(S)

JP1/Cm2/NC - Manager を起動します。

KDNV20002-I

Manager terminated.

マネージャーが停止しました。

JP1/Cm2/NC - Manager が正常に停止しました。

(S)

JP1/Cm2/NC - Manager を停止します。

KDNV20003-E

A server object could not be generated.

サーバオブジェクトが生成できません。

次に示す要因のため、サーバオブジェクトが作成できません。

- JP1/Cm2/NC - Manager が使用するポートが、ほかのアプリケーションで使用されている。
- メモリーが不足している。

(S)

JP1/Cm2/NC - Manager の起動を中止します。

(O)

JP1/Cm2/NC - Manager が使用するポートを変更するか、または JP1/Cm2/NC - Manager のメモリーを増設してください。

KDNV20004-E

The value of the key: キー名 could not be acquired from registry.

レジストリーからキー：キー名の値が取得できません。

レジストリーからキー：キー名の値が取得できません。レジストリーキーが定義されていないおそれがあります。

(S)

JP1/Cm2/NC - Manager の起動を中止します。

3. メッセージ

(O)

JP1/Cm2/NC - Manager を再度インストールしてください。

KDNV20005-E

A system error occurred. ID: エラー ID API: API 名称

システムエラーが発生しました。ID: エラー ID API:API 名称

システムエラーが発生しました。

(S)

JP1/Cm2/NC - Manager の起動を中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV20006-E

An error object could not be generated.

エラーオブジェクトが生成できません。

メモリー不足によってエラーオブジェクトが生成できません。

(S)

JP1/Cm2/NC - Manager の起動を中止します。

(O)

JP1/Cm2/NC - Manager のメモリーを増設してください。

KDNV20007-E

An ISAM object could not be generated.

ISAM オブジェクトが生成できません。

ディレクトリがないために、ISAM オブジェクトが生成できません。

(S)

JP1/Cm2/NC - Manager の起動を中止します。

(O)

JP1/Cm2/NC - Manager を再度インストールしてください。

KDNV20008-E

The manager version is invalid.

マネージャーのバージョンが不正です。

JP1/Cm2/NC - Manager のバージョンが不正です。

(S)

JP1/Cm2/NC - Manager の起動を中止します。

(O)

JP1/Cm2/NC - Manager を再度インストールしてください。

KDNV20009-E

An error occurred during the ISAM object initialization.

ISAM オブジェクトの初期化でエラーが発生しました。

ISAM オブジェクトの初期化でエラーが発生しました。

(S)

JP1/Cm2/NC - Manager の起動を中止します。

(O)

JP1/Cm2/NC - Manager を再度インストールしてください。

KDNV20010-E

The adaptor name is not specified.

アダプター名が設定されていません。

JP1/Cm2/NC - Manager 接続アダプター定義ファイル (ncmadpt.conf) からアダプター名が取得できません。次の要因が考えられます。

- JP1/Cm2/NC - Manager 接続アダプター定義ファイル (ncmadpt.conf) にアダプター名が設定されていない。
- JP1/Cm2/NC - Manager 接続アダプター定義ファイル (ncmadpt.conf) のフォーマットが不正である。
- JP1/Cm2/NC - Manager 接続アダプター定義ファイル (ncmadpt.conf) がない。

(S)

JP1/Cm2/NC - Manager の起動を中止します。

(O)

JP1/Cm2/NC - Manager 接続アダプター定義ファイル (ncmadpt.conf) を確認してください。

KDNV20011-E

The adaptor name is invalid.

アダプター名が不正です。

JP1/Cm2/NC - Manager 接続アダプター定義ファイル (ncmadpt.conf) に設定したアダプター名が不正です。

(S)

JP1/Cm2/NC - Manager の起動を中止します。

(O)

正しいアダプター名を設定してください。

KDENV20014-E

The user name is not registered.

ユーザー名が設定されていません。

ユーザー名が登録されていません。

(S)

JP1/Cm2/NC - Manager の起動を中止します。

(O)

ncmuser コマンドでユーザー名を設定してください。

KDENV20015-E

System Error Occurred. 'JP1/Cm2/NC - Manager' service Status reporting to SCM failed.

システムエラーが発生しました。'JP1/Cm2/NC - Manager' サービスを SCM に通知するときに失敗しました。

SCM への JP1/Cm2/NC - Manager サービスの通知に失敗しました。

(S)

JP1/Cm2/NC - Manager の起動を中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV20016-E

Incorrect Manager database version.

マネージャデータベースバージョンが不正です。

マネージャーデータベースのバージョンが不正です。

(S)

JP1/Cm2/NC - Manager の起動を中止します。

(O)

旧バージョンからバージョンアップした場合、ncmconvertdb コマンドでデータベースの形式を今バージョンの形式に変換してください。

KDENV20100-E

An attempt to create the table: **テーブル名称** has failed.

テーブル：**テーブル名称**の生成に失敗しました。

ISAM データベースの作成中にエラーが発生しました。エラー要因として次の関連メッセージを出力します。

<関連メッセージ>

KDENV20101-E , KDENV20106-E , KDENV20107-E

(S)

コマンドを中止します。

(O)

関連メッセージで出力されるエラー要因を取り除いてから、コマンドを再度実行してください。

KDNV20101-E

An unrecoverable ISAM system error occurred.

回復できない ISAM システムエラーが発生しました。

回復できない ISAM システムエラーが発生しました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV20102-I

A manager database schema was created.

マネージャーデータベーススキーマを作成しました。

マネージャーデータベーススキーマを作成しました。

(S)

マネージャーデータベーススキーマを作成します。

KDNV20103-E

The installation path could not be acquired.

インストールパスが取得できません。

インストールパスが取得できません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV20104-E

The ISAM database environment could not be initialized.

ISAM データベースが初期化できません。

ISAM データベースが初期化できません。

(S)

コマンドを中止します。

3. メッセージ

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV20105-E

The ISAM database could not be connected.

ISAM データベースに接続できません。

ISAM データベースに接続できません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV20106-E

A memory error occurred while creating the ISAM database.

ISAM データベースの生成中にメモリーエラーが発生しました。

ISAM データベースの生成中にメモリーエラーが発生しました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV20107-E

The ISAM database error occurred.

ISAM データベースエラーが発生しました。

ISAM データベース作成中にエラーが発生しました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

JP1/Cm2/NC - Manager のメモリーおよびディスク容量を見直して再度実行してください。

KDNV20108-E

An exception: **例外名称** occurred. (**例外発生箇所**)

例外 : **例外名称**が発生しました (**例外発生箇所**)。

メモリー不足のため、例外 : **例外名称**が発生しました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV20109-E

Table: **テーブル名** already exists in the ISAM database.テーブル : **テーブル名**はすでに ISAM データベースにあります。テーブル : **テーブル名**はすでに ISAM データベースにあります。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV20110-E

The value of the key: **キー名** could not be acquired from registry.レジストリーからキー : **キー名**の値が取得できません。レジストリーからキー : **キー名**の値が取得できません。

レジストリーキーが定義されていないおそれがあります。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV20111-E

A user without administrator permissions attempted to execute the command.

コマンドが管理者権限で実行されていません。

コマンドが管理者権限で実行されていません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

管理者コンソールから実行してください。

KDNV20201-E

ISAM System Error occurred.

ISAM システムエラーが発生しました。

ISAM システムエラーが発生しました。

(S)

処理を続行します。

3. メッセージ

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV20202-E

Error occurred in ISAM database.

ISAM データベースにエラーが発生しました。

ISAM データベースにエラーが発生しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

エラーになった操作を再実行してください。エラーが回復しないようであれば、システム管理者に連絡してください。

KDENV20203-E

ISAM Error occurred: エラー番号 .

ISAM エラー番号エラー番号。

ISAM エラーが発生しました。エラー番号はエラー番号です。

(S)

処理を続行します。

(O)

エラーになった操作を再実行してください。エラーが回復しないようであれば、システム管理者に連絡してください。

KDENV20301-E

An unrecoverable exception occurred.

回復できない例外が発生しました。

回復できない例外が発生しました。

(S)

JP1/Cm2/NC - Manager を停止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV20302-E

The database update time could not be set.

データベース更新時刻が設定できません。

データベース更新時刻が設定できません。

(S)

JP1/Cm2/NC - Manager の起動を中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV20321-E

A memory error occurred. Exception: **例外名** Location: **発生個所**

メモリーエラーが発生しました。例外：**例外名** 発生個所：**発生個所**
メモリーエラーが発生しました。

(S)

JP1/Cm2/NC - Manager を停止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV20404-E

Switch '**スイッチ名**' already exists.

スイッチ '**スイッチ名**' はすでに存在しています。

'**スイッチ名**' で示すスイッチが複数の JP1/Cm2/NC - Adaptor で管理されています。

(S)

'**スイッチ名**' で示すスイッチは、最初に JP1/Cm2/NC - Manager と接続した JP1/Cm2/NC - Adaptor が管理しているものとして、処理を続行します。

(O)

JP1/Cm2/NC - Adaptor のスイッチ定義ファイルを見直してください。

KDENV20500-E

The directory: **ディレクトリ名** is invalid.

ディレクトリ：**ディレクトリ名**が不正です。

ディレクトリ：**ディレクトリ名**が不正です。

(S)

JP1/Cm2/NC - Manager の起動を中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV20501-E

The value of the key: **キー名** could not be acquired.

キー：**キー名**の値が取得できません。

キー：**キー名**の値が取得できません。出力される**キー名**ごとの要因を次に示します。

3. メッセージ

キー名

- Adaptor Name : JP1/Cm2/NC - Manager 接続アダプター定義ファイル (ncmadpt.conf) にアダプター名が設定されていない。
- User Name : ncmuser コマンドでユーザー名が設定されていない。
- Password : ncmuser コマンドでパスワードが設定されていない。
- Manager Port Number : JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf) に JP1/Cm2/NC - Manager が使用するポート番号が設定されていない。
- pdu_assemble_timer : 非公開のファイルのパラメーターである。

(S)

JP1/Cm2/NC - Manager の起動を中止します。

(O)

キー名ごとの要因に示す設定を確認してください。キー名に pdu_assemble_timer が出力された場合は、システム管理者に連絡してください。

KDENV20505-E

Last line of **ファイル名** file does not end with line break character.

ファイル名ファイルの最後に改行がありません。

ファイル名の定義ファイルの最後に改行がないため、起動を中止しました。

(S)

JP1/Cm2/NC -Manager の起動を中止します。

(O)

定義ファイルの最後に改行を追加してください。

KDENV20600-E

クライアントタイプ communication error occurred.

通信エラーが発生しました。通信先：**クライアントタイプ**

クライアントタイプへの通信で、通信エラーが発生しました。

クライアントタイプには、接続相手が表示されます。

アダプターの場合にはアダプター名、アダプター以外の場合には IP アドレスが表示されます。

(S)

通信コネクションを切断します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV20602-E

Error occurred while writing to View client socket.

View クライアントソケット書き込み中にエラーが発生しました。

View クライアントソケット書き込み中にエラーが発生しました。

(S)

通信コネクションを切断します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV20603-E

Socket communication error due to the exception **例外の詳細** at **例外場所** .

例外場所の例外**例外の詳細**によって通信エラーが発生しました。

例外場所の例外**例外の詳細**によって通信エラーが発生しました。

(S)

通信コネクションを切断します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV20604-I

クライアント名 Socket on Manager side closed.

ソケット**クライアント名**をクローズしました。

ソケット**クライアント名**をクローズしました。

(S)

処理を続行します。

KDENV20610-E

Invalid data was received from the adaptor.

アダプターから不正なデータを受信しました。

JP1/Cm2/NC - Adaptor から不正なデータを受信しました。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor との接続を切断します。

(O)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を再起動し、再度操作し直してください。それでも同じメッセージが出力される場合は、システム管理者に連絡してください。

KDENV20700-I

Database version:

データベースバージョン :

ISAM データベースのバージョンを表示します。

3. メッセージ

(S)

ncmconvertdb コマンドを終了します。

KDNV20701-I

The conversion of database was completed.

データベースの変換が完了しました。

データベースの変換が成功して終了しました。

(S)

ncmconvertdb コマンドを終了します。

KDNV20702-E

usage : ncmconvertdb { -c | -v } [{ -d DB backup destination directory name | -nb}]

usage : ncmconvertdb { -c | -v } [{ -d DB backup destination directory name | -nb}]

ncmconvertdb コマンドの使用方法を表示します。

(S)

ncmconvertdb コマンドを終了します。

KDNV20703-E

オプション option is invalid.

オプションオプションは無効です。

ユーザーによって指定されたオプションは無効です。

(S)

ncmconvertdb コマンドを終了します。

(O)

コマンドの出力メッセージに従って、オプションの指定方法をチェックしてください。

KDNV20704-E

ncmconvertdb aborted. Reason: Unknown Exception occurred.

ncmconvertdb を中止しました。理由：未知の例外が発生しました。

未知の例外が発生したため、ncmconvertdb コマンドを中止しました。

(S)

ncmconvertdb コマンドを終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV20705-E

An attempt to get the installation path from the registry has failed. Invalid registry Path= **レジストリーパス**

レジストリーからのインストールパス取得に失敗しました。無効なレジストリーパス = **レジストリーパス**

レジストリーに登録されたインストールパス取得中に、エラーが発生しました。

(S)

nmcconvertdb コマンドを終了します。

(O)

レジストリーのインストールパスをチェックしてください。

KDNV20706-E

The ISAM database environment could not be initialized. Reason: **ISAM エラーメッセージ**

ISAM データベースを初期化できません。理由: **ISAM エラーメッセージ**

ISAM データベースの初期化処理中にエラーが発生しました。

(S)

nmcconvertdb コマンドを終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV20707-E

The ISAM database could not be connected. Reason: **ISAM エラーメッセージ**

ISAM データベースに接続できません。理由: **ISAM エラーメッセージ**

ISAM データベースへのアクセス処理でエラーが発生しました。

(S)

nmcconvertdb コマンドを終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV20708-E

Database error occurred. Reason: **API コール** failed. Error Code: **エラーコード**

データベースエラーが発生しました。理由: **API コール**に失敗しました。エラーコード: **エラーコード**

nmcconvertdb コマンドの処理中に、データベースエラーが発生しました。

API コールには、エラーが発生した API コールの名前が表示されます。

エラーコードには、API のエラーコードが表示されます。

3. メッセージ

(S)

ncmconvertdb コマンドを終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV20709-E

ncmconvertdb aborted. Reason: An attempt to create the table **テーブル名** has failed.

ncmconvertdb を中止しました。理由：**テーブル名**テーブルの生成に失敗しました。

データベースのテーブル作成処理でエラーが発生しました。

テーブル名には、エラーが発生したテーブル名が表示されます。

(S)

ncmconvertdb コマンドを終了します。

(O)

1. アプリケーションパスにすでにテーブルが存在していないかどうか、確認してください。
2. システム管理者に連絡してください。

KDENV20710-E

ncmconvertdb aborted. Reason: ISAM database system error occurred.

ncmconvertdb を中止しました。理由：ISAM データベースシステムエラーが発生しました。

ncmconvertdb コマンド処理中にシステムエラーが発生しました。

(S)

ncmconvertdb コマンドを終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV20711-E

ncmconvertdb aborted. Reason: The specified key already exists in table **テーブル名**.

ncmconvertdb を中止しました。理由：入力したキーはすでに**テーブル名**テーブルに存在します。

入力された情報は、すでにテーブル内にあります。

テーブル名には、エラーが発生したテーブル名が表示されます。

(S)

ncmconvertdb コマンドを終了します。

(O)

アプリケーションパスのデータベーステーブルをすべて削除したあとで、ncmconvertdb コマンドを再実行してください。

KDNV20712-E

ncmconvertdb aborted. Reason: **テーブル名** table does not exist.

ncmconvertdb を中止しました。理由：**テーブル名**テーブルが見つかりません。

アプリケーションパス内にテーブルが見つかりません。

テーブル名には、テーブル名が表示されます。

(S)

ncmconvertdb コマンドを終了します。

(O)

アプリケーションパス内のすべてのデータベーステーブルが存在しているかどうか
チェックしたあとで、ncmconvertdb コマンドを再実行してください。

KDNV20713-E

ncmconvertdb aborted. Reason: **テーブル名** table already exists.

ncmconvertdb を中止しました。理由：**テーブル名**テーブルがすでに存在します。

作成しようとしたテーブルは、アプリケーションパスにすでに存在しています。

テーブル名には、作成しようとしたテーブルのテーブル名が表示されます。

(S)

ncmconvertdb コマンドを終了します。

(O)

アプリケーションパスのデータベーステーブルをすべて削除したあとで、
ncmconvertdb コマンドを再実行してください。

KDNV20714-E

ncmconvertdb aborted. Reason: An Exception **例外名** occurred at **例外個所**.

ncmconvertdb を中止しました。理由：**例外名**例外が**例外個所**で発生しました。

ncmconvertdb の処理中に例外 (HccException) が、発生しました。

例外の詳細と例外個所はメッセージ中に表示されます。

例外名には、例外名称が表示されます。

例外個所には、例外が発生した位置が表示されます。

(S)

ncmconvertdb コマンドを終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV20715-E

ncmconvertdb aborted. Reason: **テーブル名** table format has changed.

3. メッセージ

nmcconvertdb を中止しました。理由：**テーブル名**テーブルの形式が変更されています。

テーブルの形式が変更されたため、処理を中止しました。

(S)

nmcconvertdb コマンドを終了します。

(O)

すべてのデータベースファイルを元の状態に戻したあとで、nmcconvertdb コマンドを再実行してください。

KDNV20716-E

nmcconvertdb aborted. Reason: An attempt to delete the table: **テーブル名** has failed.

nmcconvertdb を中止しました。理由：**テーブル名**テーブルの削除に失敗しました。

テーブルの削除中にエラーが発生しました。

テーブル名には、削除しようとしたテーブル名が表示されます。

(S)

nmcconvertdb コマンドを終了します。

(O)

1. アプリケーションパスにテーブルが存在しているかどうか確認してください。
2. 問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

KDNV20717-E

nmcconvertdb aborted. Reason: Invalid database version.

nmcconvertdb を中止しました。理由：データベースバージョンは無効です。

NCM_DBVERSION テーブルのデータベースバージョンが不正です。

(S)

nmcconvertdb コマンドを終了します。

(O)

すべてのデータベースファイルを元の状態に戻したあとで、nmcconvertdb コマンドを再実行してください。

KDNV20718-E

nmcconvertdb aborted. Reason: Database backup failed.

nmcconvertdb を中止しました。理由：データベースのバックアップ処理に失敗しました。

データベースファイルのバックアップ処理中にエラーが発生しました。

(S)

nmcconvertdb コマンドを終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV20719-E

ncmconvertdb aborted. Reason: Directory path not specified.

ncmconvertdb を中止しました。理由：ディレクトリパスを指定していません。

ディレクトリパスを指定しないで、-d オプションを指定しました。

(S)

ncmconvertdb コマンドを終了します。

(O)

コマンドの出力メッセージに従って、オプションの指定方法を確認してください。

KDNV20720-E

ncmconvertdb aborted. Reason: Directory **ディレクトリ名** is invalid.

ncmconvertdb を中止しました。理由：ディレクトリ**ディレクトリ名**は不正です。

オプションで指定されたディレクトリパスが不正です。

(S)

ncmconvertdb コマンドを終了します。

(O)

正しいディレクトリパスを指定して、ncmconvertdb コマンドを再実行してください。

KDNV20721-E

ncmconvertdb aborted. Reason: Temporary directory not found.

ncmconvertdb を中止しました。理由：一時ディレクトリは見つかりません。

システムの一時的ディレクトリの検索中にエラーが発生しました。

(S)

ncmconvertdb コマンドを終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV20722-E

ncmconvertdb aborted. Reason: Backup directory **ディレクトリ名** creation failed.

ncmconvertdb を中止しました。理由：**ディレクトリ名**バックアップディレクトリの作成に失敗しました。

バックアップディレクトリの作成処理中にエラーが発生しました。

(S)

ncmconvertdb コマンドを終了します。

(O)

3. メッセージ

システム管理者に連絡してください。

KDNV20723-E

Database error occured. No record found in NCM_DBVERSION table.

データベースエラーが発生しました。NCM_DBVERSION テーブルにレコードが存在しません。
NCM_DBVERSION テーブル内のバージョン情報が存在しません。

(S)

nmcconvertdb コマンドを終了します。

(O)

1. アプリケーションパスに古いデータベーステーブルがすべて存在しているかどうか確認してください。
2. 問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

KDNV20724-E

System user does not have administrator rights.

システムユーザーは管理者権限を持っていません。
管理者権限を持つユーザーでログインしていません。

(S)

nmcconvertdb コマンドを終了します。

(O)

システム管理者権限を持つユーザーで再ログインして、nmcconvertdb コマンドを再実行してください。

KDNV20725-E

nmcconvertdb aborted. Reason: Database version is **バージョン**.

nmcconvertdb を中止しました。理由：データベースバージョンは**バージョン**です。
データベースのバージョンはすでに最新バージョンに更新されています。

(S)

nmcconvertdb コマンドを終了します。

KDNV20726-E

nmcconvertdb aborted. Reason: Error has occurred while accessing the table
NCM_SWTH_CONFIG.

nmcconvertdb を中止しました。理由：NCM_SWTH_CONFIG のアクセス中にエラーが発生しました。

NCM_SWTH_CONFIG のアクセス中にエラーが発生しました。

(S)

ncmconvertdb コマンドを終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV20727-E

ncmconvertdb aborted.

ncmconvertdb を中止しました。

データベースをバックアップするときに、「上書きしますか (y/n)?」の問い合わせに対して「n」と入力したため、変換処理を中止しました。

(S)

ncmconvertdb コマンドを終了します。

(O)

データベースファイルのバックアップ先にある「¥jplcm2ncm¥db」ディレクトリを別のディレクトリに退避したあと削除し、コマンドを再実行してください。

KDENV20728-E

The value of the key: **キー名** could not be acquired from registry.

レジストリーからキー：**キー名**の値が取得できません。

レジストリーからキー：**キー名**の値が取得できません。

レジストリーキーが定義されていないおそれがあります。

(S)

ncmconvertdb コマンドを終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV20729-E

A user without administrator permissions attempted to execute the command.

コマンドが管理者権限で実行されていません。

コマンドが管理者権限で実行されていません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

管理者コンソールから実行してください。

KDENV20800-E

The user name is invalid. The user name should not contain the following characters: *"/

¥[]{}():.;|=,+?<><tab>or space.

3. メッセージ

ユーザー名が不正です。ユーザー名には "*"/*[]{}();|=,+?<><tab> やスペース以外の文字を入力してください。

指定したユーザー名が不正です。ユーザー名に指定できるのは "*"/*[]{}();|=,+?<><tab> やスペース以外の文字です。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

正しい文字を入力してください。

KDNV20801-E

The password is invalid. The password should not contain the following characters: "*"/*[]{}();|=,+?<><tab> or space.

パスワードが不正です。パスワードには "*"/*[]{}();|=,+?<><tab> やスペース以外の文字を入力してください。

指定したパスワードが不正です。パスワードに指定できるのは "*"/*[]{}();|=,+?<><tab> やスペース以外の文字です。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

正しい文字を入力してください。

KDNV20802-E

The user name or old password does not match.

ユーザー名または古いパスワードが一致していません。

指定したユーザー名とパスワードが一致していません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

有効なパスワードを指定してください。

KDNV20803-I

The password length is invalid.

パスワード長が不正です。

指定したパスワード長が不正です。パスワードは 6 ~ 32 バイトの範囲で指定してください。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

正しい長さのパスワードを指定してください。

KDENV20804-I

The length of user name must be between 1-31 bytes.

ユーザー名は 1-31 バイトの範囲で指定してください。

指定したユーザー名長が不正です。ユーザー名は 1 ~ 31 バイトの範囲で指定してください。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

正しい長さのユーザー名を指定してください。

KDENV20805-I

The user name already exists.

ユーザー名はすでにあります。

指定したユーザー名はすでにあります。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

異なるユーザー名を指定してください。

KDENV20806-E

The user name does not exist.

ユーザー名がありません。

指定したユーザー名がありません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

有効なユーザー名を指定してください。

KDENV20807-E

The passwords do not match.

パスワードが一致していません。

パスワードと再入力パスワードが一致していません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

3. メッセージ

正しいパスワードを入力してください。

KDENV20808-E

The installation path could not be acquired from the registry.

レジストリーからインストールパスを取得できません。

レジストリーからインストールパスが取得できません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV20809-E

The user name could not be deleted.

ユーザー名が削除できません。

ユーザー名が削除できません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

時間を置いてコマンドを再度実行してください。それでも失敗する場合はシステム管理者に連絡してください。

KDENV20810-I

The user name can include only lowercase letters.

ユーザー名に指定できるのは小文字だけです。

ユーザー名に小文字以外の文字が指定されました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

正しい文字を指定してください。

KDENV20811-E

The user name could not be modified.

ユーザー名が変更できません。

ユーザー名が変更できません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

時間を置いてコマンドを再度実行してください。それでも失敗する場合はシステム管理者に連絡してください。

KDNV20812-E

The user name could not be added.

ユーザー名が追加できません。

ユーザー名が追加できません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

時間を置いてコマンドを再度実行してください。それでも失敗する場合はシステム管理者に連絡してください。

KDNV20813-E

A parameter is invalid.

パラメーターが不正です。

パラメーターが不正です。エラー要因として次の関連メッセージを出力します。

<関連メッセージ>

KDNV20816-E , KDNV20817-E , KDNV20818-E , KDNV20819-E

(S)

コマンドを中止します。

(O)

エラー要因を取り除いてからコマンドを再度実行してください。

KDNV20814-E

The definition file could not be opened.

定義ファイルがオープンできません。

定義ファイルがオープンできません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV20815-E

An option is invalid.

オプションが不正です。

指定したオプションが不正です。

3. メッセージ

(S)

コマンドを中止します。

(O)

正しいオプションを指定してください。

KDNV20816-E

The user name is not specified.

ユーザー名が指定されていません。

ユーザー名が指定されていません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

ユーザー名を指定してください。

KDNV20817-E

[-np New_Password user_name] is not specified.

[-np New_Password user_name] が指定されていません。

[-np New_Password user_name] が指定されていません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

[-np New_Password user_name] を指定してください。

KDNV20818-E

[Current_Password -np New_Password user_name] is not specified.

[Current_Password -np New_Password user_name] が指定されていません。

[Current_Password -np New_Password user_name] が指定されていません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

[Current_Password -np New_Password user_name] を指定してください。

KDNV20819-E

[New_Password user_name] is not specified.

[New_Password user_name] が指定されていません。

[New_Password user_name] が指定されていません。

- (S)
コマンドを中止します。
- (O)
[New_Password user_name] を指定してください。

KDNV20820-E

The combination of options is invalid.

オプションの組み合わせが不正です。
オプションの組み合わせが不正です。

- (S)
コマンドを中止します。
- (O)
正しいオプションを指定してください。

KDNV20821-E

The lock could not be removed.

ロックが解放できません。
ロックが解放できません。

- (S)
コマンドを中止します。
- (O)
システム管理者に連絡してください。

KDNV20822-I

The lock was removed.

ロックが解放されました。
ロックが解放されました。

- (S)
ロックを解放します。

KDNV20823-I

Manager has stopped.

マネージャーが停止しました。
JP1/Cm2/NC - Manager が停止しました。

- (S)
コマンドを中止します。
- (O)

3. メッセージ

JP1/Cm2/NC - Manager を起動してから再度コマンドを実行してください。

KDNV20824-E

A memory error occurred.

メモリーエラーが発生しました。

メモリーエラーが発生しました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV20825-E

A communication error occurred.

通信エラーが発生しました。

通信エラーが発生しました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV20826-E

The value of the key: **キー名** could not be acquired from registry.

レジストリーからキー：**キー名**の値が取得できません。

レジストリーからキー：**キー名**の値が取得できません。

レジストリーキーが定義されていないおそれがあります。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV20827-E

A user without administrator permissions attempted to execute the command.

コマンドが管理者権限で実行されていません。

コマンドが管理者権限で実行されていません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

管理者コンソールから実行してください。

KDNV21000-E

A communication error occurred. (障害情報)

通信障害が発生しました。(障害情報)

JP1/Cm2/NC - Manager からの情報取得中に通信エラーが発生しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

障害要因を取り除いたあと、再実行してください。

KDNV21001-E

Manager has stopped.

マネージャーが停止しました。

情報取得中に JP1/Cm2/NC - Manager が停止しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

JP1/Cm2/NC - Manager サービスを再起動し、再実行してください。

KDNV21002-E

An attempt to connect to the manager has failed.

マネージャーとの接続に失敗しました。

JP1/Cm2/NC - Manager との接続に失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

JP1/Cm2/NC - Manager サービスが停止している場合は、サービスを起動し、再実行してください。

KDNV21005-E

An input data format is invalid.

入力データの形式が不正です。

構成情報要求の標準入力データの形式が不正です。

(S)

処理を終了します。

3. メッセージ

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV21006-E

An input data format is not supported. (保守情報)

入力データの形式は未サポートです。(保守情報)

サポートしていないフォーマットバージョンやサポートしていない情報取得要求を受け付けました。

(S)

処理を終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV21007-E

The installation path could not be acquired from the registry.

レジストリーからインストールパスを取得できません。

インストールディレクトリの取得に失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV21008-E

An attempt to analyze the definition file has failed. (file name = 定義ファイル名)

定義ファイルの解析に失敗しました。定義ファイル名：定義ファイル名

定義ファイルのオープンに失敗したり、パラメーターが不正だったりして、定義ファイルが解析できませんでした。

(S)

処理を終了します。

(O)

定義ファイルの記述を確認してください。

KDNV21009-E

The manager rejected a connection request. (reason = 理由コード)

マネージャーから接続を拒否されました。理由：理由コード

JP1/Cm2/NC - Manager から接続を拒否されました。

(S)

処理を終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV21010-E

An attempt to get the data from the manager has failed. (reason = **理由コード**)

マネージャーからのデータ取得に失敗しました。理由：**理由コード**

JP1/Cm2/NC - Manager からの構成情報の取得に失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV21011-E

Invalid data was received. (**エラー情報**)

不正なデータを受信しました。**エラー情報**

PDU のフォーマットが誤っています。

(S)

処理を終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV21012-E

An error occurred in the XML parser.

XML パーサーでエラーが発生しました。

XML パーサーでのデータ処理に失敗しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV21013-E

An error occurred in a system call. (**システムコール名, 戻り値, エラー詳細**)

システムコールでエラーが発生しました。(**システムコール名, 戻り値, エラー詳細**)

システムコールエラーが発生しました。

(S)

3. メッセージ

処理を終了します。

(O)

このメッセージが繰り返し出力される場合は、システム管理者に連絡してください。

KDENV21014-E

A fatal error occurred. (エラー情報)

続行できない障害が発生しました。(エラー情報)

内部処理エラーが発生しました。

(S)

処理を終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV21017-E

The value of the key: **キー名** could not be acquired from registry.

レジストリーからキー：**キー名**の値が取得できません。

レジストリーからキー：**キー名**の値が取得できません。

レジストリーキーが定義されていないおそれがあります。

(S)

処理を終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV21100-E

API 名 API call failed. Error status: **状態コード** .

API 名 API の呼び出しに失敗しました。エラー状態 **状態コード**。

イベントサービスの API でエラーが発生しました。

(S)

イベントサービスを初期化するときこのエラーが発生した場合は、JP1 イベントの通知機能を無効にして処理を続行します。JP1 イベントを送信するとき発生した場合は、送信しようとしたイベントを破棄して処理を続行します。

(O)

このメッセージが繰り返し出力される場合は、システム管理者に連絡してください。

KDENV21102-E

Event service system error occurred.

イベントサービスでシステムエラーが発生しました。

イベントサービスでシステムエラーが発生しました。

(S)

イベントサービスを初期化するときにこのエラーが発生した場合は、JP1 イベントの通知機能を無効にして処理を続行します。JP1 イベントを送信するときに発生した場合は、送信しようとしたイベントを破棄して処理を続行します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV21103-E

Unable to connect to event service.

イベントサービスとの接続に失敗しました。

JP1/Base イベントサービスが起動していないため、JP1 イベントを発行できません。

(S)

イベントサービスを初期化するときにこのエラーが発生した場合は、JP1 イベントの通知機能を無効にして処理を続行します。JP1 イベントを送信するときに発生した場合は、送信しようとしたイベントを破棄して処理を続行します。

(O)

JP1/Base イベントサービスを起動してください。

KDNV21104-E

An error occurred while initializing the event service.

イベントサービスの設定処理中に例外が発生しました。

イベントサービスの設定処理中に例外が発生しました。

(S)

イベントサービスを初期化するときにこのエラーが発生した場合は、JP1 イベントの通知機能を無効にして処理を続行します。JP1 イベントを送信するときに発生した場合は、送信しようとしたイベントを破棄して処理を続行します。

(O)

このメッセージが繰り返し出力される場合は、システム管理者に連絡してください。

KDNV21105-W

An attempt to initialize event service has failed.

イベントサービスの初期化に失敗しました。

JP1/Cm2/NC・Manager の起動時、イベントサービスの初期化に失敗しました。

(S)

JP1 イベントの通知機能を無効にして処理を続行します。

(O)

3. メッセージ

ログに出力されているエラーの内容を表すメッセージを参照してください。

3.5.3 JP1/Cm2/NC - Adaptor のメッセージ (KDNV30000 ~ KDNV39999)

JP1/Cm2/NC - Adaptor が出力するメッセージの一覧を次に示します。

アダプター種別は、アダプターの種類によって出力内容が変わります。次にアダプターの種類とメッセージでの表記を示します。

表 3-8 アダプターの種類とメッセージでの表記

アダプターの種類	メッセージでの表記
JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series	AX アダプター (AX adaptor)
JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer	BI アダプター (BI adaptor)
JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series	BS アダプター (BS adaptor)
JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch	CS アダプター (CS adaptor)
JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series	GS アダプター (GS adaptor)
JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal	LF アダプター (LF adaptor)
JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager	ST アダプター (ST adaptor)

KDNV30000-E

An attempt to acquire the installation path has failed.

インストールパスの取得に失敗しました。

サービスの起動時、JP1/Cm2/NC - Adaptor のインストールパスの取得に失敗しました。

(S)

サービスの起動を中止します。

(O)

JP1/Cm2/NC - Adaptor のインストールが正常に終了しているかを確認し、中断などが発生している場合は再インストールしてください。インストールが正常に終了している場合は、システム管理者に連絡してください。

KDNV30001-E

A connection to the service manager could not be established. (エラー情報)

サービス制御マネージャーに接続できません。(エラー情報)

サービスの起動時、サービス制御マネージャーとの接続に失敗しました。

(S)

サービスの起動を中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV30002-E

An attempt to report to the service manager has failed.

サービス制御マネージャーへの通知に失敗しました。

JP1/Cm2/NC - Adaptor サービスの起動状態の通知に失敗しました。

(S)

サービスの起動を中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV30003-E

An error occurred in a system call. (システムコール名, エラー番号, エラー番号)

システムコールでエラーが発生しました。(システムコール名, エラー番号, エラー番号)

サービスの起動時, システムコールでエラーが発生しました。

(S)

サービスの起動を中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV30004-E

An attempt to start the service has failed.

サービスの起動に失敗しました。

JP1/Cm2/NC - Adaptor のプロセスの起動に失敗しました。

(S)

サービスの起動を中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV30005-E

A control handle could not be registered in the service manager. (エラー情報)

サービス制御マネージャーに制御ハンドルを登録できません。(エラー情報)

JP1/Cm2/NC - Adaptor のプロセスの起動に失敗しました。

(S)

サービスの起動を中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV30006-E

An event handle could not be registered in the service manager.

サービス制御マネージャーにイベントハンドルを登録できません。
JP1/Cm2/NC - Adaptor のプロセスの起動に失敗しました。

(S)

サービスの起動を中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV30030-E

An attempt to set up HNTRLlib2 has failed. (理由コード)

HNTRLlib2 の初期設定に失敗しました。(理由コード)

サービスの起動時、HNTRLlib2 の初期設定に失敗しました。

理由コードには次に示すコードが表示されます。

- 1: メモリー不足
- 2: パス名取得失敗
- 3: 統合ログ設定失敗
- 4: 詳細ログ設定失敗
- 5: 内部エラー

(S)

サービスの起動を中止します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV30050-E

An attempt to open the ncaswitch.conf file has failed.

ncaswitch.conf ファイルのオープンに失敗しました。

JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンド (ncaaxpwd, ncabipwd など) の初期化処理中にスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) のオープンに失敗しました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

該当するアダプターのスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) があるかを確認してください。ファイルがない場合は、該当するアダプターの JP1/Cm2/NC - Adaptor インストール先フォルダ %newconfig 配下の ncaswitch.conf ファイルを、JP1/Cm2/NC - Adaptor インストール先フォルダ %config 配下にコピーして、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) を設定してください。

KDNV30051-E

The format of the ncaswitch.conf file is invalid. (line = **行番号**)

ncaswitch.conf ファイルのフォーマットが不正です。(行: **行番号**)

JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンド (ncaaxpwd , ncabipwd など) の初期化処理中にスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) のフォーマット不正 (**行番号**行目) を発見しました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

1 行が長過ぎる, または, 重複したスイッチ名称を記述しているなどのおそれがあります。該当するアダプターのスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) の記述内容を確認してください。

KDNV30052-E

The format of the ncaswitch.conf file is invalid. (line = **行番号**, switch name = **スイッチ名称**)

ncaswitch.conf ファイルのフォーマットが不正です。(行: **行番号**, スイッチ名称: **スイッチ名称**)

JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンド (ncaaxpwd , ncabipwd など) の初期化処理中にスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) のフォーマット不正 (スイッチ名称: **スイッチ名称**) を発見しました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

スイッチ名称が長過ぎるなどのおそれがあるので, 該当するアダプターのスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) の記述内容を確認してください。

KDNV30053-E

An attempt to open the password file has failed.

パスワードファイルのオープンに失敗しました。

JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンド (ncaaxpwd , ncabipwd など) の初期化処理中にパスワードファイルのオープンに失敗しました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

該当するアダプターの JP1/Cm2/NC - Adaptor インストール先フォルダ %config 配下のすべてのファイルを削除したあと, JP1/Cm2/NC - Adaptor インストール先フォルダ %newconfig 配下のすべてのファイルを, JP1/Cm2/NC - Adaptor インストール先

3. メッセージ

フォルダ $\%config$ 配下にコピーし、初めからすべて設定し直してください。

KDENV30054-E

The format of the password file is invalid.

パスワードファイルのフォーマットが不正です。

JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンド (ncaaxpwd , ncabipwd など) の初期化処理中にパスワードファイルのフォーマット不正を発見しました。または、パスワードファイルの読み込みに失敗しました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

該当するアダプターの JP1/Cm2/NC - Adaptor インストール先フォルダ $\%config$ 配下のすべてのファイルを削除したあと、JP1/Cm2/NC - Adaptor インストール先フォルダ $\%newconfig$ 配下のすべてのファイルを、JP1/Cm2/NC - Adaptor インストール先フォルダ $\%config$ 配下にコピーし、初めからすべて設定し直してください。

KDENV30055-E

An attempt to update the password file has failed.

パスワードファイルへの書き込みに失敗しました。

JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンド (ncaaxpwd , ncabipwd など) の終了処理中にパスワードファイルへの書き込みに失敗しました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

コマンドを再実行してください。再実行してもエラーが表示される場合は、該当するアダプターの JP1/Cm2/NC - Adaptor インストール先フォルダ $\%config$ 配下のすべてのファイルを削除したあと、JP1/Cm2/NC - Adaptor インストール先フォルダ $\%newconfig$ 配下のすべてのファイルを、JP1/Cm2/NC - Adaptor インストール先フォルダ $\%config$ 配下にコピーし、初めからすべての設定し直してください。

KDENV30060-E

The option [オプション名] is invalid.

オプション [オプション名] が不正です。

JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンド (ncaaxpwd , ncabipwd など) で指定されたオプション (オプション名) が不正です。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド」に記載されている、該当するパスワード設定用コマンド（ncaaxpwd, ncabipwd など）の説明を参考にして、コマンドを再実行してください。

KDENV30061-E

The option argument is invalid.

オプション引数が不正です。

JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンド（ncaaxpwd, ncabipwd など）で指定されたオプション引数が不正です。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド」に記載されている、該当するパスワード設定用コマンド（ncaaxpwd, ncabipwd など）の説明を参考にして、コマンドを再実行してください。

KDENV30062-E

The combination of the options is invalid.

オプションの組み合わせが不正です。

JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンド（ncaaxpwd, ncabipwd など）で指定されたオプションの組み合わせが不正です。またはオプションの引数の指定がありません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド」に記載されている、該当するパスワード設定用コマンド（ncaaxpwd, ncabipwd など）の説明を参考にして、コマンドを再実行してください。

KDENV30063-E

The switch name is too long.

スイッチ名称が長過ぎます。

JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンド（ncaaxpwd, ncabipwd など）のオプション引数で指定されたスイッチ名称が長過ぎます。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

3. メッセージ

スイッチ名称に 255 バイト以内の文字列を指定して、コマンドを再実行してください。

KDENV30064-E

The entered switch name is not in the ncaswitch.conf file.

入力されたスイッチ名称は ncaswitch.conf ファイルにありません。

JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンド (ncaaxpwd , ncabipwd など) の引数で指定されたスイッチ名称は、該当するアダプターのスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) にありません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

指定したスイッチ名称があるかどうか、該当するアダプターのスイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) の記述内容を確認してください。

KDENV30065-E

The password is too long.

パスワードが長過ぎます。

JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンド (ncaaxpwd , ncabipwd など) の引数で指定されたパスワードが長過ぎます。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

パスワードには 128 バイト以内の文字列を指定して、コマンドを再実行してください。

KDENV30066-E

The password is already defined.

すでにパスワードがあります。

JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンド (ncaaxpwd , ncabipwd など) で指定されたスイッチには、すでにパスワードがあるため、新しいパスワードを登録できません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

パスワードを変更したり、削除したりしたい場合は、マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド」に記載されている、該当するパスワード設定用コマンド (ncaaxpwd , ncabipwd など) の説明を参考にして、コ

マンドを再実行してください。

KDENV30067-E

The entered password and the current password do not match.

入力パスワードと現在のパスワードが一致しません。

JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンド (ncaaxpwd , ncabipwd など) の引数で指定されたパスワードと、現在のパスワードが一致しないため、パスワードを変更できません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

現在のパスワードを指定してコマンドを再実行してください。現在のパスワードを忘れてしまった場合は、パスワードを削除したあと、新しいパスワードを登録してください。パスワード設定用コマンド (ncaaxpwd , ncabipwd など) についてはマニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド」を参照してください。

KDENV30070-E

A memory shortage occurred.

メモリーの確保に失敗しました。

JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンド (ncaaxpwd , ncabipwd など) の実行に必要なメモリーの確保に失敗しました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

不要なアプリケーションを終了したあとで、コマンドを再実行してください。再実行してもエラーが表示される場合は、メモリーを増設してください。

KDENV30071-E

An attempt to acquire the installation path has failed.

インストールディレクトリの取得に失敗しました。

JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンド (ncaaxpwd , ncabipwd など) の実行に必要なインストールディレクトリ情報の取得に失敗しました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

コマンドを再実行してください。再実行してもエラーが表示される場合は、JP1/Cm2/NC - Adaptor のインストールが正常に終了していなかったおそれがあります。

3. メッセージ

JP1/Cm2/NC - Adaptor を再インストールしてください。

KDENV30080-E

A user without administrator permissions attempted to execute the command.

コマンドが管理者権限で実行されていません。

コマンドが管理者権限で実行されていません。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

管理者コンソールから実行してください。

KDENV30081-E

An error occurred in 関数名 . (エラー番号 , エラー要因 , 付加情報)

関数名でエラーが発生しました。(エラー番号 , エラー要因 , 付加情報)

関数名関数でエラーが発生しました。

(S)

コマンドを中止します。

(O)

このメッセージが繰り返し出力される場合は、システム管理者に連絡してください。

KDENV30082-W

An error occurred in 関数名 . (エラー番号 , エラー要因 , 付加情報)

関数名でエラーが発生しました。(エラー番号 , エラー要因 , 付加情報)

関数名関数でエラーが発生しました。

(S)

処理を続行します。

(O)

このメッセージが繰り返し出力される場合は、システム管理者に連絡してください。

KDENV30090-W

The entered value is invalid.

入力値が不正です。

JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンド (ncaaxpwd , ncabipwd など) の処理中に入力された値が不正なので、値の再入力を要求します。

(S)

コマンドを続行します。

(O)

指定できる値を入力してください。

KDENV30091-W

The entered password and the current password do not match.

入力パスワードと現在のパスワードが一致しません。

JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンド (ncaaxpwd , ncabipwd など) の処理中に入力されたパスワードと、現在のパスワードが一致しないため、パスワードを変更できません。

(S)

パスワード変更を試みたスイッチのパスワードを変更しないで、コマンドを続行します。

(O)

再実行する場合は、現在のパスワードを正しく入力してください。現在のパスワードを忘れてしまった場合は、パスワードを削除したあと、新しいパスワードを登録してください。パスワード設定用コマンド (ncaaxpwd , ncabipwd など) についてはマニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド」を参照してください。

KDENV30092-W

The new password and the re-entered password do not match.

新しいパスワードと再入力パスワードが一致しません。

JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンド (ncaaxpwd , ncabipwd など) の処理中に入力された新しいパスワードと、再入力されたパスワードが一致しないため、パスワードを変更できません。

(S)

パスワード変更を試みたスイッチのパスワードを変更しないで、コマンドを続行します。

(O)

再実行する場合は、入力した新しいパスワードと、再入力パスワードが一致するように正しく入力してください。

KDENV30100-I

The **アダプター種別** has started.

アダプター種別を起動しました。

アダプター種別が起動しました。

(S)

処理を続行します。

KDENV30101-E

An attempt to start the **アダプター種別** has failed.

アダプター種別の起動に失敗しました。

アダプター種別の起動に失敗しました。

(S)

アダプター種別を終了します。

(O)

ログに出力されているエラーの内容を表すメッセージを参照してください。発生したエラーに対処したあと、**アダプター種別**を再起動してください。

KDENV30102-I

The **アダプター種別** terminated normally.

アダプター種別を停止しました。

アダプター種別が正常に終了しました。

(S)

アダプター種別を終了します。

KDENV30103-E

The **アダプター種別** terminated abnormally.

アダプター種別が異常終了しました。

アダプター種別が異常終了しました。

(S)

アダプター種別を終了します。

(O)

ログに出力されているエラーの内容を表すメッセージを参照してください。発生したエラーに対処したあと、**アダプター種別**を再起動してください。

KDENV30104-E

A memory shortage occurred. (**プロセス名**)

メモリー不足が発生しました。(**プロセス名**)

メモリーの確保に失敗しました。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

次に示すどちらかの対処を実施してください。

- 不要なアプリケーションを終了してサービスを再起動してください。
- 仮想メモリーの領域を増やすか、またはメモリーを増設してください。

KDNV30106-E

An attempt to obtain the product version has failed.

製品バージョンの取得に失敗しました。

JP1/Cm2/NC - Adaptor の初期化に失敗しました。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

JP1/Cm2/NC - Adaptor のインストールが正常に終了しているかを確認し、中断などが発生している場合は再インストールしてください。インストールが正常に終了している場合は、システム管理者に連絡してください。

KDNV30108-E

An attempt to acquire the installation path has failed.

インストールパスの取得に失敗しました。

JP1/Cm2/NC - Adaptor の初期化に失敗しました。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

JP1/Cm2/NC - Adaptor のインストールが正常に終了しているかを確認し、中断などが発生している場合は再インストールしてください。インストールが正常に終了している場合は、システム管理者に連絡してください。

KDNV30109-E

An attempt to open the definition file has failed. (file name = **定義ファイル名**)

定義ファイルのオープンに失敗しました。定義ファイル名：**定義ファイル名**

定義ファイルのオープンに失敗しました。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

ファイルシステムでエラーが発生していないか確認してください。問題が解決しない場合は、システム管理者に連絡してください。

KDNV30110-E

A line in the definition file has too many characters. (file name = **定義ファイル名**, line = **行番号**)

定義ファイルの一行の文字数が長過ぎます。定義ファイル名：**定義ファイル名** 行：**行番号**

定義ファイルの 1 行に記述している文字数が長過ぎます。

3. メッセージ

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

1 行に記述する文字数は、1,024 文字以内にしてください。

KDNDV30111-E

A specification in the definition file is invalid. (file name : **定義ファイル名**, section name : **セクション名**, specification : **エラーのあったキーワード名と値**)

定義ファイルの指定が不正です。定義ファイル名 : **定義ファイル名** セクション名 : **セクション名** 項目 : **エラーのあったキーワード名と値**

定義ファイルの記述に誤りがあります。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

定義ファイルの記述を確認してください。

KDNDV30112-E

An item required in the definition file is not specified. (file name : **定義ファイル名**, section name : **セクション名**, specification : **キー名**)

定義ファイルの必須項目が指定されていません。定義ファイル名 : **定義ファイル名** セクション名 : **セクション名** 項目 : **キー名**

定義ファイルの必須項目が指定されていません。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

定義ファイルの記述を確認してください。

KDNDV30114-E

An error occurred in a system call. (**システムコール名**, **エラー番号**, **エラー詳細**)

システムコールでエラーが発生しました。(**システムコール名**, **エラー番号**, **エラー詳細**)
システムコールエラーが発生しました。

(S)

このメッセージに続いて出力するメッセージの処理に従います。

このメッセージに続いて出力するメッセージがない場合は、処理を続行します。

(O)

このメッセージが繰り返し出力される場合は、システム管理者に連絡してください。

KDNV30116-E

The number of system call retries has reached the maximum.

システムコールの再試行回数が上限に達しました。

通信処理のシステムコールエラーに対する再試行回数が上限に達しました。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

このメッセージが繰り返し出力される場合は、システム管理者に連絡してください。

KDNV30118-E

A fatal error occurred. (**エラー情報**)

続行できない障害が発生しました。(**エラー情報**)

JP1/Cm2/NC - Adaptor の処理が続行できなくなりました。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV30125-E

The Winsock version is invalid. (major version = **winsock から返されたメジャーバージョン** ,
minor version = **winsock から返されたマイナーバージョン**)

winsock のバージョンが不正です。Major Version : **winsock から返されたメジャーバージョン** ,
Minor Version : **winsock から返されたマイナーバージョン**

winsock のバージョンが JP1/Cm2/NC - Adaptor で使用するバージョンと異なるため、
通信処理ができません。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV30126-E

An attempt to set up HNTRLib2 has failed. (**理由コード**)

HNTRLib2 の初期設定に失敗しました。(**理由コード**)

HNTRLib2 の初期設定に失敗しました。

理由コードには次に示すコードが表示されます。

1 : メモリー不足

3. メッセージ

- 2: パス名取得失敗
- 3: 統合ログ設定失敗
- 4: 詳細ログ設定失敗
- 5: 内部エラー

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV30127-E

Processing will now stop because of invalid internal information. (internal ID = **内部識別子**)

内部情報不正によって処理を中断します。InternalID : **内部識別子**

処理が続行できなくなりました。

(S)

実行中の処理を中断します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV30128-E

An item required in the definition file is not specified. (file name : **定義ファイル名**, section name : **セクション名**, specification name : **キー名**, line : **行番号**)

定義ファイルの必須項目が指定されていません。定義ファイル名 : **定義ファイル名** セクション名 : **セクション名** 項目名 : **キー名** 行 : **行番号**

定義ファイルの記述に誤りがあります。指定する必要がある項目が、指定されていません。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

表示された必須項目を指定してサービスを再起動してください。

KDENV30129-E

A section name in the definition file is invalid. (file name : **定義ファイル名**, section name : **セクション名**, line : **行番号**)

定義ファイルのセクション名が不正です。定義ファイル名 : **定義ファイル名** セクション名 : **セクション名** 行 : **行番号**

定義ファイルの記述に誤りがあります。セクション名称が不正です。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

表示されたセクション名を正しく変更してサービスを再起動してください。

KDENV30130-E

An item specified in the definition file has already been specified. (file name : **定義ファイル名**, section name : **セクション名**, specification name : **キー名**, line : **行番号**)

定義ファイルの指定項目はすでに指定されています。定義ファイル名 : **定義ファイル名** セクション名 : **セクション名** 項目名 : **キー名** 行 : **行番号**

定義ファイルの記述に誤りがあります。同一の項目がセクション内で重複して指定されています。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

重複して指定している項目を削除し、正しく変更してサービスを再起動してください。

KDENV30131-E

The definition file contents are invalid. A specified value is too long. (file name : **定義ファイル名**, section name : **セクション名**, pecification : **項目 指定値**, line : **行番号**)

定義ファイルの内容が不正です。指定値が長過ぎます。定義ファイル名 : **定義ファイル名** セクション名 : **セクション名** 項目名 : **項目 指定値** 行 : **行番号**

定義ファイルの記述に誤りがあります。項目の指定値が長過ぎます。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

表示された項目の指定値を正しく変更してサービスを再起動してください。

KDENV30132-E

A specification in the definition file is invalid. A section is invalid. (file name : **定義ファイル名**, specification : **項目**, line : **行番号**)

定義ファイルの指定が不正です。不正なセクションです。定義ファイル名 : **定義ファイル名** 項目名 : **項目** 行 : **行番号**

定義ファイルの記述に誤りがあります。表示された項目は、現在指定しているセクション内に指定することはできません。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

3. メッセージ

(O)

表示された項目名称, またはセクション名称を正しく変更してサービスを再起動してください。

KDNV30133-E

A specification in the definition file is invalid. (file name : **定義ファイル名**, section name : **セクション名**, specification : **エラーのあったキーワード エラーのあった値**, line : **行番号**)

定義ファイルの指定が不正です。定義ファイル名 : **定義ファイル名** セクション名 : **セクション名** 項目 : **エラーのあったキーワード エラーのあった値** 行 : **行番号**

定義ファイルの記述に誤りがあります。次に示す誤りが考えられます。

- 指定値が指定できる範囲を超えている。
- 指定値が数値として認識できない。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

表示された項目の指定値を正しく変更してサービスを再起動してください。

KDNV30134-E

A specification in the definition file is invalid. An item name is invalid. (file name : **定義ファイル名**, specification : **エラーのあったキーワード**, line : **行番号**)

定義ファイルの指定が不正です。不正な項目名称です。定義ファイル名 : **定義ファイル名** 項目 : **エラーのあったキーワード** 行 : **行番号**

定義ファイルの記述に誤りがあります。項目名称が不正です。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

表示された不正な項目名称を正しく変更してサービスを再起動してください。

KDNV30135-E

The same switch name has already been specified in the definition file. (file name : **定義ファイル名**, section name : **セクション名**, specification : **項目名 項目指定値**, line : **行番号**)

定義ファイル内で同一の switch_name がすでに指定されています。定義ファイル名 : **定義ファイル名** セクション名 : **セクション名** 項目 : **項目名 項目指定値** 行 : **行番号**

定義ファイルの記述に誤りがあります。同一の switch_name が重複して指定されています。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

重複して指定している switch_name の指定値を正しく変更してサービスを再起動してください。

KDENV30136-E

Invalid data was received. The received data is too short. (internal ID = **内部識別子**)

不正なデータを受信しました。受信データ長が不足しています。InternalID : **内部識別子**
受信したデータが不正な形式です。データ長が不足しています。

(S)

送信元プログラムに対してエラーを返します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV30137-E

Password information specified by the **コマンド名** differs from that in the definition file. (file name = **定義ファイル名**)

定義ファイル情報と**コマンド名**で指定したパスワード情報が不一致です。定義ファイル名 : **定義ファイル名**

定義ファイルの内容とパスワード情報が一致していません。定義ファイルの内容を変更したあとに、**コマンド名**を実行していないおそれがあります。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

定義ファイルの内容を確認してください。定義ファイルの内容に問題がない場合は、**コマンド名**を使用してパスワードを設定するか、または設定内容を確認してください。そのあと、サービスを再起動してください。

KDENV30138-E

A specification in the definition file is invalid. No valid value is specified. (file name = **定義ファイル名**)

定義ファイルの指定が不正です。有効な指定値がありません。定義ファイル名 : **定義ファイル名**

定義ファイルの記述に誤りがあります。有効なセクションが指定されていません。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

表示された定義ファイルに正しい定義内容を指定してサービスを再起動してください。

KDENV30139-E

The memory address is invalid. Processing will now stop. (event code = イベントコード)

メモリーアドレスが不正です。処理を中断します。Event Code : イベントコード (16 進数表示)

- 不正なメモリーアドレスを検出しました。
- (S) JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

- (O) システム管理者に連絡してください。

KDENV30141-E

The manager's host name or address is incorrect.

マネージャーのホスト名または IP アドレスが不正です。

該当するアダプターの動作条件定義ファイル (nca.conf) に指定した JP1/Cm2/NC - Manager のアドレスが不正なため、JP1/Cm2/NC - Manager との接続に失敗しました。

- (S) 該当するアダプターの動作条件定義ファイル (nca.conf) の retry_count の指定に従い、接続処理を再試行します。
- (O) 該当するアダプターの動作条件定義ファイル (nca.conf) の記述を確認してください。

KDENV30142-E

An attempt to connect to the manager has failed.

マネージャーとの接続に失敗しました。

JP1/Cm2/NC - Manager との接続に失敗しました。

- (S) 該当するアダプターの動作条件定義ファイル (nca.conf) の retry_count の指定に従って、接続処理を再試行します。
- (O) ログに出力されているエラーの内容を表すメッセージを参照してください。

KDENV30143-E

The number of retries for connecting to the manager has reached the maximum.

マネージャーとの接続再試行回数が上限に達しました。

JP1/Cm2/NC - Manager との接続処理の再試行回数が上限に達しました。

(S)

該当するアダプターの動作条件定義ファイル (nca.conf) の process_stop の指定に従って処理します。

(O)

ログに出力されているエラーの内容を表すメッセージを参照してください。発生したエラーに対処したあと、JP1/Cm2/NC - Adaptor を再起動してください。

KDENV30144-E

The manager rejected a connection request. (reason = **理由コード**)

マネージャーから接続を拒否されました。理由：**理由コード**

JP1/Cm2/NC - Manager から接続を拒否されました。

(S)

該当するアダプターの動作条件定義ファイル (nca.conf) の process_stop の指定に従って処理します。

(O)

理由コードが 0100 の場合

該当するアダプターの動作条件定義ファイル (nca.conf) で指定した接続先アダプターサーバ名称を、JP1/Cm2/NC - Manager の JP1/Cm2/NC - Manager 接続アダプター定義ファイル (ncmadpt.conf) に指定し、JP1/Cm2/NC - Manager および JP1/Cm2/NC - Adaptor を再起動してください。

理由コードが 0200 の場合

該当するアダプターの動作条件定義ファイル (nca.conf) で指定した接続先アダプターサーバ名称と同じ名称を持つアダプターが、すでに JP1/Cm2/NC - Manager に接続しています。接続先アダプターサーバ名称を見直してください。

理由コードが 8000 の場合

JP1/Cm2/NC - Adaptor のバージョンが、JP1/Cm2/NC - Manager が前提としているバージョンと異なっています。JP1/Cm2/NC - Manager および JP1/Cm2/NC - Adaptor のバージョンを見直してください。

理由コードが上記以外の場合

システム管理者に連絡してください。

KDENV30145-E

The system cannot connect to the manager because the **アダプター種別** cannot recognize the manager version. (**エラー情報**)

マネージャーのバージョンは、**アダプター種別**が認識できないバージョンであるため、マネージャーに接続できません。(**エラー情報**)

3. メッセージ

JP1/Cm2/NC - Manager のバージョンが、**アダプター種別**が前提としているバージョンと異なります。

(S)

該当するアダプターの動作条件定義ファイル (nca.conf) の process_stop の指定に従って処理します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV30146-E

The connection with the manager was lost because of a communications error. (**エラー情報**)

マネージャーとの通信コネクションで通信障害が発生しました。 (**エラー情報**)

JP1/Cm2/NC - Manager との通信処理で障害が発生しました。

(S)

該当するアダプターの動作条件定義ファイル (nca.conf) の retry_count の指定に従って、接続処理を再試行します。

(O)

このメッセージが繰り返し出力される場合は、ネットワーク環境に問題がないか見直してください。

KDENV30147-E

The connection with the manager has been lost. (**エラー情報**)

マネージャーとの通信コネクションが切断されました。 (**エラー情報**)

JP1/Cm2/NC - Manager からのデータ受信処理中に、通信コネクションが切断されました。

(S)

該当するアダプターの動作条件定義ファイル (nca.conf) の retry_count の指定に従って、接続処理を再試行します。

(O)

このメッセージが繰り返し出力される場合は、ネットワーク環境に問題がないか見直してください。

KDENV30148-E

Invalid data was received. (**エラー情報**)

不正なデータを受信しました。 **エラー情報**

JP1/Cm2/NC - Manager から不正なデータを受信しました。

(S)

該当するアダプターの動作条件定義ファイル (nca.conf) の process_stop の指定に

従って処理します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV30149-I

A connection with the manager has been established.

マネージャーと接続しました。

JP1/Cm2/NC - Manager との接続に成功しました。

(S)

処理を続行します。

KDENV30150-I

A connection release request was received from the manager.

マネージャーから通信コネクションの解放要求を受信しました。

JP1/Cm2/NC - Manager が停止したため、JP1/Cm2/NC - Manager との接続を切断します。

(S)

該当するアダプターの動作条件定義ファイル (nca.conf) の retry_count の指定に従って、接続処理を再試行します。

KDENV30152-E

The connection with the manager was lost because of a communications error. (**エラー情報**)

マネージャーとの通信コネクションで通信障害が発生しました。 (**エラー情報**)

JP1/Cm2/NC - Manager との通信処理で障害が発生しました。

(S)

該当するアダプターの動作条件定義ファイル (nca.conf) の retry_count の指定に従って、接続処理を再試行します。

(O)

このメッセージが繰り返し出力される場合は、ネットワーク環境に問題がないか見直してください。

KDENV30153-E

Invalid internal processing occurred. (reason = **エラー理由**)

内部処理不正が発生しました。理由：**エラー理由**

内部処理不正が発生しました。

(S)

エラー処理を実行します。

3. メッセージ

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV30154-I

The status changed to "waiting for the service to stop".

サービスの停止待ち状態に移行しました。

JP1/Cm2/NC - Manager との接続が切断されたため、JP1/Cm2/NC - Adaptor の処理を終了します。このメッセージは、該当するアダプターの動作条件定義ファイル (nca.conf) の process_stop に N を指定した場合に出力します。

(S)

サービスが停止されるのを待ちます。

(O)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を再起動してください。

KDNV30155-E

The specified number of sections used for the switch definition in the definition file exceeds the maximum. (file name = **定義ファイル名**, maximum number = **定義可能な最大セクション数**)

定義ファイル内のスイッチ定義用セクション数が多過ぎます。定義ファイル名: **定義ファイル名**
定義可能数: **定義可能な最大セクション数**

定義ファイルの記述に誤りがあります。スイッチ定義用セクションの指定数が、指定できる数を超えています。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

表示された定義ファイルからスイッチ用セクションの定義を減らしてください。
そのあと、サービスを再起動してください。

KDNV30156-E

Invalid data was received. A switch ID is invalid. (internal ID = **内部識別子**)

不正なデータを受信しました。不正なスイッチ種別です。InternalID: **内部識別子**

受信したデータが不正な形式です。スイッチ種別が不正値です。

(S)

送信元プログラムに対してエラーを返します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV30157-E

No response from the manager.

マネージャーからの応答がありません。

JP1/Cm2/NC - Manager からの応答がありません。

(S)

該当するアダプターの動作条件定義ファイル (nca.conf) の retry_count の指定に従って、接続処理を再試行します。

(O)

このメッセージが繰り返し出力される場合は、ネットワーク環境に問題がないか見直してください。

KDNV30158-E

The number of sections exceeds the maximum. (file name = **定義ファイル名**, section name = **セクション名**, maximum number = **定義可能な最大数**)

定義ファイル内のセクション数が多過ぎます。定義ファイル名: **定義ファイル名** セクション名: **セクション名** 定義可能数: **定義可能な最大数**

定義ファイルの記述に誤りがあります。**セクション名**で示すセクションの定義数が最大数を超えています。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

定義ファイルを修正し、サービスを再起動してください。

KDNV30159-E

The same value has already been specified in the definition file. (file name : **定義ファイル名**, section name : **セクション名**, specification : **項目名 項目指定値**, line : **行番号**)

定義ファイル内で同一の値がすでに指定されています。定義ファイル名: **定義ファイル名** セクション名: **セクション名** 項目: **項目名 項目指定値** 行: **行番号**

定義ファイルの記述に誤りがあります。**項目指定値**で示す項目指定値が、ほかの項目と重複しています。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

定義ファイルを修正し、サービスを再起動してください。

KDNV30160-E

A specification in the definition file is invalid. The specified character is invalid. (file name : **定義ファイル名**, section name : **セクション名**, specification : **項目名 項目指定値**, line : **行番号**)

定義ファイルの指定が不正です。不正な文字を使用しています。定義ファイル名 : **定義ファイル名** セクション名 : **セクション名** 項目 : **項目名 項目指定値** 行 : **行番号**

定義ファイルの記述に誤りがあります。**項目指定値**で示す項目指定値に使用している文字が不正です。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

定義ファイルを修正し、サービスを再起動してください。

KDNV30161-E

All of the data could not be read from the pipe.

パイプからすべてのデータを読み込むことができませんでした。

子プロセスからのデータ受信に失敗しました。

(S)

実行中の処理を中止します。

(O)

実行しようとしていた操作を再実行してください。

このメッセージが繰り返し出力される場合は、システム管理者に連絡してください。

KDNV30162-E

All of the data could not be written to the pipe.

パイプにすべてのデータを書き込むことができませんでした。

子プロセスへのデータ送信に失敗しました。

(S)

実行中の処理を中止します。

(O)

実行しようとしていた操作を再実行してください。

このメッセージが繰り返し出力される場合は、システム管理者に連絡してください。

KDNV30163-E

Startup processing for the child process has failed.

子プロセスの起動処理が失敗しました。

子プロセスの起動に失敗しました。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV30164-E

The startup processing for the child process has timed out.

子プロセスの起動処理がタイムアウトしました。

子プロセスの起動に失敗しました。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

しばらく時間をおいてから、サービスを再起動してください。

KDENV30165-E

The child process terminated abnormally. (エラー情報)

子プロセスが異常終了しました。(エラー情報)

子プロセスが異常終了しました。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV30166-E

An attempt to create the outbound pipe has failed.

送信パイプの生成に失敗しました。

子プロセスとの通信コネクションの確立に失敗しました。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDENV30167-E

An attempt to create the inbound pipe has failed.

受信パイプの生成に失敗しました。

子プロセスとの通信コネクションの確立に失敗しました。

(S)

3. メッセージ

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV30168-E

An attempt to connect to the outbound pipe has failed.

送信パイプの接続に失敗しました。

子プロセスとの通信コネクションの確立に失敗しました。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV30169-E

An attempt to connect to the inbound pipe has failed.

受信パイプの接続に失敗しました。

子プロセスとの通信コネクションの確立に失敗しました。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV30170-E

The processing to connect the outbound pipe timed out.

送信パイプの接続処理がタイムアウトしました。

子プロセスとの通信コネクションの確立に失敗しました。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

しばらく時間をおいてから、サービスを再起動してください。

KDNV30171-E

The processing to connect the inbound pipe timed out.

受信パイプの接続処理がタイムアウトしました。

子プロセスとの通信コネクションの確立に失敗しました。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

しばらく時間をおいてから、サービスを再起動してください。

KDENV30172-E

An attempt to receive data from the child process has failed. (エラー情報)

子プロセスからのデータ受信に失敗しました。(エラー情報)

子プロセスからのデータ受信に失敗しました。

(S)

実行中の処理を中止します。

(O)

実行しようとしていた操作を再実行してください。

このメッセージが繰り返し出力される場合は、システム管理者に連絡してください。

KDENV30173-E

An attempt to send data to the child process has failed. (エラー情報)

子プロセスへのデータ送信に失敗しました。(エラー情報)

子プロセスへのデータ送信に失敗しました。

(S)

実行中の処理を中止します。

(O)

実行しようとしていた操作を再実行してください。

このメッセージが繰り返し出力される場合は、システム管理者に連絡してください。

KDENV30185-E

Process ID of the service control manager is invalid. (process ID = プロセス ID)

SCM のプロセス ID が不正です。プロセス ID: プロセス ID

JP1/Cm2/NC - Adaptor の初期化に失敗しました。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

サービスを再起動してください。

再起動しても回復しない場合は、システム管理者に連絡してください。

KDENV31000-E

The host name or IP address is incorrect. (不正なホスト名または IP アドレス)

ホスト名または IP アドレスが不正です。(不正なホスト名または IP アドレス)

ホスト名または IP アドレスが不正です。

3. メッセージ

(S)

telnet での接続を中止します。

(O)

定義ファイルの記述, hosts ファイルの記述, および DNS の設定を確認してください。

KDNV31001-E

An attempt to establish a connection has failed. (**接続先**)

通信コネクション接続に失敗しました。(**接続先**)

通信コネクション接続に失敗しました。

(S)

接続先機器との通信処理を中断します。

(O)

原因を示す別の障害メッセージが出力されているので, そのメッセージを調査してください。

KDNV31002-E

Communication timed out. (**接続先**)

通信タイムアウトが発生しました。(**接続先**)

通信タイムアウトが発生しました。

(S)

接続先機器との通信処理を中断します。

(O)

接続先機器およびネットワーク接続に異常がないか調査してください。

KDNV31003-E

The remote host closed the connection. (**接続先**)

通信コネクションを相手から解放されました。(**接続先**)

通信コネクションを相手から解放されました。

(S)

接続先機器との通信処理を中断します。

(O)

接続先機器に問題がないかどうか調査してください。特に, telnet アクセスの許可設定が正しいかどうか確認してください。

KDNV31004-E

A communication error occurred. (**接続先, 障害コード**)

通信障害が発生しました。(**接続先** , **障害コード**)

通信障害が発生しました。

(S)

接続先機器との通信処理を中断します。

(O)

原因を示す別の障害メッセージが出力されているので、そのメッセージを調査してください。

KDNV31005-E

The connection was closed. (**接続先**)

通信コネクションを解放しました。(**接続先**)

通信コネクションを解放しました。

(S)

接続先機器との通信処理を中断します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV31006-E

Login authentication has failed. (**接続先**)

ログイン認証に失敗しました。(**接続先**)

ログイン認証に失敗しました。

(S)

接続先機器との通信処理を中断します。

(O)

接続先機器にログインするための telnet ユーザー ID およびパスワードが正しく定義されていることを確認してください。

KDNV31007-E

Initialization has failed. (internal ID = **内部識別子**)

初期化に失敗しました。InternalID : **内部識別子**

初期化処理中にエラーが発生しました。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

ほかのメッセージが出力されていて、そのメッセージから原因が判明した場合は、そのメッセージに従った対処をしてください。
上記以外の場合は、システム管理者に連絡してください。

3. メッセージ

KDNV31008-E

The memory address is invalid. Processing will now stop. (event code = イベントコード)

メモリアドレスが不正です。処理を中断します。Event Code : イベントコード
不正なメモリアドレスを検出しました。

(S)

JP1/Cm2/NC - Adaptor を終了します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV31009-E

A forced disconnection was requested. (internal ID = 内部識別子)

通信コネクションの強制解放を要求します。InternalID : 内部識別子
処理中にエラーが発生したため、スイッチとの通信を切断します。

(S)

スイッチとの通信を切断します。

(O)

ほかのメッセージが出力されていて、そのメッセージから原因が判明した場合は、そのメッセージに従った対処をしてください。

上記以外の場合は、システム管理者に連絡してください。

KDNV31010-E

Processing will now stop because of invalid internal information. (internal ID = 内部識別子)

内部情報不正によって処理を中断します。InternalID : 内部識別子
処理が続行できなくなりました。

(S)

実行中の処理を中断します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV31011-E

An error occurred in processing for transmission to a switch. (internal ID = 内部識別子)

スイッチへの送信処理でエラーが発生しました。InternalID : 内部識別子
スイッチへの送信処理中にエラーが発生しました。

(S)

JP1/Cm2/NC - Manager , JP1/Cm2/NC - View などの送信元プログラムに対してエラーを通知します。

(O)

ほかのメッセージが出力されていて、そのメッセージから原因が判明した場合は、そのメッセージに従った対処をしてください。
上記以外の場合は、システム管理者に連絡してください。

KDNV31013-E

An error occurred in transmission processing of a command. (command = **送信を試みたコマンド**)

コマンドの送信処理でエラーが発生しました。Command : **送信を試みたコマンド**

スイッチに対してコマンド (**送信を試みたコマンド**) の送信を試みましたが失敗しました。

(S)

スイッチに対するコマンド処理を中止します。スイッチとの間に確立したコネクションも切断します。

(O)

ネットワークの接続状態を確認してください。

KDNV31014-E

An error occurred in response analysis processing of a command. (command = **解析したコマンド**)

コマンドの応答解析処理でエラーが発生しました。Command : **解析したコマンド**

スイッチに対するコマンドの応答メッセージの解析を試みましたが失敗しました。

(S)

スイッチに対するコマンド処理を中止します。スイッチとの間に確立したコネクションも切断します。

(O)

マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド」または「JP1/Cm2/Network Element Configuration 運用・操作ガイド」の運用上の注意事項について記述している個所を参照して、スイッチの状態を確認してください。また、同時刻にほかのユーザーがログインして操作していなかったかを確認してください。

KDNV31019-E

Command processing has stopped. (**要求種別** , command = **最近送信したコマンド**)

コマンド処理を中止しました。(**要求種別** , Command : **最近送信したコマンド**)

コマンド処理が続行できないエラーが発生したため、コマンド処理を中止しました。

(S)

スイッチに対するコマンド処理を中止します。スイッチとの間に確立したコネクションも切断します。

(O)

3. メッセージ

最近送信したコマンドが JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンド (ncaaxpwd , ncabipwd など) で、このメッセージの直前に KDNV31002-E が出力されている場合は、JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンドで設定した enable コマンド用のパスワードが誤っているおそれがあります。JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンドで正しくパスワードを設定したあと、JP1/Cm2/NC - Adaptor を再起動してください。

また、最近送信したコマンドが JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンド (ncaaxpwd , ncabipwd など) 以外で、このメッセージが多発する場合、システム管理者に連絡してください。

KDNV31020-E

Invalid internal processing occurred. (reason = **エラー理由**)

内部処理不正が発生しました。理由：**エラー理由**

内部処理不正が発生しました。

(S)

エラー処理を実行します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV31021-E

The connection was closed because the amount of data received from a switch exceeded the maximum. (**接続先**)

スイッチからのデータ量が多過ぎます。通信コネクションを解放しました。(**接続先**)

スイッチから取得する構成情報のデータ量が多過ぎて、受信できませんでした。

(S)

接続先機器との通信処理を中断します。

(O)

システム管理者に連絡してください。

KDNV31022-E

An error occurred in transmission processing of a command. (echo back = **エコーバック抑止フラグ** command = **送信を試みたコマンド** number of prompt = **終了判定文字列の個数** prompt1 = **終了判定文字列 1** prompt2 = **終了判定文字列 2**)

コマンドの送信処理でエラーが発生しました。EchoBack：**エコーバック抑止フラグ**

Command：**送信を試みたコマンド** Prompt 数：**終了判定文字列の個数** Prompt1：**終了判定文字列 1** Prompt2：**終了判定文字列 2**

送信を試みたコマンドの送信を試みましたが失敗しました。

(S)

スイッチに対するコマンド処理を中止します。スイッチとの間に確立した接続も切断します。

(O)

ネットワークの接続状態を確認してください。

付録

付録 A ファイルおよびディレクトリ一覧

付録 B ポート番号一覧

付録 C コマンド一覧および文法記載先マニュアル

付録 D 各バージョンの変更内容

付録 E 用語解説

付録 A ファイルおよびディレクトリー一覧

JP1/Cm2/NC で使用するファイル名およびフォルダ名について説明します。

各製品のデフォルトのインストール先フォルダおよびこの節での表記を次に示します。

製品名	デフォルトのインストール先フォルダ	この節での表記
JP1/Cm2/NC - Manager	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥manager	<i>NCM_Path</i>
JP1/Cm2/NC - View	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥view	<i>NCV_Path</i>
JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorax	<i>NCA for AX_Path</i>
JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorbs	<i>NCA for BS_Path</i>
JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorcs	<i>NCA for CS_Path</i>
JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorbi	<i>NCA for BI_Path</i>
JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorgs	<i>NCA for GS_Path</i>
JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/ Loadflowbal	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorlf	<i>NCA for LF_Path</i>
JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥JP1Cm2NC¥adaptorst	<i>NCA for ST_Path</i>

各表の「デフォルトのフォルダ名」には、JP1/Cm2/NC をデフォルトでインストールした場合のフォルダ名を記載しています。

(1) 各プログラムのフォルダ一覧

各プログラムのフォルダ一覧を次に示します。

表 A-1 JP1/Cm2/NC - Manager のフォルダ一覧

内容	デフォルトのフォルダ名
実行形式ファイル格納フォルダ	<i>NCM_Path</i> ¥bin
定義ファイル格納フォルダ	<i>NCM_Path</i> ¥conf
DB ファイル格納フォルダ	<i>NCM_Path</i> ¥db
ログファイル格納フォルダ	<i>NCM_Path</i> ¥log
標準定義ファイル格納フォルダ	<i>NCM_Path</i> ¥newconfig

内容	デフォルトのフォルダ名
一時ファイル格納フォルダ	<i>NCM_Path</i> ¥tmp
トレースファイル格納フォルダ	<i>NCM_Path</i> ¥trace
サンプルファイル格納フォルダ	<i>NCM_Path</i> ¥usertools
統合トレースログファイル格納フォルダ	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool

表 A-2 JP1/Cm2/NC - View のフォルダ一覧

内容	デフォルトのフォルダ名
実行形式ファイル格納フォルダ	<i>NCV_Path</i> ¥bin
クラスファイル格納フォルダ	<i>NCV_Path</i> ¥classes
定義ファイル格納フォルダ	<i>NCV_Path</i> ¥conf
Java™ 実行環境ファイル格納フォルダ	<i>NCV_Path</i> ¥jre
ログファイル格納フォルダ	<i>NCV_Path</i> ¥log
標準定義ファイル格納フォルダ	<i>NCV_Path</i> ¥newconfig
構成パラメーター定義サンプルファイル格納フォルダ	<i>NCV_Path</i> ¥newconfig¥clcmd
スキーマ格納フォルダ	<i>NCV_Path</i> ¥schema
一時ファイル格納フォルダ	<i>NCV_Path</i> ¥tmp
トレースファイル格納フォルダ	<i>NCV_Path</i> ¥trace
サンプルファイル格納フォルダ	<i>NCV_Path</i> ¥usertools
統合トレースログファイル格納フォルダ	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool

表 A-3 JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series のフォルダ一覧

内容	デフォルトのフォルダ名
実行形式ファイル格納フォルダ	<i>NCA for AX_Path</i> ¥bin
定義ファイル格納フォルダ	<i>NCA for AX_Path</i> ¥conf
ログファイル格納フォルダ	<i>NCA for AX_Path</i> ¥log
標準定義ファイル格納フォルダ	<i>NCA for AX_Path</i> ¥newconfig
一時ファイル格納フォルダ	<i>NCA for AX_Path</i> ¥tmp
トレースファイル格納フォルダ	<i>NCA for AX_Path</i> ¥trace
サンプルファイル格納フォルダ	<i>NCA for AX_Path</i> ¥usertools
統合トレースログファイル格納フォルダ	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool

表 A-4 JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series のフォルダ一覧

内容	デフォルトのフォルダ名
実行形式ファイル格納フォルダ	<i>NCA for BS_Path</i> ¥bin
定義ファイル格納フォルダ	<i>NCA for BS_Path</i> ¥conf
ログファイル格納フォルダ	<i>NCA for BS_Path</i> ¥log
標準定義ファイル格納フォルダ	<i>NCA for BS_Path</i> ¥newconfig
一時ファイル格納フォルダ	<i>NCA for BS_Path</i> ¥tmp
トレースファイル格納フォルダ	<i>NCA for BS_Path</i> ¥trace
サンプルファイル格納フォルダ	<i>NCA for BS_Path</i> ¥usertools
統合トレースログファイル格納フォルダ	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLlib2¥spool

表 A-5 JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch のフォルダ一覧

内容	デフォルトのフォルダ名
実行形式ファイル格納フォルダ	<i>NCA for CS_Path</i> ¥bin
定義ファイル格納フォルダ	<i>NCA for CS_Path</i> ¥conf
ログファイル格納フォルダ	<i>NCA for CS_Path</i> ¥log
標準定義ファイル格納フォルダ	<i>NCA for CS_Path</i> ¥newconfig
一時ファイル格納フォルダ	<i>NCA for CS_Path</i> ¥tmp
トレースファイル格納フォルダ	<i>NCA for CS_Path</i> ¥trace
サンプルファイル格納フォルダ	<i>NCA for CS_Path</i> ¥usertools
統合トレースログファイル格納フォルダ	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLlib2¥spool

表 A-6 JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer のフォルダ一覧

内容	デフォルトのフォルダ名
実行形式ファイル格納フォルダ	<i>NCA for BL_Path</i> ¥bin
定義ファイル格納フォルダ	<i>NCA for BL_Path</i> ¥conf
ログファイル格納フォルダ	<i>NCA for BL_Path</i> ¥log
標準定義ファイル格納フォルダ	<i>NCA for BL_Path</i> ¥newconfig
一時ファイル格納フォルダ	<i>NCA for BL_Path</i> ¥tmp
トレースファイル格納フォルダ	<i>NCA for BL_Path</i> ¥trace
サンプルファイル格納フォルダ	<i>NCA for BL_Path</i> ¥usertools
統合トレースログファイル格納フォルダ	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLlib2¥spool

表 A-7 JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series のフォルダー一覧

内容	デフォルトのフォルダ名
実行形式ファイル格納フォルダ	<i>NCA for GS_Path</i> ¥bin
定義ファイル格納フォルダ	<i>NCA for GS_Path</i> ¥conf
ログファイル格納フォルダ	<i>NCA for GS_Path</i> ¥log
標準定義ファイル格納フォルダ	<i>NCA for GS_Path</i> ¥newconfig
一時ファイル格納フォルダ	<i>NCA for GS_Path</i> ¥tmp
トレースファイル格納フォルダ	<i>NCA for GS_Path</i> ¥trace
サンプルファイル格納フォルダ	<i>NCA for GS_Path</i> ¥usertools
統合トレースログファイル格納フォルダ	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool

表 A-8 JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal のフォルダー一覧

内容	デフォルトのフォルダ名
実行形式ファイル格納フォルダ	<i>NCA for LF_Path</i> ¥bin
定義ファイル格納フォルダ	<i>NCA for LF_Path</i> ¥conf
ログファイル格納フォルダ	<i>NCA for LF_Path</i> ¥log
標準定義ファイル格納フォルダ	<i>NCA for LF_Path</i> ¥newconfig
一時ファイル格納フォルダ	<i>NCA for LF_Path</i> ¥tmp
トレースファイル格納フォルダ	<i>NCA for LF_Path</i> ¥trace
サンプルファイル格納フォルダ	<i>NCA for LF_Path</i> ¥usertools
統合トレースログファイル格納フォルダ	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool

表 A-9 JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager のフォルダー一覧

内容	デフォルトのフォルダ名
実行形式ファイル格納フォルダ	<i>NCA for ST_Path</i> ¥bin
定義ファイル格納フォルダ	<i>NCA for ST_Path</i> ¥conf
ログファイル格納フォルダ	<i>NCA for ST_Path</i> ¥log
標準定義ファイル格納フォルダ	<i>NCA for ST_Path</i> ¥newconfig
一時ファイル格納フォルダ	<i>NCA for ST_Path</i> ¥tmp
トレースファイル格納フォルダ	<i>NCA for ST_Path</i> ¥trace
サンプルファイル格納フォルダ	<i>NCA for ST_Path</i> ¥usertools
統合トレースログファイル格納フォルダ	システムドライブ ¥Program Files¥Hitachi¥HNTRLib2¥spool

(2) ISAM 関連ファイル一覧

JP1/Cm2/NC で使用される ISAM 関連ファイルの一覧を次に示します。

表 A-10 ISAM 関連ファイル一覧

ファイル名	デフォルトの格納フォルダ
NCM_ACL_INTR	<i>NCM_Path</i> \db
NCM_AX_ACLLST	
NCM_AX_ENHINF	
NCM_AX_ESSNINF	
NCM_AX_IPV4INF	
NCM_AX_IPV4PKT	
NCM_AX_IPV6INF	
NCM_AX_MACFLTR	
NCM_AX_PORTINF	
NCM_BI_POOL	
NCM_BI_POOLBIND	
NCM_BI_RSPORT	
NCM_BS_ACLINF	
NCM_BS_FLWCTL	
NCM_BS_IPINF	
NCM_BS_MACINF	
NCM_BS_PROTINF	
NCM_BS_QOSINF	
NCM_CS_PORTMODE	
NCM_CS_VLANBAS	
NCM_CS_VLANENH	
NCM_CS_VTP	
NCM_DBVERSION	
NCM_ES_APOLINF	
NCM_ES_BINDINF	
NCM_ES_BINDLKP	
NCM_ES_COMINF	
NCM_ES_GENINF	
NCM_ES_GRPINF	
NCM_ES_POLINF	
NCM_ES_RSINF	

ファイル名	デフォルトの格納フォルダ
NCM_ES_ZONINF	
NCM_PORT_PROF	
NCM_RS_CONF	
NCM_RS_PORT	
NCM_SLB_SWCONF	
NCM_SVR_BIND	
NCM_SWTH_CONFIG	
NCM_SWTH_LOOKUP	
NCM_SWTH_PORT	
NCM_SWTH_PROTOC	
NCM_VLAN_CONFIG	
NCM_VLAN_INF	
NCM_VLAN_IPADDR	
NCM_VLAN_PORT	
NCM_VLAN_PROTOC	
NCM_VS_CONF	
NCM_VS_PORT	

注

各ファイルの拡張子は、次のどれかになります。

- キー定義ファイルの場合、「.KDF」
- 主キーファイルの場合、「.K01」
- 副キーファイルの場合、「.Knn」（「nn」には 02 ~ 99 の値が入ります）
- データファイルの場合、「.DRF」

付録 B ポート番号一覧

ここでは、JP1/Cm2/NC が使用するポート番号と、ファイアウォールを通過するための方向について説明します。JP1/Cm2/NC で使用するポート番号は、製品のインストール時にデフォルトとして設定されています。ユーザー環境に合わせて任意の番号に変更することもできます。使用するプロトコルは TCP/IP です。

付録 B.1 JP1/Cm2/NC が使用するポート番号

表 B-1 JP1/Cm2/NC が使用するポート番号

ポート番号	製品名	説明
20344/tcp	JP1/Cm2/NC - Manager	JP1/Cm2/NC - View , または JP1/Cm2/NC - Adaptor との通信。

付録 B.2 ファイアウォールの通過方向

ファイアウォールの通過方向を、次の表に示します。ポート番号に対して確立されたコネクションについて、双方向に通信できるように設定してください。

表 B-2 ファイアウォールの通過方向

サーバ側製品	ポート番号	ファイアウォールの通過方向	クライアント側製品	ポート番号
JP1/Cm2/NC - Manager	20344/tcp		JP1/Cm2/NC - View	ANY
JP1/Cm2/NC - Manager	20344/tcp		JP1/Cm2/NC - Adaptor	ANY

表 B-3 ファイアウォールの通過方向（管理対象スイッチ～アダプターサーバ間）

管理対象スイッチ（サーバ側）	ポート番号	ファイアウォールの通過方向	JP1/Cm2/NC - Adaptor（クライアント側）	ポート番号
AX2400S , AX3600S , AX5400S , および AX7800S	23/tcp		JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series	ANY
BIG-IP	443/tcp		JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer	ANY
BS1000 , BS2000 , BS320 , BS500 , および BS500 1Gbx40	23/tcp		JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series	ANY
Cisco Catalyst	23/tcp		JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch	ANY

管理対象スイッチ (サーバ側)	ポート 番号	ファイアウォールの通過方 向	JP1/Cm2/NC - Adaptor (クライアント側)	ポート 番号
GS3000 および GS4000	23/tcp		JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series	ANY
HA8000-ie/ Loadflowbal	23/tcp		JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/ Loadflowbal	ANY
STM	8010/ tcp		JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager	ANY

コネクション確立時は、表中のポート番号を、接続を受ける側（矢印が向いている側）が使用します。ANY は、OS によって割り当てられる空きポート番号を使用することを意味します。この場合に使用するポート番号の範囲は、OS によって異なります。

付録 C コマンド一覧および文法記載先マニュアル

JP1/Cm2/NC で使用できるコマンドの一覧および文法が記載されているマニュアルを示します。

コマンド一覧は、次のグループに分けて記載します。

- JP1/Cm2/NC を制御するコマンド
- HNTRLib2 用コマンド
- ISAM 関連のコマンド
- CLI 運用関連のコマンド
- トラブルシューティング関連のコマンド

(凡例)

機能・構築：

マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド」で説明しています。

運用・操作：

マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration 運用・操作ガイド」で説明しています。

CLI 運用：

マニュアル「JP1/Cm2/Network Element Configuration CLI 運用ガイド」で説明しています。

トラブル：

このマニュアルで説明しています。

表 C-1 JP1/Cm2/NC を制御するコマンド一覧 (JP1/Cm2/NC - Manager 関連)

コマンド名	機能	記載マニュアル
ncmuser	マネージャーサーバにログインを許可するユーザーを設定するためのコマンドです。	機能・構築
ncmconvertdb	マネージャーサーバの DB を旧バージョン形式から新バージョン形式に変換するためのコマンドです。	
ncmcreatedb	マネージャーサーバの DB を作成するためのコマンドです。	
ncmunlock	マネージャーサーバの DB に掛けられたロックを強制的に解除するためのコマンドです。	トラブル

表 C-2 JP1/Cm2/NC を制御するコマンド一覧 (JP1/Cm2/NC - Adaptor 関連)

コマンド名	対象製品	機能	記載マニュアル
ncaaxpwd	JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series	JP1/Cm2/NC - Adaptor のパスワード設定用コマンドです。管理対象スイッチへのアクセス用パスワードを登録します。また、スイッチ定義ファイル (ncaswitch.conf) に設定したすべてのスイッチを一覧で表示するために使用します。	機能・構築
ncabipwd	JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer		
ncabspwd	JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series		
ncacspwd	JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch		
ncagspwd	JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series		
ncalfpwd	JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/ Loadflowbal		
ncastpwd	JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager		

表 C-3 HNTRLib2 用コマンド一覧

コマンド名	機能	記載マニュアル
hntr2util	HNTRLib2 用コマンドです。統合トレース (HNTRLib2) が出力する統合トレースログファイルの設定を変更するためのコマンドです。	機能・構築

表 C-4 ISAM 関連のコマンド一覧

コマンド名	機能	記載マニュアル
ncmischk	ISAM ファイル (索引順編成ファイル) を検証するためのコマンドです。	トラブル
ncmiscond	ISAM ファイルの無効領域を圧縮するためのコマンドです。	運用・操作
ncmisinfo	ISAM キー定義情報を表示するためのコマンドです。	
ncmismkctr	ISAM ロックテーブルの情報を表示するためのコマンドです。	トラブル

表 C-5 CLI 運用関連のコマンド一覧

コマンド名	機能	記載マニュアル
nevclemd	CLI を実行するためのコマンドです。	CLI 運用
nevcsetup	CLI の環境設定をするためのコマンドです。	

表 C-6 トラブルシューティング関連のコマンド一覧

コマンド名	対象製品	機能	記載マニュアル
ncmlog.bat	JP1/Cm2/NC - Manager (32 ビット版 OS の場合)	障害発生時に資料を採取するためのコマンドです。	トラブル
ncmlog_x64.bat	JP1/Cm2/NC - Manager (64 ビット版 OS の場合)		
ncvlog.bat	JP1/Cm2/NC - View (32 ビット版 OS の場合)		
ncvlog_x64.bat	JP1/Cm2/NC - View (64 ビット版 OS の場合)		
ncaxlog.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series		
ncabilog.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer		
ncabslog.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series (32 ビット版 OS の場合)		
ncabslog_x64.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series (64 ビット版 OS の場合)		
ncacslog.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch		
ncagslog.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series		
ncalflog.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/ Loadflowbal		

コマンド名	対象製品	機能	記載マニュアル
ncastlog.bat	JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager		

付録 D 各バージョンの変更内容

(1) 09-01 の変更内容

- KDNV10703-E にアップリンクフェイルオーバーの情報を追加した。

(2) 09-00 の変更内容

- JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS1000 の後継製品として JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series を提供し、サポートする管理対象スイッチに BS2000 を追加した。
- JP1/Cm2/NC - Manager の適用 OS に Windows Server 2003(x64), Windows Server 2003 R2(x64) および Windows Server 2008 を追加した。
- JP1/Cm2/NC -View の適用 OS に Windows Server 2003(x64), Windows Server 2003 R2(x64), Windows Vista, および Windows Server 2008 を追加した。
- トラブルシューティング関連の次のコマンドを追加した。
ncabslog_x64.bat, ncmlog_x64.bat, ncvlog_x64.bat
- 次のメッセージを追加した。
KDNV10755-E, KDNV11288-E, KDNV11322-E, KDNV20111-E,
KDNV20729-E, KDNV20827-E, KDNV30080-E, KDNV30081-E,
KDNV30082-W
- 次のメッセージを削除した。
KDNV19000-E, KDNV19001-E, KDNV19005-E, KDNV19006-E,
KDNV19007-I, KDNV19008-I, KDNV19009-I, KDNV19010-E, KDNV19011-I,
KDNV19012-E, KDNV19013-I, KDNV19014-I, KDNV19015-E, KDNV19016-E,
KDNV19017-E, KDNV19020-E, KDNV19021-E, KDNV19022-E,
KDNV19023-E, KDNV19024-E, KDNV19025-E, KDNV19026-E,
KDNV19027-E, KDNV19028-E, KDNV19029-E, KDNV19030-E,
KDNV19031-E, KDNV19041-E, KDNV19052-E, KDNV19064-E,
KDNV19065-E, KDNV19066-E, KDNV19067-I, KDNV19068-E,
KDNV19069-E, KDNV19070-E, KDNV19071-E, KDNV19072-E,
KDNV19073-I, KDNV19074-I, KDNV21003-E, KDNV21015-E, KDNV21016-E
- 次のメッセージの説明を変更した。
KDNV10124-E, KDNV10701-E, KDNV10703-E, KDNV30054-E,
KDNV30062-E

(3) 08-10 の変更内容

- 小型 BS の名称を BS320 に変更した。
- 次のメッセージを追加した。
KDNV10573-E, KDNV10575-E, KDNV10578-E, KDNV10580-E,
KDNV10729-E, KDNV10730-E, KDNV10731-E, KDNV10732-E,
KDNV10733-E, KDNV10734-E, KDNV10735-E, KDNV10736-I, KDNV10737-I,
KDNV10738-E, KDNV10739-E, KDNV10740-E, KDNV10741-E,

KDENV10742-E, KDENV10753-I, KDENV10754-E, KDENV11260-I, KDENV11261-I, KDENV11275-E

- 次のメッセージの説明を変更した。
KDENV10701-E, KDENV10703-E, KDENV10811-E, KDENV10817-E

(4) 08-00 の変更内容

- 次のメッセージを追加した。
KDENV10570-E ~ KDENV10572-E, KDENV10574-E, KDENV10579-E, KDENV10695-E, KDENV10700-E ~ KDENV10717-I, KDENV10724-I ~ KDENV10728-E, KDENV10819-E ~ KDENV10820-E, KDENV20610-E, KDENV30185-E
- 次のメッセージを削除した。
KDENV10003-E, KDENV10004-E

なお、08-00 対応マニュアルでは、前版の 07-52 対応マニュアルを 4 分冊しています。
07-52 対応マニュアルと 08-00 対応マニュアルの関係は次のとおりです。

07-52 対応マニュアル		08-00 対応マニュアル		
章番号	タイトル	マニュアル	章番号	タイトル
1 章	JP1/Cm2/NC の概要	機能・構築	1 章	JP1/Cm2/NC の概要
2 章	JP1/Cm2/NC の機能		2 章	JP1/Cm2/NC の機能
3 章	インストールとセットアップ		3 章	インストールとセットアップ
4 章	JP1/Cm2/NC の起動と終了	機能・構築	3.4	運用上の注意事項 ¹
		運用・操作	1 章	JP1/Cm2/NC の起動と終了
5 章	ネットワーク構成情報の表示	運用・操作	2 章	ネットワーク構成情報の表示
6 章	VLAN の設定		3 章	VLAN の設定
7 章	SLB の設定		4 章	SLB の設定
-	-		5 章	VLAN および SLB 以外の情報の設定
8 章	画面・基本画面	-	6 章	画面・基本画面
-	-	-	7 章	画面・VLAN ビューのダイアログボックス (AX2400S・AX3600S・小型 BS)
9 章	画面・VLAN ビューのダイアログボックス (AX5400S・AX7800S・GS3000・GS4000)	-	8 章	画面・VLAN ビューのダイアログボックス (AX5400S・AX7800S・GS3000・GS4000)
10 章	画面・VLAN ビューのダイアログボックス (BS1000)	-	9 章	画面・VLAN ビューのダイアログボックス (BS1000)

付録 D 各バージョンの変更内容

07-52 対応マニュアル		08-00 対応マニュアル		
章番号	タイトル	マニュアル	章番号	タイトル
11 章	画面 -VLAN ビューのダイアログボックス (Cisco Catalyst)		10 章	画面 -VLAN ビューのダイアログボックス (Cisco Catalyst)
12 章	画面 -SLB ビューのダイアログボックス (BIG-IP)		11 章	画面 -SLB ビューのダイアログボックス (BIG-IP)
13 章	画面 -SLB ビューのダイアログボックス (HA8000-ie/Loadflowbal)		12 章	画面 -SLB ビューのダイアログボックス (HA8000-ie/Loadflowbal)
14 章	画面 -SLB ビューのダイアログボックス (STM)		13 章	画面 -SLB ビューのダイアログボックス (STM)
	-		14 章	画面 - スイッチ構成ビューのダイアログボックス (BS1000)
15 章	コマンド	機能・構築	4 章	セットアップ関連コマンド
		運用・操作	15 章	運用関連コマンド
		トラブル	2 章	トラブルシューティング関連コマンド
16 章	定義ファイル	機能・構築	5 章	定義ファイル
17 章	他製品との連携	機能・構築	6 章	他製品との連携
		トラブル	2 章	トラブルシューティング関連コマンド ²
18 章	トラブルシューティング	トラブル	1 章	トラブルシューティング
19 章	CLI の概要	CLI	1 章	CLI の概要
20 章	CLI の運用		2 章	CLI の運用
21 章	CLI 関連コマンド		3 章	CLI 関連コマンド
22 章	構成パラメータ定義ファイル		4 章	構成パラメータ定義ファイル
23 章	メッセージ	トラブル	3 章	メッセージ
付録 A	ファイルおよびディレクトリ一覧	機能・構築 ³	付録 A	ファイルおよびディレクトリ一覧
		トラブル ³	付録 A	
付録 B	ポート番号一覧	機能・構築 ³	付録 B	ポート番号一覧
		トラブル ³	付録 B	
付録 C	制限値一覧	機能・構築 ³	付録 C	制限値一覧

07-52 対応マニュアル		08-00 対応マニュアル		
章番号	タイトル	マニュアル	章番号	タイトル
		運用・操作 3	付録 A	
		CLI 3	付録 A	
付録 D	JP1/Cm2/NC - Adaptor が発行 するコマンド一覧	運用・操作	付録 B	JP1/Cm2/NC - Adaptor が発行 するコマンド一覧
付録 E	DB 更新時に [Network Element Configuration - View] ウィンドウが取得する情報	運用・操作	付録 C	DB 更新時に [Network Element Configuration - View] ウィンドウが取得する 情報
	-	機能・構築	付録 D	コマンド一覧および文法記載 先マニュアル
		運用・操作	付録 D	
		CLI	付録 B	
		トラブル	付録 C	
付録 F	クラスタシステムでの運用	機能・構築	付録 E	クラスタシステムでの運用
付録 G	各バージョンの変更内容	機能・構築 4	付録 F	各バージョンの変更内容
		運用・操作 4	付録 E	
		CLI 4	付録 C	
		トラブル 4	付録 D	
付録 H	用語解説	機能・構築 3	付録 G	用語解説
		運用・操作 3	付録 F	
		CLI 3	付録 D	
		トラブル 3	付録 E	

(凡例)

- : 07-52 対応マニュアルには該当しない。

機能・構築 : JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド

運用・操作 : JP1/Cm2/Network Element Configuration 運用・操作ガイド

CLI : JP1/Cm2/Network Element Configuration CLI 運用ガイド

トラブル : JP1/Cm2/Network Element Configuration トラブルシューティング

注 1

07-52 対応マニュアルの「4.4 運用上の注意事項」のうち、システムの運用に関する注意事項

だけ記載しています。

注 2

07-52 対応マニュアルの「17.1.7 JP1/Cm2/NC - Manager for Cosminexus 関連コマンド」のうち、トラブルシューティングに関するコマンドの記載先を変更しました。

注 3

記述内容は各マニュアル共通です。

注 4

08-00 の変更内容については、各マニュアルで記述内容が異なります。それより前のバージョンの変更内容は、各マニュアルで共通です。

(5) 07-52 の変更内容

- サポートする管理対象スイッチに、STM を追加した。
- JP1/Cm2/NC のプログラムに、JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager を追加した。
- 次のメッセージを追加した。
KDNV10685-E・KDNV10686-E・KDNV10687-E・KDNV10688-E・
KDNV10689-I・KDNV10690-E・KDNV10691-E・KDNV10692-E・
KDNV10693-E・KDNV10694-E

(6) 07-51 の変更内容

- サポートする管理対象スイッチに、AX5400S および AX7800S を追加した。
- サポートする管理対象スイッチに、BIG-IP を追加した。
- サポートする管理対象スイッチに、Cisco Catalyst を追加した。
- JP1/Cm2/NC のプログラムに、JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series を追加した。
- JP1/Cm2/NC のプログラムに、JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch を追加した。
- JP1/Cm2/NC のプログラムに、JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer を追加した。
- CLI (Command Line Interface) によってスイッチを設定する機能をサポートし、JP1/AJS2 などと連携してシステムを自動運用できるようにした。
- 次のメッセージを追加した。
KDNV10129-E ~ KDNV10133-E, KDNV10137-E, KDNV10307-E ~
KDNV10310-E, KDNV10528-E ~ KDNV10567-E, KDNV10637-E ~
KDNV10684-E, KDNV10816-E ~ KDNV10818-E, KDNV11000-E ~
KDNV11006-E, KDNV11012-E, KDNV11025-E, KDNV11031-E,
KDNV11100-E, KDNV11108-E, KDNV11109-E, KDNV11111-E, KDNV11119-E,
KDNV11125-E, KDNV11200-I ~ KDNV11249-I, KDNV11251-I ~
KDNV11257-E, KDNV11300-E ~ KDNV11304-E, KDNV11306-E ~
KDNV11309-E, KDNV11311-E ~ KDNV11321-E, KDNV20110-E,
KDNV20728-E, KDNV20826-E, KDNV21017-E, KDNV30161-E ~
KDNV30173-E
- 次の英文メッセージを追加した。

KDNV30050-E ~ KDNV30055-E , KDNV30060-E ~ KDNV30067-E ,
KDNV30070-E , KDNV30071-E , KDNV30090-W ~ KDNV30092-W

- 次のメッセージの説明を変更した。
KDNV30114-E

(7) 07-50 の変更内容

- JP1/IM との連携機能を追加した。
- サポートする管理対象スイッチに , GS3000 を追加した。
- サポートする管理対象スイッチに , BS1000 を追加した。
- JP1/Cm2/NC のプログラムに , JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS1000 を追加した。
- VLAN に追加するスイッチの種類を選択できる [スイッチの選択] ダイアログボックスを追加した。
- スイッチの変更をするときに選択できるスイッチの数を一つだけにした。
- 定義情報を削除するときに選択できるスイッチおよび VLAN の数を複数にした。
- BS1000 用のポート VLAN 設定画面を追加した。
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS1000 用のパスワード設定コマンドである「ncabspwd」を追加した。
- トラブルシューティング関連のコマンドを追加した。
ncabslog.bat , ncacolog.bat , ncmcolog.bat , ncmcolog.sh , ncagslog.bat ,
ncalflog.bat , ncmlog.bat , ncvlog.bat
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS1000 の定義ファイルを追加した。
- 「JP1/Cm2/NC - Manager 動作条件定義ファイル (ncm.conf)」に , JP1 イベントを発行するかどうかを設定できる [Notify Event] セクションを追加した。
- Cosminexus 連携オプションの対応 OS を追加した。
- JP1/Cm2/NC - Manager for Cosminexus ランタイム部の UNIX マシンへのインストール方法を追加した。
- JP1/Cm2/NC - Manager for Cosminexus ランタイム部 (UNIX) の情報採取ツールで採取できる情報およびフォルダ一覧を追加した。
- クラスタシステムでの運用を追加した。
- 次のメッセージを追加した。
KDNV10126-E ~ KDNV10128-E , KDNV19031-E , KDNV20404-E ,
KDNV20727-E , KDNV21000-E ~ KDNV21003-E , KDNV21005-E ~
KDNV21016-E , KDNV21100-E , KDNV21102-E ~ KDNV21105-W
- 次のメッセージ本文を変更した。
KDNV10006-W , KDNV10108-E , KDNV10116-E , KDNV10124-E ,
KDNV10504-W , KDNV10513-E , KDNV10518-E , KDNV10519-E ,
KDNV10525-E , KDNV10614-E , KDNV10616-I , KDNV10620-I , KDNV19000-E ,
KDNV19001-E , KDNV19006-E , KDNV19008-I ~ KDNV19010-E ,
KDNV19012-E , KDNV19013-I , KDNV19020-E , KDNV19025-E ,
KDNV19028-E , KDNV19029-E , KDNV19066-E , KDNV20505-E ,
KDNV20600-E , KDNV20700-I , KDNV20705-E , KDNV20707-E ~

KDNV20709-E, KDNV20711-E, KDNV20714-E ~ KDNV20716-E,
KDNV20719-E, KDNV20721-E, ~ KDNV20723-E, KDNV20725-E,
KDNV20726-E, KDNV20805-I

(8) 07-11 の変更内容

- JP1/Cm2/NC の機能に、サーバロードバランシング (SLB) を管理する機能を追加した。
- 他製品との連携機能を追加した。
- サポートする管理対象スイッチに、HA8000-ie/Loadflowbal を追加した。
- JP1/Cm2/NC のプログラムに、JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal を追加した。
- JP1/Cm2/NC のメイン画面である [Network Element Configuration View] ウィンドウを「管理対象ビュー」、「VLAN ビュー」および「SLB ビュー」に細分化した。
- ネットワーク構成ツリーのルートを「ネットワーク」から「ルート」に変更した。
- 構成情報のないスイッチは「管理対象ビュー」だけに表示されるように変更した。
- プログラムのインストールに、バージョンアップを追加した。
- JP1/Cm2/NC - View のログイン画面で、表示するビューを選択するように変更した。
- ショートカットメニューに、[構成情報の同期] を追加した。
- メニューコマンドに、「telnet」を追加した。
- JP1/Cm2/NC - Manager をバージョンアップしたときに使用するコマンドである「ncmconvertdb」を追加した。
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal 用コマンドである「ncalfpwd」を追加した。
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal の定義ファイルを追加した。
- 次のメッセージを追加した。
KDNV10124-E, KDNV10125-E, KDNV10600-I ~ KDNV10605-E, KDNV10608-I ~ KDNV10617-E, KDNV10620-I ~ KDNV10628-I, KDNV10634-I ~ KDNV10636-W, KDNV10939-E, KDNV19000-E, KDNV19001-E, KDNV19005-E ~ KDNV19017-E, KDNV19020-E ~ KDNV19030-E, KDNV19041-E, KDNV19052-E, KDNV19064-E ~ KDNV19074-I, KDNV20015-E, KDNV20016-E, KDNV20201-E ~ KDNV20203-E, KDNV20505-E, KDNV20600-E, KDNV20602-E ~ KDNV20604-I, KDNV20700-I ~ KDNV20726-E, KDNV30157-E ~ KDNV30160-E, KDNV31022-E
- 次のメッセージ本文を変更した。
KDNV20801-E
- JP1/Cm2/NC が提供している保守用コマンドを使用するときの注意事項を追加した。
- ネットワーク構成ツリーを再構成したときに取得する情報一覧を追加した。

付録 E 用語解説

用語解説については、マニュアル「JP1 Version 9 JP1/Cm2/Network Element Configuration 機能・構築ガイド (3020-3-T05-30)」を参照してください。

索引

C

CLI

- 環境設定をする 242
- 実行する 242

D

DB

- 掛けられたロックを強制的に解除する 21
- 旧バージョン形式から新バージョン形式に変換する 240
- 作成する 21

I

- ISAM 関連ファイル一覧 236
- ISAM キー定義情報を表示する 241
- ISAM ファイル（索引順編成ファイル）を検証する 21
- ISAM ファイルの無効領域を圧縮する 241
- ISAM ロックテーブルの情報を表示する 21

J

- JP1/Cm2/NC - Adaptor
 - Windows イベントログ 57
 - メッセージ 196
 - メッセージの出力先 51
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series
 - フォルダー一覧 233
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series
 - フォルダー一覧 234
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco Switch
 - フォルダー一覧 234
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load Balancer
 - フォルダー一覧 234
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series
 - フォルダー一覧 235

- JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-ie/Loadflowbal
 - フォルダー一覧 235
- JP1/Cm2/NC - Adaptor for System Traffic Manager
 - フォルダー一覧 235
- JP1/Cm2/NC - Manager
 - Windows イベントログ 56
 - フォルダー一覧 232
 - メッセージ 164
 - メッセージの出力先 50
- JP1/Cm2/NC - View
 - Windows イベントログ 56
 - フォルダー一覧 233
 - メッセージ 58
 - メッセージの出力先 48

K

- KDNNV10000 ~ KDNNV18999 58
- KDNNV20000 ~ KDNNV29999 164
- KDNNV30000 ~ KDNNV39999 196

N

- ncaaxlog.bat 23
- ncabilog.bat 25
- ncabslog.bat 27
- ncabslog_x64.bat 27
- ncacslog.bat 29
- ncagslog.bat 31
- ncalflog.bat 33
- ncastlog.bat 35
- nemcreatedb 37
- nemischk 38
- nemismilcktr 40
- nemlog.bat 41
- nemlog_x64.bat 41
- nemunlock 43
- ncvlog.bat 45
- ncvlog_x64.bat 45

O

OS のログ情報 13

W

Windows イベントログ

一覧 56

ログファイルの採取 13

あ

アプリケーションログのソース名 56

き

共通メッセージログ 8

出力先 8

出力の設定 8

こ

コマンド

neaaxlog.bat 23

ncabilog.bat 25

ncabslog.bat 27

ncabslog_x64.bat 27

ncacslog.bat 29

ncagslog.bat 31

ncalflog.bat 33

ncastlog.bat 35

ncmcreatedb 37

ncmischk 38

nemismlektr 40

ncmlog.bat 41

ncmlog_x64.bat 41

ncmunlock 43

ncvlog.bat 45

ncvlog_x64.bat 45

一覧 21

記述形式 18

指定形式 18

説明で使用する見出し 18

コマンド使用時の注意事項 20

し

システム管理者の方へ 55

障害発生時に資料を採取する 21

資料採取ツールで採取できる情報 10

資料の採取方法 15

す

スイッチへのアクセス用パスワードを登録

JP1/Cm2/NC - Adaptor 241

すべてのスイッチを一覧で表示する

JP1/Cm2/NC - Adaptor 241

と

統合トレースログ 8

出力先 (デフォルト) 8

統合トレースログファイル

出力項目 9

出力例 9

設定を変更する 241

トラブルシューティング 1

トラブル発生時に採取が必要な資料 10

トラブル発生時に資料を採取する 15

トラブル発生時の対処手順 2

トラブルへの対処方法 3

ふ

ファイアウォールの通過方向 238

ファイルおよびディレクトリ一覧 232

フォルダー一覧

JP1/Cm2/NC - Adaptor for AX Series
233

JP1/Cm2/NC - Adaptor for BS Series
234

JP1/Cm2/NC - Adaptor for Cisco
Switch 234

JP1/Cm2/NC - Adaptor for F5 Load
Balancer 234

JP1/Cm2/NC - Adaptor for GS Series
235

JP1/Cm2/NC - Adaptor for HA8000-
ie/Loadflowbal 235

JP1/Cm2/NC - Adaptor for System
Traffic Manager 235
JP1/Cm2/NC - Manager 232
JP1/Cm2/NC - View 233

ほ

ポート番号一覧 238

め

メッセージ

JP1/Cm2/NC - Adaptor の～ 196
JP1/Cm2/NC - Manager の～ 164
JP1/Cm2/NC - View の～ 58
一覧 58
記載形式 53
出力形式 53
出力先一覧 48
出力される製品名について 54

よ

用語解説 251

ろ

ログインを許可するユーザーを設定する 240
ログ情報の種類 8